

平成31・令和元年度  
広島県立美術館年報

平成31・令和元年度  
広島県立美術館年報



## 目 次

I	沿革	2
II	展覧会	
	展覧会一覧	5
	特別展	
	1 挑む浮世絵 国芳から芳年へ	6
	2 追悼水木しげる ゲゲゲの人生展	9
	3 入城400年記念 広島浅野家の至宝 一よみがえる大名文化	13
	4 印象派への旅 海運王の夢 バレル・コレクション	16
	5 第66回日本伝統工芸展	20
	所蔵作品展	24
III	普及活動	
	1 第7回新県美展（第71回広島県美術展）	39
	2 第8回広島県ジュニア美術展	40
	3 博物館実習	42
	4 学校・地域との連携事業	43
	5 鑑賞支援制作物	44
	6 学校等による利用状況	45
	7 県民ギャラリー利用状況	47
	8 友の会事業報告	50
IV	事業実施状況	53
V	業務一覧	57
VI	入館者数一覧	66
VII	美術品等収集状況	68
VIII	美術品等の貸出し	75
IX	関係法規	77
X	名簿	86

# I 沿革

昭和31年	美術館建設の募金運動はじまる
昭和38年 4月	調査費計上
昭和39年 4月	設計委託料計上
10月	建設促進委員会開催
昭和40年 4月	整地費など計上
昭和41年 5月	文部省社会教育施設整備費補助金の交付内定
12月	建設募金委員会発足
昭和42年 1月	起工式挙行
昭和43年 3月	旧館竣工
4月	広島県立美術館条例施行(昭和43年 広島県条例第20号) 広島県立美術館管理運営規則施行(昭和43年 広島県教育委員会規則第1号) 加藤豊館長(常勤)任命
6月	広島県立美術館協議会条例施行(昭和43年 広島県条例第38号)
7月	広島県立美術館協力を結成
9月	広島県立美術館管理運営規則一部改正(昭和43年 広島県教育委員会規則第13号)分掌事務
21日	落成式挙行
22日	旧館開館
10月	広島県立美術館美術品収集要領制定
12月	広島県立美術館展示施設運営要領制定
昭和44年 4月	広島県立美術館管理運営規則一部改正(昭和44年 広島県教育委員会規則第2号) 職員の仕事・職員の職務 館藏品常設展開設
昭和46年 4月	宮地貫一館長事務取扱任命
昭和47年 1月	広島県立美術館友の会発足
5月	浜本正弘館長事務取扱任命
6月	佐々木司郎館長事務取扱任命
8月	広島県立美術館管理運営規則一部改正(昭和47年 広島県教育委員会規則第11号)職員の職 羽白幸雄館長(非常勤)任命
11月	開館5周年記念「広島県立美術館所蔵作品集」発刊
昭和48年 6月	広島県立美術館条例一部改正(昭和48年 広島県条例第30号) 広島県立美術館管理運営規則一部改正(昭和48年 広島県教育委員会規則第14号)補助職員の仕事及び職務
10月	広島県立美術館管理運営規則一部改正(昭和48年 広島県教育委員会規則第19号)職員の職等
昭和49年 3月	広島県立美術館管理運営規則一部改正(昭和49年 広島県教育委員会規則第4号)その他の職員の職
昭和50年 4月	広島県立美術館条例一部改正(昭和50年 広島県条例第25号)施設使用料
昭和51年 4月	広島県立美術館条例一部改正(昭和51年 広島県条例第9号)入館料

昭和52年 2月	広島県美術展開催運営規則施行(昭和52年 広島県教育委員会規則第2号)
昭和53年 10月	開館10周年記念展開催
昭和54年 3月	開館10周年記念「広島県立美術館所蔵作品集」発刊
12月	収蔵庫拡張工事着工
昭和55年 2月	収蔵庫拡張工事完了
4月	定宗一宏館長(非常勤)任命 広島県立美術館条例一部改正(昭和55年 広島県条例第19号)施設使用料
10月	広島県立美術館管理運営規則一部改正(昭和55年 広島県教育委員会規則第10号)
昭和56年 4月	広島県立美術館管理運営規則一部改正(昭和56年 広島県教育委員会規則第5号)課の名称変更・入館料の免除 広島県立美術館美術品等取得基金条例施行(昭和56年 広島県条例第5号 基金額1億円)
10月	広島県美術品等取得基金運用規定制定 美術品等収集委員会設置要領制定
昭和57年 3月	定宗館長辞職
4月	広島県立美術館条例一部改正(昭和57年 広島県条例第10号)入館料・施設使用料 阿川静明館長(非常勤)任命
9月	縮景園窓口入園窓口を設置
昭和60年 3月	阿川館長辞職
4月	赤木博典館長(常勤)任命
昭和61年 10月	事務局職員による県立美術館整備計画検討会議を設置
昭和62年 2月	渋谷文庫開設
3月	県立美術館整備計画検討会議、整備構想案をまとめる 赤木館長辞職
4月	吉岡典威館長(兼務)任命
11月	県教育委員会、広島県立美術館整備構想検討委員会を設置、委員8名を委嘱
昭和63年 4月	菅川健二館長(兼務)任命 広島県立美術館条例一部改正(昭和63年 広島県条例第7号)入館料・施設使用料 広島県立美術館美術品等取得基金、1億円を増額(基金額2億円)
11月	広島県立美術館整備構想検討委員会、整備構想をまとめ県教育委員会に答申
平成元年 3月	さところ文庫開設
5月	広島県立美術館整備基本計画検討委員会を設置、委員18名を委嘱(座長 橋口収県商工会議所連合会会長)
7月	広島県立美術館美術品等収集評価委員会を設置、委員6名を委嘱
平成2年 3月	「広島県立美術館所蔵作品図録」発刊
4月	広島県立美術館美術品など取得基金、5億円を増額(基金額7億円)



12月 知事、県議会本会議において「新美術館は隣接する縮景園の景観を損なうことなく、両施設の一体化を図った文化ゾーンの一環として一体的に整備する必要がある」と答弁

平成3年 2月 知事、県議会本会議において「基金設計に着手する」ことを提案

3月 県議会、平成3年度予算案(基本設計予算)を可決

4月 広島県立美術館整備基本計画をまとめる  
美術品等特別収集に着手  
広島県立美術館美術品等取得基金、3億円を増額(基金額10億円)

平成4年 7月 施設利用業務休止。館藏品常設展示室休室

9月 閉館記念式典挙行

10月 事務所を広島市西区観音新町四丁目9-43に移転、仮事務所とする  
旧県立図書館及び旧県立美術館の解体工事に着手  
広島県立美術館美術品等取得基金、10億円を増額(基金額20億円)

平成5年 3月 解体工事、整地完了  
新館建設工事安全祈願祭が挙行され、工事に着手

4月 久保信保館長(兼務)任命

12月 寺脇研館長(兼務)任命  
広島県立美術館美術品等取得基金、10億円を増額(基金額30億円)

平成6年 5月 事務所を西区観音新町から広島市中区八丁堀3-2幟会館(2階)に移転  
広島県立美術館美術品等取得基金、10億円を増額(基金額40億円)

平成7年 4月 常廣泰登館長(専任)任命  
広島県立美術館美術品等取得基金、5億円を増額(基金額45億円)

12月 新館竣工  
新館鍵引渡し式を挙行

平成8年 1月 事務所を新館に移転

4月 1日 木曾功館長(兼務)就任

7月 1日 平山郁夫名誉館長就任

5日 広島県立美術館条例施行(平成8年 広島県条例第16号)入館料・施設使用料

22日 広島県立美術館管理運営規則一部改定(平成8年 広島県教育委員会規則第9号)施設使用料

10月 1日 「広島県立美術館コレクション選」発刊

5日 新館開館記念式挙行

6日 新館開館  
広島県立美術館美術品等取得基金、5億円を増額(基金額50億円)

平成9年 3月 26日 広島県立美術館条例施行(平成9年 広島県条例第3号)入館料・施設使用料

4月 1日 広島県立美術館管理運営規則(平成9年 広島県教育委員会規則第6号)全面改定

平成10年 3月 24日 広島県立美術館条例施行(平成10年 広島県条例第5号)入館料等の納付  
広島県立美術館管理運営規則一部改定(平成10年 広島県教育委員会規則第4号)

7月 1日 辰野裕一館長(兼務)就任

平成12年 2月 1日 広島県立美術館美術品等収集評価委員会設置要領一部改正

平成13年 3月 26日 広島県博物館協議会条例施行(平成13年 広島県条例第3号)広島県美術館協議会条例廃止

29日 広島県立美術館管理運営規則一部改正(平成12年 広島県教育委員会規則第5号)入館料等の減免

7月 10日 常盤豊館長(兼務)就任

10月 22日 広島県立美術館管理運営規則一部改正(平成13年 広島県教育委員会規則第7号)入館料の減免

12月 20日 平山郁夫名誉館長辞任

平成14年 3月 25日 広島県立美術館条例一部改正(平成14年 広島県条例第18号)小・中・高校生の無料化

4月 1日 広島県立美術館管理運営規則一部改正(平成14年 広島県教育委員会規則第10号)開館時間の変更

平成16年 7月 1日 関靖直館長(兼務)就任

平成17年 12月 20日 広島県立美術館条例一部改正(平成17年 広島県条例第57号)展示施設等の利用許可の条件、取消し等及び制限  
広島県立美術館管理運営規則一部改正(平成17年 広島県教育委員会規則第16号)開館時間表記の改正及び条例改正に伴う改正

平成19年 4月 1日 榎田好一館長(兼務)就任

6月 18日 広島県立美術館管理運営規則一部改正(平成19年 広島県教育委員会規則第9号)休館日の変更及び条例改正に伴う改正

12月 25日 広島県立美術館条例一部改正(平成19年 広島県条例第56号)学校教育法等の一部改正に伴う改正

平成20年 4月 1日 指定管理者制度導入

平成21年 4月 1日 所管先が広島県教育委員会生涯学習部文化課から広島県環境県民局総務管理部文化芸術課へ移行  
広島県立美術館の入館料に関する規則施行(平成21年 広島県規則第33号)  
広島県美術展開催運営規則(平成21年 広島県規則第34号)  
藤田雄山館長(兼務)就任

平成21年 12月 1日 平田光章館長(兼務)就任

平成22年 4月 1日 抹香尊文館長(兼務)就任

6月 1日 広島県美術品等取得基金条例を廃止する条例の施行(平成22年 広島県条例第22号)

6月 28日 広島県立美術館条例一部改正(平成22年 広島県条例第31号)施設使用料額の下限撤廃に伴う改正

平成23年 4月 1日 越智裕二郎館長就任

6月 29日 広島県立美術館評価委員会設置

7月 11日 広島県立美術館条例一部改正(平成23年 広島県条例第31号)指定管理者による管理、入館料の納付等および減免、利用料金の納付等・減免及び収入

平成24年 4月 1日 広島県立美術館の入特別展の観覧に係る入館料に関する規則一部改正(平成24 広島県規則第38号)

平成25年 2月18日	広島県立美術館管理運営規則一部改正(平成25年 教育委員会規則第1号)講堂の利用申込期間の変更	10月12日	広島県立美術館条例一部改正(平成28年 広島県条例第47号)指定管理による管理、入館料の納付等、利用料金の納付等、入館料の減免、利用料金の減免、利用料金の収入
3月14日	広島県立美術館の特別展の観覧に係る入館料に関する規則一部改正(平成25年 広島県規則第13号) 広島県立美術館条例一部改正に伴う改正	平成29年 3月23日	広島県立美術館管理運営規則一部改正(平成29年 教育委員会規則第1号)利用料金の減免、利用料金の減免の申請
平成26年 3月26日	広島県立美術館条例施行(平成26年 広島県条例第17号、第23号)入館料・施設使用料及び開館時間	平成29年 4月 1日	広島県立美術館の入館料に関する規則一部改正(平成29年広島県規則第16号)入館料の免除
平成27年 3月16日	広島県立美術館条例一部改正(平成27年 広島県条例第3号)展示施設等の利用料金の減免	平成31年 3月 8日	広島県立美術館条例一部改正(平成31年 広島県条例第5号)利用料金の範囲
4月 1日	千足伸行館長就任	令和2年 3月 7日	新型コロナウイルス感染拡大防止のために臨時休館(同日午後から令和2年5月11日まで)
平成28年 3月22日	広島県立美術館条例一部改正(平成28年 広島県条例第7号)入館料・利用料金の減免、所蔵作品展の利用料金の範囲		

## Ⅱ 展覧会

### 展覧会一覧

平成31年4月1日～令和2年3月31日までに開会した展覧会は、次の通り。

#### 特別展

展 覧 会 名		会 期
1	挑む浮世絵 国芳から芳年へ	4月13日(土)～5月26日(日)
2	追悼水木しげる ゲゲゲの人生展	7月13日(土)～8月25日(日)
3	入城400年記念 広島浅野家の至宝 一よみがえる大名文化一	9月10日(火)～10月20日(日)
4	印象派への旅 海運王の夢 バレル・コレクション	11月2日(土)～1月26日(日)
5	第66回日本伝統工芸展	2月13日(木)～3月1日(日)

#### 所蔵作品展

展 覧 会 名		会 期
1	春の所蔵作品展 対決！5番勝負 一師VS弟子、東VS西…	4月17日(水)～6月30日(日)
2	夏の所蔵作品展 サマーミュージアム 美術館の七不思議	7月3日(水)～9月23日(月・祝)
3	秋の所蔵作品展 みんなが選んだ名品セレクション／小特集 小林千古	9月26日(木)～12月24日(火)
4	冬の所蔵作品展 小特集 今井政之・バウハウス・入野忠芳／新収蔵作品	1月2日(木)～4月19日(日) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のために会期を変更 臨時休館：3月7日(土)～5月11日(月) 会期延長：5月12日(火)～7月19日(日)

# 1 挑む浮世絵 国芳から芳年へ

会 期／平成31(2019)年4月13日(土)～令和元(2019)年5月26日(日)

主 催／広島県立美術館、広島テレビ、イズミテクノ

後 援／中国放送、広島ホームテレビ、テレビ新広島、  
広島エフエム放送、FMちゅーピー76.6MHz、  
エフエムふくやま、尾道エフエム放送、  
FMはつかいち76.1MHz、FM東広島89.7MHz

協 賛／野崎印刷紙業株式会社、広島県信用組合

企画協力／名古屋市博物館

入 館 料／一 般 1,200(1,000)円

高・大学生 1,000( 800)円

小・中学生 600( 400)円

※( )内：前売・20名以上の団体料金

入館者数／15,626人(44日間)



旺盛な好奇心と柔軟な発想、豊かな表現力を武器に武者絵や戯画に新機軸を打ち出し、幕末期の浮世絵のさらなる活性化に貢献した天才絵師・歌川国芳の武者絵作品を紹介するとともに、月岡芳年や落合芳幾、歌川芳艶など国芳の弟子たちの作品にもスポットを当て、幕末から明治にかけて社会情勢が激変するなか、国芳の個性がどのように継承され、あるいは変化・発展していったのかをたどった。

(本展担当者：角田 新)

## 関連事業

- (1) 講演会「国芳と芳年の『快感』」(広島県立美術館友の会共催)

日 時：4月20日(日) 13:30～15:00

講 師：神谷 浩(元名古屋市博物館副館長)

会 場：地階講堂

参加者：109人

- (2) ギャラリートーク

日 時：4月19日(金)、26日(金)、5月10日(金)、  
24日(金) 各日11:00～、18:00～

担 当：角田 新(当館主任学芸員)

参加者：計216人

- (3) ワークショップ「紙で版画をつくってみよう」

日 時：4月29日(月・祝)、5月3日(金・祝)  
各日13:30～15:30

担 当：角田 新(当館主任学芸員)

会 場：地階講堂

参加者：計36人





- (4) 広テレ落語「怪談嘶選」  
 日 時：5月11日(土) 13:30~15:00  
 出 演：森 拓磨、澤村 優輝(広島テレビアナウンサー)、  
 塚原 美緒(広島テレビ気象予報士)  
 会 場：地階講堂  
 参加者：180人
- (5) ロビーコンサート「挑む音色、三味線とピアノで奏でる  
 浮世絵の世界」  
 日 時：4月28日(日) 12:00~  
 演奏者：川東 陽華(長唄三味線)、山下 雅靖(ピアノ)  
 場 所：1階ロビー  
 参加者：110人



#### 主要関連番組

- (1) テレビ  
 広島テレビ 広島テレビ 前日中継(4月12日)  
 開幕ニュース(4月13日)  
 広島ホームテレビ 5up(4月19日)  
 広島テレビ テレビ派 告知(4月26日)  
 『今いこ』(5月6日)  
 『てっぺん』(5月10日)  
 『街角中継』(5月8日)  
 広島テレビ 知っとる(5月24日)
- (2) ラジオ  
 エフエムふくやま 『びんごピカイチ情報』(出演4月15日)  
 エフエムおのみち 「よっちゃんの玉手箱」『You Gotta Radio』(出演4月17日)  
 FMはつかいち(4月19日)

#### 主要関連記事

- (1) 新聞  
 中国新聞 「ミュージアムで会いましょう」(4月20日)  
 毎日新聞 記事 イベント情報(5月10日)
- (2) 雑誌等  
 『色絵馬(広島県立美術館友の会会報)』87号、『to you』4月号、『JAF』4月号、『フルハップ』4月号、『ぴあ(中国四国九州)』4月号、『Tj Hiroshima』3月号、『リビングひろしま』5月1日号、『プレスネット』4月18日、『ホットペッパー』4月6日号、『茶道研究』5月号、『旨い広島・宮島』春号、『ウェンディ広島』5月号、『くれえばん』4月号、『Wink』5月号、『経済春秋』4月号
- (3) WEB・SNSほか  
 『ホルベインアーティストナビ』(4月~)、『アートアジェンダ』(2月25日~)、『Walker plus』(4月~)、『yahoo!ロコ』(4月~)、『ひろたびサイト』(4月~)、『ブンカッキー』(4月~)、『広島県観光連盟』(4月~)、『マイフェバ』(3月28日~)、『個展なび』(3月28日~)、『ファッションプレス』(4月~)、『インターネットミュージアム』(3月18日~)、『美術手帖』(4月~)、『ページワ

ンスタジオ』(3月28日～)、『いこーよ』(4月～)、フジトラベル チラシ(4月～)、蔦屋家電イベントカレンダー(5月号)、蔦屋家電蔦屋家電 スライドトーク(5月6日14時～3階イベントスペース)、蔦屋書店(レクト)展覧会紹介スペース設置(4月～)

#### カタログ内容

「国芳と芳年の『快感』」 神谷 浩

図版

1章 ヒーローに挑む

2章 怪奇に挑む

3章 人物に挑む

4章 話題に挑む

終章 「芳」ファミリー

コラム1 「好き」をつらぬく

コラム2 世界観を支える印刷技術

コラム3 英名二十八衆句にみる交友

コラム4 土蜘蛛インパクトの余波

作品解説

主要参考文献

年表

作品リスト

#### 展覧会巡回先

名古屋市博物館 平成31(2019)年2月23日(土)～4月7日(日)

福岡市博物館 令和元(2019)年11月16日(土)～12月23日(月)

京都文化博物館 令和2(2020)年6月6日(土)～7月20日(月)

## 2 追悼水木しげる ゲゲゲの人生展

会 期／令和元(2019)年7月13日(土)～8月25日(日)  
主 催／広島県立美術館、広島ホームテレビ、イズミテクノ、  
中国新聞社、朝日新聞社  
後 援／中国放送、広島テレビ、テレビ新広島、広島エフエム放送、  
FMちゅーピー76.6MHz、エフエムふくやま、  
尾道エフエム放送、FMはつかいち76.1MHz、  
FM東広島89.7MHz

企画協力／水木プロダクション

協 賛／ライブアートブックス

広島展協賛／大田鋼管、広島県信用組合、  
一般財団法人ケンシン地域振興財団

協 力／テクノネット、クロステック

入 館 料／一 般 1,300(1,100)円

高・大学生 1,000( 800)円

小・中学生 600( 400)円

※( )内は前売・20人以上の団体料金

入館者数／28,947人(44日間 ※会期中、8月15日は台風のために臨時休館)



「ゲゲゲの鬼太郎」「悪魔くん」など数多くのヒット作を生み出した水木しげる(1922-2015)は、漫画家としてだけでなく、作品を通じて妖怪文化を広めた妖怪研究者としても高く評価されている。

本展は、水木プロダクションの全面的な協力のもと、漫画や妖怪画の原画をはじめ、少年期の習作や戦地で描いたスケッチ、愛用の私物や世界中で収集した妖怪・精霊像のコレクションなど、初公開作品を含む約390点を一堂に展示し、その作品と人間像の魅力を紹介した。

(本展担当者：藤崎 綾)

### 関連事業

- (1) にほんのうた ロビーコンサート  
日 時：7月14日(日) 12:00～  
演 奏：東京オペラシンガーズ  
会 場：1階ロビー  
参加者：190人
- (2) 講演会「水木先生の贈りもの」(広島県立美術館友の会共催)  
日 時：7月20日(土) 13:30～15:00  
講 師：庄司 行男(水木しげる記念館館長)  
会 場：地階講堂  
参加者：65人



- (3) 水木しげる絵本の読み語りと紙芝居  
 日 時：7月27日(土)、8月3日(土)  
 各日11：30～、14：30～(各回約40分)  
 演 者：広島ホームテレビアナウンサー  
 会 場：3階ロビー  
 参加者：計274人
- (4) ひゅ～どろどろ オカリナワークショップ&ロビーコンサート  
 日 時：7月28日(日)  
 ①ワークショップ 10：00～12：00  
 講 師：野口 美紀  
 会 場：3階ロビー  
 参加者：20人  
 ②ロビーコンサート 12：00～  
 演 奏：デューオ(野口 美紀&Terako)(オカリナ奏者)  
 会 場：1階ロビー  
 参加者：130人
- (5) 妖怪大集合(コスプレイベント)  
 日 時：8月8日(木)  
 参加者：103人
- (6) 水木しげるロード観光PRイベント 鬼太郎・ねこ娘・ねずみ男との記念撮影  
 日 時：8月8日(木)、9日(金) 各日11：00～、13：30～、15：00～  
 会 場：1階ロビー  
 参加者：計185組
- (7) ロビーコンサート  
 日 時：8月25日(日) 12：00～  
 演 奏：広島文化学園大学(ピアノ、サクソフォン)  
 会 場：1階ロビー  
 参加者：80人



#### 主要関連番組

- (1) テレビ  
 広島ホームテレビ 『ぼるぼるエンタ』(5月24日、6月1日、8日、14日、21日、29日、7月5日、12日、19日、20日、26日、27日、8月2日、3日、6日、9日、10日、16日、17日)  
 『情報ランド』(6月6日、6日、12日、21日、7月3日、31日、8月7日)  
 『あんテナ』(6月10日、7月8日)  
 『5up』(7月12日開幕前日中継、7月13日開幕、8月1日入館者1万人、8月2日県政情報)
- NHK 『ひるまえ直送便』(8月5日)
- (2) ラジオ  
 エフエムふくやま 『びんごピカイチ情報』(出演7月12日)  
 RCCラジオ『広島トヨペット ドリームガレージ』(出演7月13日)  
 広島FM(7月15日～18日)

エフエムおのみち「よっちゃんの玉手箱」『You Gotta Radio』（出演 7月17日）  
FM東広島『EASTじゃけん』（出演 7月26日）  
FMはつかいち（7月30日）  
RCCラジオ『おひる一な』（出演 8月2日）

## 主要関連記事

### (1) 新聞

中国新聞 記事(社告 5月13日、6月16日、特集 7月11日、開幕 7月14日、展覧会情報 7月19日、ふれあい面 7月24日、1万人セレモニー 8月2日、水木布枝夫人記事 7月20日、『追悼水木しげる ゲゲゲの人生展』に寄せて(執筆) 8月14日)

広告(半5段：6月5日、9日、12日、16日、18日、21日、26日、28日、7月2日、5日、6日、13日、28日、8月2日、5日、8日、17日、22日)

(半3段：6月5日、12日、21日、24日、28日、7月2日、3日、13日、21日、28日、8月1日、2日、5日、8日、16日)

(全3段：6月6日、9日、11日、14日、16日、18日、19日、22日、29日、7月7日、9日、21日、23日、8月12日、)

「ミュージアムで会いましょう」(7月20日)

朝日新聞 記事(社告 7月5日、開幕 7月14日、1万人セレモニー 8月2日)

広告(6月7日、7月20日)

### (2) 雑誌等

『色絵馬(広島県立美術館友の会会報)』88号、『月刊ローチケ』5月15日・6月15日号、『to you』6月号、『JAF』6月号、『フルハップ』6月号、『学校共済組合』6月号、『Tj Hiroshima』6月号、『日経REVME』6月号、『リビングひろしま』6月1日号、『7ぴあ(中国四国九州)』6月1日付、『西広島タイムス』6月14日号、『CHIC』6月15日号、『Cue』6月21日号、『フリーペーパー ワーキン』6月24日・7月1日・7月8日号、『エクスペリメ』夏号、『旨い広島・宮島』夏号、『ホームテレビ季刊タイムテーブル』(7～9月号)、『to you』7月号・広告、『ウエンディ広島』7月号、『くれえばん』7月号、『Wink』7月号、『Winkひろしま(備後版)』7月号、『経済春秋』7月号、『Tj Hiroshima』7月号特集広告、『経済レポート』7月9日号、『Cue備後』7月12日号、『ウエンディ広島』8月号、『Winkひろしま(備後版)』8月号特集広告

### (3) WEB・SNSほか

『アートアジェンダ』5月7日～、『Walker plus』6月上旬～、『旅やか』6月中旬～、『ひろたびサイト』6月17日～、『ファッションプレス』6月下旬～、『インターネットミュージアム』6月下旬～、『美術手帖』6月下旬～、『ページワンスタジオ』6月下旬～、『ミニナルアート』7月下旬～

## カタログ内容

「水木サンは、笑っている」 京極 夏彦

### 図版

#### 第1章 境港の天才少年画家

誕生／少年時代／蒐集／習作／絵物語・童画／スケッチ

「やさしい兄だった」 武良 幸夫

#### 第2章 地獄と天国を見た水木二等兵

出征／戦場の楽園／ラバウル戦記／トーマの日々／戦記漫画／復員後



「大先生ばんざい！ 水木しげるの幸福な波動」 荒又 宏

### 第3章 貧乏神との闘い

焼け跡から再生／帰郷／東京から神戸へ／紙芝居／結婚／貸本漫画／鬼太郎誕生

「お金がなくてもピリピリしない大人物」 武良 布枝

### 第4章 福の神来たる！

さらば貧乏神！／名作が生み出された部屋—水木しげるの書斎／鬼太郎シリーズ／

河童の三平シリーズ／悪魔くんシリーズ／怪奇／幻想／伝記／古典／風刺／自伝／直筆格言

「アルバイト時代の思い出」 呉 智英

### 第5章 妖怪に取り憑かれて

水木しげるの妖怪写真アルバム／水木しげるの世界妖怪旅行地図／妖怪画／日本土俗神探訪／

世界の精霊・妖怪／水木しげるの妖怪博物館／妖怪フィギュア

「水木しげるさんと妖怪研究」 小松 和彦

### 第6章 エピローグ 水木しげるは永遠に

ゲゲゲの名セリフ集／ゲゲゲの家族アルバム／水木しげるへの追悼メッセージ／「理想の死に方」

水木しげる詳細年譜

水木しげる著作リスト

出品リスト

展覧会情報

#### 展覧会巡回先

松屋銀座	平成29(2017)年3月8日(水)～3月20日(月・祝)
大丸ミュージアム梅田	平成29(2017)年4月5日(水)～4月19日(水)
大丸ミュージアム京都	平成29(2017)年4月19日(水)～5月8日(月)
大丸ミュージアム神戸	平成29(2017)年7月26日(水)～8月14日(月)
福岡県立美術館	平成29(2017)年10月27日(金)～12月10日(日)
松坂屋美術館	平成30(2018)年4月28日(土)～6月10日(日)
沖縄県立博物館・美術館	平成30(2018)年7月11日(水)～9月2日(日)
島根県立石見美術館	平成30(2018)年12月1日(土)～平成31(2019)年1月28日(月)
新潟市新津美術館	平成31(2019)年3月23日(土)～令和元(2019)年6月2日(日)
水野美術館	令和元(2019)年9月14日(土)～11月24日(日)

### 3 入城400年記念 広島浅野家の至宝 —よみがえる大名文化—

会 期／令和元(2019)年9月10日(火)～10月20日(日)  
※月曜日休室

主 催／広島県立美術館、中国新聞社、中国放送

後 援／広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島、  
広島エフエム放送、FMちゅーピー76.6MHz、  
エフエムふくやま、尾道エフエム放送、  
FMはつかいち76.1MHz、FM東広島89.7MHz

協 賛／イズミテクノ、大和証券、広島県信用組合、  
一般財団法人ケンシン地域振興財団

入 館 料／一 般 1,500(1,300)円  
大学生 1,000( 800)円  
高校生以下無料  
※( )内は前売・20人以上の団体料金

入館者数／16,751人(36日間)



広島藩主浅野家の広島城入城400年を記念して開催した。浅野家による広島藩の治世は、初代藩主長晟の元和5(1619)年から十二代藩主長勲の明治4(1871)年まで、約250年にわたる。この間には広島42万石の大家として、その由緒・格式を語るにふさわしい刀剣や武具、歴代の風流大名が愛蔵した多彩な茶道具、そして足利将軍家ゆかりの東山御物や山陽道ゆかりの雪舟作品など、東洋名画を中心とする大コレクションを築いた。このコレクションは、とりわけ中国・宋元時代絵画の質量に優秀さが認められ、戦前には浅野観古館(広島県立美術館現在地)で一般公開されていたが、戦中・戦後にかけて解体されている。

本展では、平成21(2009)年に当館が開催した特別展「知られざるサムライ・アート 大名庭園展」の成果を引き継ぎ、かねてより評価の高い浅野家伝来の絵画作品を展覧会の中核に位置付けると共に、刀剣や茶道具、能道具、婚礼調度に至るまで、ゆかりの名宝130点余りを一堂に展観することで、永らく見ることの叶わなかった広島の大名文化、その精華を紹介した。

(本展担当者：隅川 明宏)

#### 関連事業

- (1) 記念講演会「浅野家伝来の宋元絵画」(広島県立美術館友の会共催)  
日 時：9月22日(日) 13:30～15:00  
講 師：板倉 聖哲(本展企画委員／東京大学東洋文化研究所教授)  
場 所：地階講堂  
参加者：123人
- (2) 美術講座「広島浅野家の至宝—よみがえる大名文化—」  
日 時：10月6日(日) 13:30～15:00  
講 師：隅川 明宏(当館学芸員)  
会 場：地階講堂  
参加者：70人

- (3) ギャラリートーク  
 日 時：9月20日、10月4日(金) 各日11時～  
           9月13日、9月27日、10月11日(金) 各日18時～  
 講 師：隅川 明宏(当館学芸員)  
 会 場：3階企画展示室  
 参加者：計152人
- (4) ロビーコンサート「寿ぎの能楽－祝いの謡と舞のひとつとき」  
 日 時：10月13日(日) 13：30～  
 会 場：1階ロビー  
 出 演：大島 衣恵(喜多流能楽師)  
 参加者：200人



#### 主要関連番組

- (1) テレビ
- |      |       |                                    |
|------|-------|------------------------------------|
| 8/11 | 中国放送  | 15秒スポットCM 開催前・開催中 合計 215本発(～10/20) |
| 9/10 | 中国放送  | 昼のニュース「広島藩主・浅野家の至宝 一堂に」            |
|      | 広島テレビ | 昼のニュース・テレビ派開幕                      |
| 9/11 | NHK広島 | 地方ニュース7：45～ 開幕                     |
| 9/13 | TSS   | プライムニュース 開幕                        |
| 10/4 | 中国放送  | 昼のニュース「浅野家の至宝 来場者1万人」              |
- (2) ラジオ
- |      |        |   |
|------|--------|---|
| 7/10 | RCCラジオ | 20秒スポットCM 前売券販売中184本・好評開催中 138本<br>合計322本(～10/20) |
| 9/15 | RCCラジオ | 「PLAY！RADIO」(展覧会のみどころ 隅川学芸員出演)                    |
| 9/16 | 広島FM   | 「GOOD JOG」(～9/19)                                 |
| 9/29 | RCCラジオ | 「PLAY！RADIO」(展覧会のみどころ 隅川学芸員出演)                    |

#### 主要関連記事

- (1) 新聞
- |      |      |               |
|------|------|---------------|
| 6/16 | 中国新聞 | チケットプレゼント     |
| 7/10 | 中国新聞 | 「社告」(以降、随時)   |
| 9/6  | 中国新聞 | 「特集」          |
| 9/8  | 読売新聞 | 「被爆能面 広島に帰る」  |
| 9/9  | 宇部日報 | 「開幕」          |
| 9/10 | 朝日新聞 | 「浅野家の至宝 里帰り」  |
| 9/11 | 中国新聞 | 「開幕」          |
| 9/19 | 中国新聞 | 「家宝の世界① 中国絵画」 |
| 9/20 | 中国新聞 | (事業ガイド)       |
| 9/20 | 中国新聞 | 「家宝の世界② 能道具」  |
| 9/23 | 中国新聞 | 「家宝の世界③ 婚礼道具」 |
| 9/24 | 中国新聞 | 「家宝の世界④ 日本絵画」 |
| 9/25 | 中国新聞 | 「家宝の世界⑤ 武具」   |



- 9/28 中国新聞 「ミュージアムで会いましょう」  
 10/4 中国新聞 「室町以降の絵画史を追体験」(隅川学  
 芸員寄稿文)  
 10/5 中国新聞 「入場1万人」  
 10/11 中国新聞 「心ときめく異国の色・文様 浅野箱  
 とインド更紗」(福田学芸課長寄稿文)  
 10/10 中国新聞 「浅野家の中国絵画を解説(板倉教授)」  
 9月号 ちゅーピーこども新聞「浅野家の宝物 なぞに迫る」



## (2) 雑誌等掲載

『入城400年イベントガイド』7月～、『CUE備後』7月12日、『JAF』10月号、『目の眼』10月号、『to-you』10月号、『ウェンディ広島』10月号、『旨い広島・宮島』秋号、『プレスネット』10月号、『リビングひろしま』10月号、『Tj Hiroshima』10月号、『月刊誌 コロンブス』8月号、『岡山観光センターパンフレット』8月下旬～、『Busport』9月号、『Story(中国新聞レディースクラブ会員誌)』9月号、『経済レポート』10月号、『経済春秋』10月号、『色絵馬(広島県立美術館友の会会報)』88号

## (3) WEB・SNSほか

「RCCイベントガイド」7月～、「広島観光ナビ」8月上旬～、「ひろたび」8月上旬～、「ブンカッキーひろしま」8月上旬～、「アートアジェンダ」8月下旬～、「インターネットミュージアム」8月下旬～

## カタログ内容

ごあいさつ

浅野氏系図

第一章 浅野家の由緒と武威[武器・刀剣]

第二章 風流大名の系譜[茶の湯道具]

第三章 浅野家の中国絵画

第四章 浅野家の日本絵画

第五章 浅野文庫の漢籍・饒津神社の能道具

第六章 藩主の祈り・姫君の暮らし

「概説 広島浅野家の至宝ーよみがえる大名文化」 隅川 明宏(広島県立美術館学芸員)

「芸州浅野家の中国絵画コレクションー近世後期・近代の視点から」 板倉 聖哲(東京大学東洋文化研究所教授)

「浅野文庫の『西遊記』二種について」 上原 究一(東京大学東洋文化研究所助教授)

「浅野家の私設美術館ー「観古館」について」 神内 有理(広島県立美術館主任学芸員)

作品解説

浅野家歴代年譜

関連年表

主要参考文献

作品目録



## 4 印象派への旅 海運王の夢 バレル・コレクション

会 期／令和元(2019)年11月2日(土)～令和2年(2020)年1月26日(日)

主 催／広島県立美術館、中国新聞社、中国放送、毎日新聞社

後 援／ブリティッシュ・カウンシル、広島テレビ、  
広島ホームテレビ、テレビ新広島、広島エフエム放送、  
FMちゅーピー76.6MHz、エフエムふくやま、  
尾道エフエム放送、FMはつかいち76.1MHz、  
FM東広島89.7MHz

協 力／日本航空

協 賛／大日本印刷、大田鋼管、広島県信用組合、  
一般財団法人ケンシン地域振興財団

入 館 料／一 般 1,400(1,200)円

高・大学生 1,000( 800)円

小・中学生 600( 400)円

※( )内は前売・20人以上の団体料金

入館者数／21,822人(78日間)



産業革命期、グラスゴーは英国随一の港湾都市として栄えた。ウィリアム・バレル(1861-1958)は、この地で家業の海運業に携わり、船舶の売買により巨額の富を得て、「海運王」と称される。少年時から美術に関心を持っていたバレルは、古今東西の美術作品の収集に努め、9000点に及ぶコレクションを形成した。

それら作品は1944年から段階的にグラスゴー市に寄付され、1983年に美術館「バレル・コレクション」が開館した。本展では、バレルの膨大なコレクションとケルヴィングローヴ美術博物館(グラスゴー)の名品の中から、バルビゾン派や印象派などのフランス絵画や、その影響を受けたスコットランドやオランダの画家たちによる選りすぐりの80作品を展示。写実主義から印象派へと至る流れをクールベ、ドガ、ルノワール、セザンヌやゴッホらの傑作を通じて紹介した。

(本展担当者：山下 寿水)

### 関連事業

- (1) 記念講演会「バレル・コレクションにおけるレアリスムと印象派—フランス近代美術のコレクターをめぐって—」(協力：広島県立美術館友の会)

日 時：11月10日(日) 13：30～15：00

講 師：[当初予定]三浦 篤(東京大学教授)

[代理]山下 寿水(当館学芸員)

会 場：地階講堂

参加者：112人



- (2) 記念シンポジウム「印象派をめぐる都市の夢 グラスゴー、パリ、ハーグ」(協力：広島県立美術館友の会)

日 時：1月12日(日) 13:30~15:30

講 師：古谷 可由(ひろしま美術館学芸部長)、  
川口 佳子(長崎県美術館学芸員)、  
山下 寿水(当館学芸員)

会 場：地階講堂

参加者：102人



- (3) 美術講座

A「夢のコレクション—オランダ、スコットランドの画家たち」

日 時：12月21日(土) 13:30~15:00

講 師：山下 寿水(当館学芸員)

会 場：地階講堂

参加者：48人

B「フランス近代絵画の旅—コローからセザンヌへ」

日 時：1月11日(土) 13:30~15:00

講 師：森 万由子(当館学芸員)

会 場：地階講堂

参加者：53人



- (4) ギャラリートーク

日 時：11月15日(金)、29日(金)、12月6日(金)、20日(金)、1月10日(金)、24日(金)、25日(土)、  
26日(日) 各金曜は11:00~、18:00~。1月25日(土)、26日(日)は11:00~

講 師：山下 寿水、森 万由子(当館学芸員)

会 場：3階企画展示室

参加者：計279人

- (5) ロビーコンサート

日 時：11月16日(土)

演奏者：広島文化学園大学(オーボエ、ピアノ)

会 場：1階ロビー

参加者：90人

日 時：12月22日(日) 12:00~

演奏者：木村 紗綾(ヴァイオリン)

会 場：1階ロビー

参加者：150人

- (6) 謎解きゲーム「Message from Glasgow」

バレル・コレクション展の世界観をもっと楽しむことができる謎解きゲームを実施。

日 時：会期中全期

協 力：広島大学 ナゾサークル おにラビ

参加者：60人

- (7) 写真撮影コーナー

展示室内で、一部作品の写真撮影を可能とするとともに、ロビーでは、エドガー・ドガ《リハーサル》のバレリーナになりきって撮影できるコーナーを設置。

(8) 託児サービス

日時：11月16日(土) ①10：00～、②12：00～、③14：00～

参加者：2人

主要関連番組

(1) テレビ

11/2 中国放送(昼・夕方ニュース、展覧会開幕)  
広島テレビ(夕方・夜ニュース、展覧会開幕)

11/7 NHK広島放送局(昼・夜ニュース)

11/14 NHK広島放送局「ひるまえ直送便」(担当者出演)

12/4 中国放送(1万人セレモニー)

(2) ラジオ

10/17 FMはつかいち「いきいきFactory」(担当者出演)

10/28 中国放送「ぱりしゃきナウ」(担当者出演)

11/15 エフエムふくやま「イブニングステーション」(担当者出演)

11/26 エフエム尾道「You Gotta Radio」(担当者出演)

12/9 中国放送「おはようラジオ」(担当者出演)

主要関連記事

(1) 新聞

・中国新聞

9/2 社会面 社告(前売開始)

9/28 ミュージアムで会いましょう

10/29 特集紙面

11/3 開幕記事

11/9 チケットプレゼント

11/15 PR面 展覧会情報

11/27 文化面 山下学芸員寄稿

11/27 ふれあい面 展覧会紹介(招待券プレゼント)

12/5 社会面 1万人突破記事

1/10 文化面 千足館長インタビュー

1/18 文化面 シンポジウム実施報告

・毎日新聞

10/16 開催社告

10/26 告知記事

11/1 開幕記事

11/16 告知記事

11/29 地域面 作品紹介①

12/5 地域面 作品紹介②

12/5 地域面 1万人突破記事

12/6 地域面 作品紹介③

12/11 地域面 作品紹介④



- 12/14 地域面 作品紹介⑤
- 12/21 告知記事(ロビーコンサート案内)
- 1/11 告知記事(シンポジウム案内)

(2) 雑誌等掲載

『美術展びあ2019-2020』、『フルハップ』9月号、『公立学校共済 福利ひろしま』9月号、『ビジネス朝日』10月号、『広島交響楽団第394回プレミアム定期演奏会プログラム』10月11日号、『JAF PLUS』11月号、『広島経済レポート』11月号、『ホットペッパー』11月号、『経済春秋』11月号、『Cue 備後』11月号、『Tj Hiroshima』11月号、『ウェンディ広島』11月号、『くれえばん』11月号、『Wink』11月号、『リビングひろしま』11月2日号、『プレスネット』11月14日号、『芸術新潮』12月号、『中国新聞Story会員誌』12月号、『全国VCハローランチ情報誌』12月号、『広島県民だより』12月号、『JAF PLUS』1月号、『蔦屋家電イベントカレンダー』1月号、『Busport』1月号

(3) WEB・SNSほか

「RCCイベントガイド」9月～、「インターネットミュージアム」9月～、「アートアジェンダ」9月～、「ひろたび」9月～、「美術手帖」10月～、「Fashion Press」10月～、「Walker Plus」10月～、ほか

カタログ内容

「海運王・大コレクター ウィリアム・バレル」 ヴィヴィアン・ハミルトン(グラスゴー博物館群研究員)

「関連年表」 山下 寿水(広島県立美術館学芸員)編

「印象派を見直す」 千足 伸行(成城大学名誉教授・広島県立美術館長)

序

[コラム]海港都市グラスゴーと美術

第1章 身の回りの情景

1-1 室内の情景

1-2 静物

第2章 戸外に目を向けて

2-1 街中で

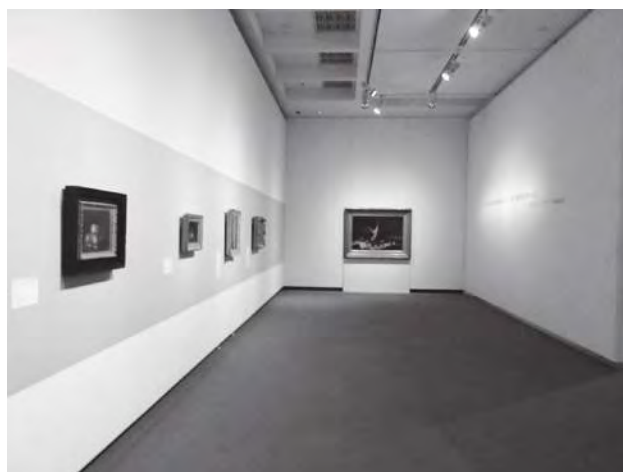
2-2 郊外へ

第3章 川から港、そして外洋へ

3-1 川辺の風景

3-2 外洋への旅

出品目録



展覧会巡回先

福岡県立美術館

平成30(2018)年10月12日(土)～12月9日(日)

愛媛県美術館

平成30(2018)年12月19日(土)～平成31(2019)年3月24日(日)

Bunkamuraザ・ミュージアム

平成31(2019)年4月27日(土)～令和元(2019)年6月30日(日)

静岡市美術館

令和元(2019)年8月7日(水)～10月20日(日)

## 5 第66回日本伝統工芸展

会 期／令和2(2020)年2月13日(木)～3月1日(日)  
 主 催／広島県、広島県教育委員会、広島県立美術館、  
 NHK広島放送局、朝日新聞社、公益社団法人日本工芸会  
 後 援／文化庁  
 協 賛／マツダ、大田鋼管、ヒロタニ、ヒロテック  
 入 館 料／一 般 700円(500円)  
 高・大学生 400円(200円)  
 中学生以下無料  
 ※( )内は前売・20人以上の団体料金  
 入館者数／9,193人(18日間)



日本伝統工芸展は、日本の風土の中から生まれた世界に誇る工芸技術を発展継承させることを目的に、昭和29年に創設された。伝統的な「わざ」をベースとしながら、今日の生活に合った新たな技術、新たな表現を築き上げることを目標としている。広島展では、陶芸、染織、漆芸、金工、木竹工、人形、諸工芸の各部門から、広島在住作家の入選作8点を含む304点を展示し、広く県民に鑑賞の機会を提供することにより、伝統工芸に対する理解を深め、地域文化の向上に資することに努めた。なお、会期末(2/29、3/1)に予定していたイベントは新型コロナウイルス感染拡大防止のために中止した。

(本展担当者：岡地 智子)

### 広島県在住入選者

陶 芸 赤毛 敏男《備前花器》、今田 拓志《をる陶》、木村 芳郎《碧釉漣文壺》、  
 松尾 良弘《叩き灰釉壺》  
 染 織 平 恵子《紬織着物「川ひかる」》  
 漆 芸 金城一国斎《切金螺鈿箱「青柳」》  
 木竹工 小林 松斎《櫛拭漆盛器》  
 諸工芸 栗根 仁志《七宝流文鉢》

### 関連事業

- (1) 記念講演会「伝統工芸とは何か—作家の誕生と最前線—」(広島県立美術館友の会共催)

日 時：2月16日(日) 13:30～15:00

講 師：外館 和子(多摩美術大学教授)

会 場：3階大会議室

参加者：92名

- (2) ギャラリートーク(作品解説)

[日 時]	[講師(内容)]	[参加者]
2月13日(木) 11:00～	隠崎 隆一(陶芸)	60名
2月14日(金) 11:00～	岡地 智子(全般)	15名
2月15日(土) 11:00～	栗根 仁志(七宝)	46名

2月16日(日) 11:00~	平 恵子(染織)	70名
2月21日(金) 11:00~	岡地 智子(全般)	35名
2月22日(土) 11:00~	小林 松斎(木工)	46名
13:30~	木村 芳郎(陶芸)	80名
2月23日(日) 11:00~	しんたにひとみ(漆芸)	70名
2月24日(月・祝) 15:00~	ワークショップ参加の子供(全般)	30名
2月29日(土) 11:00~	今田 拓志(陶芸)	中止
3月1日(日) 11:00~	金城一国斎(漆芸)	中止

会場：3階企画展示室

(3) 制作実演

[日 時]	[講師(内容)]	[参加者]
2月15日(土) 13:30~	栗根 仁志(七宝)	42名
2月29日(土) 13:30~	今田 拓志(陶芸)	中止

会場：3階ロビー

(4) 子ども鑑賞コース 出張授業

令和元年11月8日(金)	府中市立栗生小学校3・4年生(29名)	平 恵子(染織)
令和2年1月10日(金)	広島市立基町小学校5・6年生(38名)	金城一国斎(漆芸)
1月23日(木)	広島市立幟町小学校5年生(80名)	小林 松斎(木工)
1月27日(月)	東広島市立河内小学校4~6年生(38名)	田代 昭夫(漆芸)

(5) 子ども鑑賞コース ワークショップ

一日目は展示プランの立案、二日目はギャラリートークを行った。展示プランの立案では、事前に学芸員が生き物をモチーフにした作品13点を選定のうえ、作品の実物大パネルを用意しておき、それらの配置を子供たちに考えてもらった(後日、子供たちが考えた展示プラン通りに陳列した)。ギャラリートークでは、前半では学芸員から作品の見どころや説明の仕方・話し方を学び、後半では子供たちが保護者や一般来場者を前に展示室で作品解説を行った。

日 時：①【展示プラン立案】1月13日(月・祝) 13:00~15:00

②【ギャラリートーク】2月24日(月・祝) 13:00~16:00

講 師：福田 浩子(当館学芸課長)、岡地 智子(当館学芸員)

内 容：「学芸員の仕事に挑戦しよう！」

会 場：3階大会議室・3階企画展示室

参加者：7名、ギャラリートーク参加者30名



(6) こども鑑賞ガイドブック、キャラクターカード作成・配布

ガイドブック：A5版16ページ、3,000部

カード：名刺サイズ6種類、各1,000部

(7) その他関連イベント

ア ロビーコンサート

日 時：2月23日(日) 12:00~

演 奏：森本ケンタ(ギタリスト)

会 場：1階ロビー

参加者：280名





- イ 広島会場限定展覧会オリジナル和菓子の制作・販売  
 地元の和菓子店(旬月 神楽/広島市中区)の協力を得て、総裁賞受賞作品をイメージした和菓子を制作・販売した。  
 期 間：2月15日(土)～23日(日) ※ 1日15食限定  
 価 格：800円(抹茶とセット)



- ウ 工芸技法キャラクターオリジナルトートバッグプレゼント企画(5名) 朝日新聞掲載  
 応募数：163通

#### 主要関連番組

- (1) テレビ  
 NHK 『日曜美術館 生まれゆく技と美～第66回日本伝統工芸展～』(再放送/Eテレ/広島県内  
 2月9日)、昼・夕方ニュース(広島県内2月13日)  
 広島ホームテレビ 『みみより5up』(担当者出演2月19日)
- (2) ラジオ  
 NHK 『ひろしまコイらじ』(ラジオ第1/中国地方 担当者出演2月13日)
- (3) データ放送  
 ちゅびCOMおのみち 1月21日、22日

#### 主要関連記事

- (1) 新聞  
 朝日新聞 8月28日 「県内8人入選 伝統工芸展」  
 11月9日 「伝統工芸展作家藍染め体験指導 府中市の児童らに」  
 1月11日 「金城一国齋さん、基町小で授業 漆芸技法 母校で実演」  
 1月14日 「展示に児童アイデア 県立美術館 伝統工芸展前に」  
 1月24日 「木工の宮島細工入選作家が語る 伝統工芸展出張授業」  
 1月28日 「漆のあれこれ 作家から学ぶ 伝統工芸展出張授業」  
 2月8日 社告  
 2月12日 「工芸技法キャラトートバックに 5人にプレゼント」  
 2月13日 「総裁賞作品モチーフ和菓子期間限定販売 360度、どこからでもおいしい・美しい」  
 2月14日 「多彩な技・美に魅了 県美で日本伝統工芸展開幕」  
 2月14日 県内入選作品解説記事 ①栗根仁志  
 2月15日 県内入選作品解説記事 ②今田拓志  
 2月16日 県内入選作品解説記事 ③金城一国齋  
 2月17日 県内入選作品解説記事 ④小林松齋  
 2月18日 県内入選作品解説記事 ⑤平恵子  
 2月20日 県内入選作品解説記事 ⑥木村芳郎  
 2月21日 県内入選作品解説記事 ⑦赤毛敏男  
 2月22日 県内入選作品解説記事 ⑧松尾良弘  
 2月24日 「音の美にも魅了 日本伝統工芸展」  
 2月25日 「漆と虫の新たな世界 伝統工芸展 しんたにひとみさん」



(広告)広島県版：2月7日(半5段)、8日(全5段)、11日(半5段)、14日(全5段、  
タイアップ)、15日(全5段、タイアップ)、18日(半5段)、22日(半  
5段)、24日(半5段)、29日(半5段)

備後版：2月23日(半5段)

(折込チラシ)2月13日

中国新聞 1月29日、2月19日、25日

読売新聞 1月29日

(2) 雑誌等

『ビジネス朝日』2月20日号、『レジャシネ』1月11日、『ウエンディ』2月号、『経済レポート』、  
『Wink』2月号、『リビングふくやま』2月14日号、『県民だより』1月号、『サンデー周南新聞』1  
月18日号、『ホットペッパー』2月号、『CUE備後』1月17日号、『to you』2月号、『山口新聞』1月  
28日、『CUE』2月14日

(3) WEB・SNSほか

『まいふれ広島』、『ぴあポイントサイト』、『JRおでかけ』、『じゃらんnet』、『JR西日本』、『ひろしま  
文化大百科』、『広島県観光連盟サイト』、『マイフェバ』、『インターネットミュージアム』、『美術手  
帖』、『ページワンスタジオ』、『アートアジェンダ』、『共済組合ホームページ』、『ギャラリーガイド  
ネット』、『青山デザインフォーラム』

## カタログ内容

趣旨

出品目録

出品作品図版

特別展示「わざを伝える」文化財保存事業報告 「鍛金」伝承者養成研究会  
第66回日本伝統工芸展入選作品及び受賞作品の決定について

## 展覧会巡回先

日本橋三越本店	令和元(2019)年9月18日(水)～9月30日(月)
名古屋栄三越	令和元(2019)年10月2日(水)～10月7日(月)
京都高島屋	令和元(2019)年10月9日(水)～10月14日(月・祝)
石川県立美術館	令和元(2019)年10月25日(金)～11月4日(月・振休)
大阪高島屋	令和元(2019)年11月6日(水)～11月11日(月)
岡山県立美術館	令和元(2019)年11月14日(木)～12月1日(日)
島根県立美術館	令和元(2019)年12月4日(水)～12月25日(水)
香川県立ミュージアム	令和2(2020)年1月2日(木)～1月19日(日)
仙台三越	令和2(2020)年1月22日(水)～1月27日(月)
福岡三越	令和2(2020)年2月4日(火)～2月9日(日)

# 所蔵作品展

当館では、5,000点を超える所蔵作品の中から、年4回の所蔵作品展を開催している。

春の所蔵作品展では、「対決！5番勝負 一師VS弟子、東VS西…」と題し、師と弟子、東と西など作品をさまざまに対比することで、美術の多様な楽しみ方を提案する展覧会を開催した。

夏の所蔵作品展では、同時期に開催していた特別展「追悼水木しげる ゲゲゲの人生展」にちなみ、妖怪や精霊たちなどが表現された作品や目に見えない不思議な力が潜む工芸作品など、展示作品にまつわる不思議を紹介した。

秋の所蔵作品展では、前年に、開館50周年を記念して開催した所蔵作品の人気投票の結果をもとに、上位にランクインした人気作家・作品による展覧会を開催。さらに、投票した作品に対する来館者の感想をパネルで紹介した。学芸員の解説とは違う、主観的、個人的な来場者のコメントに、作品の見方の幅を広げる可能性を感じる機会となった。併せて、広島洋画界の先達・小林千古の小特集を開催した。

冬の所蔵作品展では、小特集として前年度に文化勲章を受章した陶芸家・今井政之、開校100周年を迎えたデザイン学校・バウハウス、生誕80年を迎えた洋画家・入野忠芳の小特集を行った。なお、本展の会期は4月19日までの予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のために3月7日から5月11日まで臨時休館したことに伴い、7月19日まで延長した。

(総括担当者：神内有理)

## 春の所蔵作品展

### 対決！ 5番勝負 一師VS弟子、東VS西…

平成31年4月17日(水)～令和元年6月30日(日)

前期：4月17日(水)～5月19日(日)

後期：5月21日(火)～6月30日(日)

#### 彫刻展示スペース 対決！ 5番勝負 ①工芸篇 師匠と弟子

No.	作者	生没年	作品名	制作年	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
1	六角 紫水	1867-1950	蒔絵草花図菓子銘々盆	1911(明治44)	高1.0 13.5×14.6	木・漆・蒔絵・螺鈿	10枚1組		
2	松田 権六	1896-1986	水蒔絵平卓	1941(昭和16)	高8.2 29.2×50.5	木・漆・蒔絵・螺鈿	1基		
3	楠部 彌弍	1897-1984	緑釉向日葵花瓶	1955(昭和30)	高34.0 胴径39.2 口径18.5	陶器	1口	第7回京展	
4	今井 政之	1930-	象嵌彩信楽早春の芸予大壺	2000(平成12)	高30.5 径41.0	陶器	1口		
5	宗廣 力三	1914-1989	茜茶ほぐし どぼんこ染緋着物	1985(昭和60)	桁65.5 丈173.0	絹・紬	1領		
6	渡辺 溥子	1938-	紬織着物「月影」	1999(平成11)	桁68.0 丈171.5	絹・紬・経緯緋	1領	第46回日本伝統工芸展	
7	加藤土師萌	1900-1968	磁器香炉「瑞鳳」	1933(昭和8)	高21.5 幅32.4	磁器・色絵	1合	第14回帝展	
8	藤本 能道	1919-1992	草白釉釉描加彩月下木乃葉すく陶器	1991(平成3)	高13.3 32.4×32.4	磁器・色絵	1合		

#### 第1室 対決！ 5番勝負 ②西洋美術編 木版と銅版、そしてリトグラフ

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
9	ワシリー・カンデンスキー	1866-1944	小さな世界VI	1922	35.6×28.0	木版・紙	12面のうち 1面		
10	ワシリー・カンデンスキー		小さな世界IX	1922	35.6×28.0	ドライポイント・紙	12面のうち 1面		
11	ワシリー・カンデンスキー		小さな世界II	1922	35.6×28.0	リトグラフ・紙	12面のうち 1面		
12	アリストテイド・マイヨール	1861-1944	ウェルギリウスの農耕歌	1937-1944	1950出版 33.7×25.3	木版・紙・挿画本	1冊		
13	アリストテイド・マイヨール		ウェルギリウスの農耕歌	1937-1944	1950出版 33.7×25.3	木版・紙	144面のうち 14面		前期7面 後期7面
14	レンブラント・ファン・レイン	1606-1669	羊飼いたちへの告知	1820頃(オリジナル1634)	26.2×21.8	エッチング・エングレーヴィング・ ドライポイント・紙	1面		
15	ジョルジュ・ルオー	1871-1958	受難(パッション)	1935-1936	1939出版 45.5×35	木口木版・紙・挿画本	1冊		
16	ジョルジュ・ルオー		受難(パッション)	1935-1936	1939出版 45.5×34.5	多色刷り銅版・紙	17面		
17	マリノ・マリニ	1901-1980	小さな踊りI	1973	67.5×52.5	エッチング・ドライポイント・ カラーアクアチント・紙	1面		
18	サルバドール・ダリ	1904-1989	マルドロールの歌	1934	32.5×25.0	エッチング・紙・挿画本	1冊		
19	エル・リシツキー	1890-1941	ブロン：第1ケストナー版画集	1923	60.5×43.5	リトグラフ・コラーージュ・紙	6面		前期
20	エル・リシツキー		太陽の征服	1923	53.2×45.5	リトグラフ・紙	10面		後期

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
21	マックス・エルンスト	1891-1976	流行に栄あれ、芸術よ墜ちろ	1919	45.5×33.0	リトグラフ・紙	8面		前期
22	マリノ・マリーニ	1901-1980	黄色の縁取りのある3頭の馬	1954	64×44	リトグラフ・紙	1面		
23	マリノ・マリーニ		二人の軽業師と馬	1951	64×47	リトグラフ・紙	1面		後期
24	サルバドール・ダリ	1904-1989	ヴェーナスの夢	1939	243.8×487.6	油彩・画布・パネル	1面	ニューヨーク万国博覧会	

第2室 対決! 5番勝負 ③日本洋画篇 近代版画の展開 - 創作版画と新版画

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
25	小林 千古	1870-1911	佛・伊風景小スケッチ	1900-01(明治33-34)頃	31.2×24	油彩・画布	1面		
26	小林 千古		佛・伊風景小スケッチ	1900-01(明治33-34)頃	17.8×11.9	油彩・画布	1面		
27	小林 千古		佛・伊風景小スケッチ	1900-01(明治33-34)頃	11.9×17.8	油彩・画布	1面		
28	小林 千古		佛・伊風景小スケッチ	1900-01(明治33-34)頃	11.9×17.8	油彩・画布	1面		
29	吉田 博	1876-1950	瀬戸内海集 「光る海」	1926(大正15)	37.2×24.7	木版・紙	1面		前期
30	吉田 博		瀬戸内海集 「雨後の夕」	1926(大正15)	24.8×37.4	木版・紙	1面		後期
31	吉田 博		瀬戸内海集 「帆船 朝」	1926(大正15)	50.8×35.9	木版・紙	1面		
32	吉田 博		瀬戸内海集 「帆船 午前」	1926(大正15)	50.8×36.1	木版・紙	1面		後期
33	吉田 博		瀬戸内海集 「帆船 午後」	1926(大正15)	50.9×36.1	木版・紙	1面		前期
34	吉田 博		瀬戸内海集 「帆船 霧」	1926(大正15)	50.9×36.0	木版・紙	1面		後期
35	吉田 博		瀬戸内海集 「帆船 夕」	1926(大正15)	50.5×36.0	木版・紙	1面		前期
36	吉田 博		瀬戸内海集 「帆船 夜」	1926(大正15)	50.8×36.1	木版・紙	1面		後期
37	吉田 博		瀬戸内海集 「鞆の浦」	1927(昭和2)	24.8×37.6	木版・紙	1面		前期
38	吉田 博		瀬戸内海集 第二 「鍋島」	1930(昭和5)	24.6×37.8	木版・紙	1面		後期
39	吉田 博		瀬戸内海集 第二 「白石島」	1930(昭和5)	24.8×37.6	木版・紙	1面		前期
40	吉田 博		瀬戸内海集 第二 「神の島」	1930(昭和5)	24.8×37.6	木版・紙	1面		後期
41	吉田 博		瀬戸内海集 第二 「倉」	1930(昭和5)	24.5×37.4	木版・紙	1面		前期
42	吉田 博		瀬戸内海集 第二 「鞆の港」	1930(昭和5)	24.5×37.1	木版・紙	1面		後期
43	吉田 博		瀬戸内海集 第二 「阿武兎の朝」	1930(昭和5)	24.6×37.5	木版・紙	1面		前期
44	吉田 博		瀬戸内海集 第二 「潮待ち」	1930(昭和5)	24.6×37.6	木版・紙	1面		後期
45	吉田 博		瀬戸内海集 第二 「静なる日」	1930(昭和5)	24.7×37.7	木版・紙	1面		前期
46	吉田 博		瀬戸内海集 第二 「三つ小島」	1930(昭和5)	24.6×37.4	木版・紙	1面		前期
47	吉田 博		瀬戸内海集 第二 「木の江」	1930(昭和5)	37.5×24.5	木版・紙	1面		後期
48	川瀬 巴水	1883-1957	巖島の雪	1932(昭和7)	24.4×36.5	木版・紙	1面		後期
49	川瀬 巴水		宮島の月夜	1947(昭和22)	36.3×24.0	木版・紙	1面		前期
50	南 薫造	1883-1950	魚見	1912(明治45/大正元)	14.4×16.8	木版・紙	1面		前期
51	南 薫造		海辺	不詳	52.5×42.1	木版・紙	1面		後期
52	小林徳三郎	1884-1949	港のみえる風景	不詳	29.8×23.1	木版・紙	1面		後期
53	小林徳三郎		港	不詳	23.1×33.0	木版・紙	1面		前期
54	永瀬 義郎	1891-1978	花	1928(昭和3)	25.7×19.8	木版・紙	1面		後期
55	永瀬 義郎		花	1928(昭和3)	34.3×21.1	木版・紙	1面		前期
56	永瀬 義郎		東洋の旅 I 「上海所見」	1929(昭和4)	30.0×22.5	木版・紙	1面		後期
57	永瀬 義郎		東洋の旅 4 シバの踊り	1930(昭和5)	31.3×22.7	木版・紙	1面		前期
58	平川 清蔵	1896-1964	卓上静物	1926(大正15/昭和元)頃	33.0×23.8	木版・紙	1面		前期
59	平川 清蔵		風景	不詳	23.0×30.2	木版・紙	1面		後期
60	橋本 興家	1899-1993	菱の門	1957(昭和32)	49.5×60.6	木版・紙	1面		前期
61	橋本 興家		雨	1966(昭和41)	48.0×60.0	木版・紙	1面		後期
62	橋本 興家		若葉と筍	1970(昭和45)	48.0×58.8	木版・紙	1面		後期
63	橋本 興家		不二	1973(昭和48)	59.6×48.8	木版・紙	1面		前期
64	朝井 清	1901-1968	祇園祭	1954(昭和29)	145.5×89.4	木版・紙	1面	第10回日展	前期
65	朝井 清		長崎御宮日祭	1965(昭和40)	130.3×97.0	木版・紙	1面	第8回新日展	後期
66	鬨 光	1907-1946	屋根の見える風景	1929(昭和4)	50.6×63.8	油彩・画布	1面		
67	鬨 光		海	1943(昭和18)	72.3×90.7	油彩・画布	1面	第1回新人画会展	
68	鬨 光		風景	1944(昭和19)	41.0×52.5	油彩・画布	1面		
69	水船 六洲	1912-1980	アネモネ	1945-48(昭和20-23)頃	37.2×24.7	木版・紙	1面		後期
70	水船 六洲		旗(Flag)	1960(昭和35)	43.8×65.0	木版・紙	1面		後期
71	水船 六洲		鳥の椅子(Bird Chair)	1966(昭和41)	41.0×32.5	木版・紙	1面		後期
72	水船 六洲		朱い実(Red Fruits)	1969(昭和44)	23.5×45.5	木版・紙	1面		前期
73	水船 六洲		草むら	不詳	54.3×41.2	木版・紙	1面		前期

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
74	水船 六洲		魚の窓	1966(昭和41)	67.9×45.6	木版・紙	1面		前期
75	水船 六洲		緑の蔭	不詳	25.3×33.9	木版・紙	1面		後期
76	水船 六洲		石の宿	不詳	64.5×45.5	木版・紙	1面		後期
77	水船 六洲		かもめとランプ	不詳	59.5×45.7	木版・紙	1面		前期
78	水船 六洲		独りだけの唄	1960(昭和35)頃	33.0×27.0	木版・紙	1面		前期
79	徳光 思刀	1913-1992	伊根の船屋	1970(昭和45)	67.2×178.8	木版・紙	1面	日版会展受賞	前期
80	徳光 思刀		倉橋島室尾風景	1974(昭和49)	88.0×212.2	木版・紙	1面		後期
81	菅井 汲	1919-1996	GROUPE-S(グループS)	1989(昭和64/平成元)	60.0×81.2	リトグラフ・紙	1面		
82	菅井 汲		S ROUGE ET ROSE(S赤とローズ)	1992(平成4)	84.5×49.1	リトグラフ・紙	1面		

### 第3室 対決! 5番勝負 ④日本画篇 師匠と弟子

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
83	竹内 栖鳳	1864-1942	寒林帰牧図	1900(明治33)以前	各166.7×370.8	絹本墨画淡彩	1双		
84	上村 松園	1875-1949	観書	1940(昭和15)頃	48.0×58.0	絹本彩色	1幅		前期
85	村上 華岳	1888-1939	菩薩図	1924(大正13)頃	58.2×50.6	絹本彩色	1幅		前期
86	村上 華岳		観音仏座像	1937(昭和12)頃	26.2×24.2	紙本彩色	1幅		後期
87	土田 麦僊	1887-1936	早春図	1913(大正2)頃	114.5×36.5	絹本彩色	1幅		前期
88	土田 麦僊		雨後図	1916(大正5)	114.5×36.5	絹本彩色	1幅		後期
89	小野 竹喬	1889-1979	松江の武家屋敷	1971(昭和46)	47.7×62.8	絹本彩色	1面	「日本美を描く」展	
90	金鳥 桂華	1892-1974	芭蕉孔雀図	1912(明治45)	各168.0×375.5	絹本彩色	1双	〔美術会第12回絵画 展覧会カ〕	前期
91	金鳥 桂華		牡丹	1948(昭和23)	各163.0×171.0	紙本彩色	1双	第4回日展	後期
92	大村 廣陽	1891-1983	南苑	1928(昭和3)	212.0×158.0	絹本彩色	1面	第9回帝展	後期
93	児玉 希望	1898-1971	飛泉淙々	1931(昭和6)	260.0×145.0	絹本彩色	1面	第12回帝展	
94	児玉 希望		室内	1952(昭和27)	171.0×131.0	絹本彩色	1面	第8回日展	
95	奥田 元宋	1912-2003	柳鷺	1940(昭和15)頃	175.7×175.7	絹本彩色	1面	第4回児玉希望画塾展	
96	奥田 元宋		青山白雲	1987(昭和62)	180.3×124.4	紙本彩色	1面	幽玄讃歌 奥田元宋展	
97	佐藤 太清	1913-2004	東大寺暮雪	1975(昭和50)	223.0×168.0	紙本彩色	1面	第7回改組日展	
98	田中 頼璋	1868-1940	山村図	不詳	174.0×88.0	紙本彩色	1幅		前期
99	田中 頼璋		漁樵問答図	1927(昭和2)	178.5×95.0	絹本彩色	1幅		後期
100	丸木 位里	1901-1995	竹林	1964(昭和39)	各210.0×270.0	紙本墨画	1双	第6回現代日本美術展	
101	速水 御舟	1894-1935	山茶花	1914(大正3)	124.5×50.5	絹本彩色	1幅	第3回赤曜会展	前期
102	速水 御舟		隠岐の海	1914(大正3)	113.0×42.2	絹本彩色	1幅	第1回赤曜会展	後期
103	船田 玉樹	1912-1991	残照	1956(昭和31)	236.0×206.0	紙本彩色	1面	第41回院展	
104	平山 郁夫	1930-2009	内海の春	1954(昭和29)	145.0×208.0	紙本彩色	1面	第39回院展	
105	平山 郁夫		ひととき(憩)	1956(昭和31)	180.0×197.0	紙本彩色	1面	第41回院展	

### 第4室 対決! 5番勝負 ⑤工芸篇 東と西

No.	作者・地域	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
106			重要文化財 伊万里色絵花卉文輪花鉢(柿右衛門様式)	江戸時代 17世紀後半	高11.5 口径24.4	磁器・色絵	1口		
107			伊万里柿右衛門様式色絵馬	江戸時代 17世紀後半	高44.3	磁器・色絵	1軀		
108			伊万里柿右衛門様式色絵馬	江戸時代 17世紀後半	高45.0	磁器・色絵	1軀		
109	板谷 波山	1872-1963	氷華磁草花文花瓶	不詳	高36.0 胴径15.7	磁器	1口		
110	富本 憲吉	1886-1963	白磁壺	1928(昭和3)	高23.3 径29.0	磁器	1口		
111	浜田 庄司	1894-1978	ガレナ釉掻落文蓋壺	1922(大正11)頃	高15.2 一辺9.6	陶器	1合		
112	河井寛次郎	1890-1966	呉州辰砂鉄葉草花文蓋付小壺	不詳	高17.2 径12.9	陶器	1合		
113	加守田章二	1933-1983	彩色壺	1975(昭和50)	高33.0 径19.0	陶器	1口		
114	八木 一夫	1918-1979	発芽の様相	1977(昭和52)	高40.2 24.1×17.0	黒陶・漆	1点		
115	松井 康成	1927-2003	練上茜手大壺	1988(昭和63)	高35.0 径32.0	陶器	1口		
116	金重 陶陽	1896-1967	備前耳付水指	不詳	高21.8 径21.9	陶器	1合		
117	藤田 喬平	1921-2004	飾筥「湖上の花」	1989(平成元)	高26.5 23.2×23.2	ガラス	1合		
118	藤田 喬平		飾筥「夢殿」	1990(平成2)	高さ16.2 24.0×30.0	ガラス	1合		
119	船木 倭帆	1935-2013	垂描文鉢	不詳	高19.4 径25.3	吹きガラス	1口		
120	船木 倭帆		飾双耳一輪挿し	不詳	高18.0 幅9.8	吹きガラス	1口		
121	船木 倭帆		線巻蓋物	不詳	高13.6 径11.0	吹きガラス	1合		
122	船木 倭帆		線巻蓋物	不詳	高15.4 径12.8	吹きガラス	1合		
123	船木 倭帆		インク壺	不詳	高9.8 径6.0	吹きガラス	1合		



No.	作者・地域	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
124	芹沢 銈介	1895-1984	文字入り四季文屏風	1954(昭和29)	165.0×171.8	型染	2曲1隻		
125	志村ふくみ	1924-	紬織着物 水かけ	1984(昭和59)	衿66.4 丈169.6	絹・紬	1領		
126	蓮田修吾郎	1915-2010	シテ島の夜	1979(昭和54)	80.0×152.0×11.0	白銅・アクリル	1面		
127	伊藤 顕	1936-1969	種子	1966(昭和41)	168.0×110.0	銅・鍛金	1点	第9回新日展	
128	赤塚 自得	1871-1936	金地蝶牡丹唐草蒔絵文庫	不詳	高17.0 29.0×23.0	木・漆・蒔絵・螺鈿	1合		
129	三代金城一國齋	1829-1915	牡丹高盛絵丸盆	1896(明治29)	径24.0	漆・高盛絵	1枚		
130	二十代堆朱楊成	1880-1952	唐華紋彫漆碁笥	不詳	高12.3 胴径15.4 口径12.8	漆・堆漆・彫漆	1対		
131	迎田 秋悦	1881-1933	平野の松歌蒔絵料紙文庫	1921(大正10)	高14.3 41.2×34.5	木・漆・蒔絵・平文	1合		
132	アフガニスタン北西部		青銅銀銅象嵌蓋付インク壺	12世紀	高11.0 径8.0	鑄造・彫金	1合		

## 関連事業

リレートーク

日時：4月26日(金) 15:00～

講師：岡地 智子、森 万由子、藤崎 綾、神内 有理(当館学芸員)

## 関連番組

広島ホームテレビ「ニュース」4月17日、広島テレビ『知っとる』5月24日

夏の所蔵作品展

サマーミュージアム 美術館の七不思議

令和元年7月3日(水)～9月23日(月・祝)

前期：7月3日(水)～8月18日(日)

後期：8月20日(火)～9月23日(月・祝)

彫刻展示スペース 王はレダン山の王女との結婚を望んだ—— 故郷の昔話を造形化した不思議な世界

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
1	ズルキアー・B・ユソフ	1962-	王はレダン山の王女との結婚を望んだ	1994	高249	木・布・金属など	一組	アジア競技大会芸術展示 [アジアの心とがたり] (1994)	

第1室 写すこと不思議

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
2	マン・レイ	1890-1976	仮面／ソラリゼーション	1930	28.7×20.4	ゼラチン・シルバー・プリント	1面		
3	鯉江 良二	1938-2020	マスク「土から顔もしくは顔から土」	1969(昭和44)	16.0×11.0×5.0	陶器	1点		
4	鯉江 良二		マスク	1969(昭和44)	16.5×10.5×4.5	陶器	1点		
5	サルバドール・ダリ	1904-1989	ヴィーナスの夢	1939	243.8×487.6	油彩・画布・パネル	1面	ニューヨーク万国博覧会	
6	芥川 永	1915-1998	もどれない風(太田川2)(石膏原型)	1974(昭和49)	高36×42×10.4	石膏	1点		
7	芥川 永		太田川(近くの声/太田川1)(石膏原型)	1974(昭和49)	高46.7×17×15	石膏	1点		
8	芥川 永		もどれない風(太田川2)	1974(昭和49)	高34×42×11	ブロンズ	1点	第38回新制作協会展	
9	芥川 永		太田川(近くの声/太田川1)(石膏原型)	1974(昭和49)	高54×25×22	ブロンズ	1点	第38回新制作協会展	
10	ジャン(ハンス)・アルプ	1886-1966	目覚め	1938(1983铸造)	高47.5×24×23	ブロンズ	1点		
11	イサム・ノグチ	1904-1988	追想	1944	高125.7	ブロンズ	1点		
12	マックス・エルンスト	1891-1976	博物誌	1926	各43.0×26.0	コロタイプ・紙	34面のうち 18面		
13	マックス・エルンスト		オイディプス I	1934(1992铸造)	高62.0	ブロンズ	1点		
14	マックス・エルンスト		オイディプス II	1934(1992铸造)	高66.0	ブロンズ	1点		
15	ジュリオ・ゴンザレス	1876-1942	人物(鏡の前の女)	1934	高51.5×12.3×14	ブロンズ	1点		
16	ジュリオ・ゴンザレス		鏡の前の女 I	1936	24.0×12.0	インク・パステル・紙	1面		
17	ジュリオ・ゴンザレス		鏡の前の女 II	1936	25.0×15.0	インク・パステル・鉛筆・紙	1面		
18	ジュリオ・ゴンザレス		鏡の前の女 III	1936-38	22.0×14.0	インク・パステル・鉛筆・紙	1面		
19	ジュリオ・ゴンザレス		鏡の前の女 IV	1937	21.0×16.0	インク・鉛筆・紙	1面		
20	ジュリオ・ゴンザレス		鏡の前の女の習作 I	1937	33.0×24.0	インク・鉛筆・紙	1面		
21	ジュリオ・ゴンザレス		鏡の前の女の習作 II	1937	31.0×22.0	インク・パステル・鉛筆・紙	1面		

第2室 不思議な絵を描く作家たち

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
22	小林 千古	1870-1911	佛・伊風景小スケッチ	1900-01(明治33-34)頃	17.8×11.9	油彩・板	1面		
23	小林 千古		習作	不詳	145.5×107.5	油彩・画布	1面		
24	南 薫造	1883-1950	津波	不詳	60.0×80.0	油彩・画布	1面		
25	名井 萬亀	1896-1976	フットボール	1946(昭和21)	72.8×91.0	油彩・画布	1面	第31回二科展	
26	名井 萬亀		ビキニの灰	1954(昭和29)	60.9×40.9	油彩・画布	1面		
27	名井 萬亀		ビキニ爆発	1954(昭和29)	60.9×40.9	油彩・画布	1面	個展('54サエグサ画廊)	
28	名井 萬亀		ガラス工	1955(昭和30)	129.5×80.0	油彩・画布	1面	第9回読売アンデ パンダン展	
29	名井 萬亀		ガラス女工	1956(昭和31)	161.8×112.0	油彩・画布	1面	第8回読売アンデ パンダン展	
30	名井 萬亀		一家団欒	1962(昭和37)	64.7×91.0	油彩・画布	1面		
31	名井 萬亀		橋山節考	1968-71(昭和43-46)頃	112.5×162.0	油彩・画布	1面		
32	名井 萬亀		憩い	1970(昭和45)	72.6×52.6	油彩・画布	1面		
33	名井 萬亀		無明(其一)	1972(昭和47)	112.0×161.8	油彩・画布	1面		
34	巖 光	1907-1946	花園の虫	1942(昭和17)頃	26.7×34.8	油彩・板	1面		
35	巖 光		窓辺の花(百合)	1944(昭和19)	71.0×59.0	油彩・画布	1面		
36	鶴岡 政男	1907-1979	海のあやかし	1958(昭和33)	130.3×194.0	油彩・画布	1面	第3回現代日本美術展	
37	鶴岡 政男		夜あけ	1976(昭和51)	80.4×100.0	油彩・画布	1面	4人展('76キョウトイラック コレクション・ギャラリー)	
38	土屋 幸夫	1911-1996	果てしなき餐食	1938(昭和13)	37.9×45.5	油彩・画布	1面	創紀美術協会前哨展	
39	寺田 政明	1912-1989	生と死の凝視	1950(昭和25)	91.3×116.5	油彩・画布	1面	第14回自由美術展	
40	古沢 岩美	1912-2000	死の誕生	1954(昭和29)	97.0×193.9	油彩・画布	1面		
41	菅井 汲	1919-1996	SOLEIL NO BLANC(太陽 白)	1969(昭和44)	150.0×150.0	油彩・画布	1面		
42	菅井 汲		SOLEIL(太陽)	1971(昭和46)	200.0×200.0	油彩・画布	1面		
43	名柄 禎子	1931-	白の残映	1975(昭和50)	193.9×260.6	油彩・画布	1面	第39回新制作展	

第3室 不思議な日本画

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
44	其阿弥赫土	1925-	晩秋の記録	1974(昭和49)	154.0×123.7	紙本彩色	1面		
45	猪原 大華	1897-1980	月	1956(昭和31)	180.0×140.7	紙本彩色	1面	第12回日展	
46	浜崎左髪子	1912-1989	青夜	不詳	115.7×90.8	紙本彩色	1面		
47	善 鳩人	1916-1989	薄明	1961(昭和32)	110.0×158.0	紙本彩色	1面	第25回新制作展	
48	行近 壯人	1923-2006	月明	1975(昭和50)	212.8×167.0	紙本彩色	1面	第7回改組日展	
49	谷本 正美	1911-2001	寂光	1984(昭和59)	144.2×111.5	紙本彩色	1面		
50	桑原 清明	1923-2007	十勝の月	1973(昭和48)	191.5×167.0	紙本彩色	1面	第5回改組日展	
51	和高 節二	1898-1990	浄心	1943-44(昭和18-19)頃	190.0×290.0	紙本彩色	4曲1隻		
52	和高 節二		みやまの女	1931(昭和6)	221.5×228.6	紙本彩色	2曲1隻		
53	和高 節二		農婦	1928(昭和3)	85.5×117.8	紙本彩色	1面		
54	和高 節二		売魚婦	1933(昭和8)	67.8×51.6	紙本彩色	1面		
55	和高 節二		みやまの女(素描)	1931(昭和6)頃	35.0×55.1	紙・コンテ	1面		
56	和高 節二		売魚婦画稿	1933(昭和8)	42.8×48.9	紙墨・一部彩色	1面		
57	児玉 希望	1898-1971	道	1959(昭和34)	121.5×112.7	絹本墨画彩色	1面	第2回新日展	
58	児玉 希望		踊	1962(昭和37)	176.5×109.5	絹本彩色	1面	第5回新日展	
59	児玉 希望		涅槃	1963(昭和38)	156.0×150.5	絹本彩色	1面	第6回新日展	
60	児玉 希望		瀾	1964(昭和39)	156.0×135.5	絹本彩色	1面	第7回新日展	
61	児玉 希望		新水墨画十二題 梵唄	1959(昭和34)	43.0×73.0	絹本墨画	1面	新水墨画展	前期
62	児玉 希望		新水墨画十二題 徑	1959(昭和34)	59.0×72.5	絹本墨画	1面	新水墨画展	前期
63	児玉 希望		新水墨画十二題 日午	1959(昭和34)	40.0×56.0	絹本金泥墨画	1面	新水墨画展	後期
64	児玉 希望		新水墨画十二題 海禾	1959(昭和34)	57.0×67.0	絹本墨画	1面	新水墨画展	後期
65	奥田 元宋	1912-2003	寂	1984(昭和59)	175.5×211.0	紙本彩色	1面	第15回改組日展	
66	平山 郁夫	1930-2009	広島生変図	1979(昭和54)	171.0×364.0	紙本彩色	6曲1隻	第64回院展	前期
67	平山 郁夫		波斯黄堂旧址	1974(昭和49)	166.7×367.4	紙本彩色	6曲1隻	第59回院展	後期

第4室 不可視な不可思議

No.	作者・民族名・地域	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
68			重要文化財 伊万里色絵花卉文輪花鉢(柿右衛門様式)	江戸時代 17世紀後半	高11.5 口径24.4	磁器・色絵	1口		
69			伊万里柿右衛門様式色絵馬	江戸時代 17世紀後半	高44.3	磁器・色絵	1軀		
70			伊万里柿右衛門様式色絵馬	江戸時代 17世紀後半	高45.0	磁器・色絵	1軀		
71	インドネシア、バリのガナン		影絵人形文経緯緋肩掛(グリーンシン)	19世紀	205.7×51.5	木綿・経緯緋	1枚		
72	インドネシア、バリのガナン		影絵人形文経緯緋肩掛(グリーンシン)	19世紀	226.0×55.2	木綿・経緯緋	1枚		
73	インドネシア、バリのガナン		影絵人形文経緯緋肩掛(グリーンシン)	19世紀	211.3×53.9	木綿・経緯緋	1枚		
74	インドネシア、バリのガナン		影絵人形文経緯緋肩掛(グリーンシン)	19世紀	231.0×53.5	木綿・経緯緋	1枚		
75	インドネシア、バリのガナン		影絵人形文経緯緋肩掛(グリーンシン)	19世紀	211.7×51.4	木綿・経緯緋	1枚		
76	インドネシア、バリのガナン		パトラ文経緯緋肩掛(グリーンシン)	19-20世紀	148.0×41.8	木綿・経緯緋	1枚		
77	インドネシア、バリのガナン		パトラ文経緯緋肩掛(グリーンシン)	19-20世紀	199.5×44.9	木綿・経緯緋	1枚		
78	インドネシア、バリのガナン		幾何学文経緯緋肩掛(グリーンシン)	19-20世紀	220.0×39.3	木綿・経緯緋	1枚		
79	インドネシア、バリのガナン		幾何学文経緯緋肩掛(グリーンシン)	20世紀	213.0×40.0	木綿・経緯緋	1枚		
80	インドネシア、バリのガナン		花文経緯緋肩掛(グリーンシン)	20世紀	157.5×35.3	木綿・経緯緋	1枚		
81	インドネシア、バリのガナン		幾何学文経緯緋肩掛(グリーンシン)	20世紀	143.3×29.8	木綿・経緯緋	1枚		
82	インドネシア、バリのガナン		花文経緯緋祭礼布(グリーンシン)	20世紀	234.7×24.1	木綿・経緯緋	1枚		
83	インドネシア、バリのガナン		花文経緯緋祭礼布(グリーンシン)	20世紀	224.4×22.7	木綿・経緯緋	1枚		
84	インドネシア、バリのガナン		花文経緯緋祭礼布(グリーンシン)	20世紀	206.5×22.1	木綿・経緯緋	1枚		
85	インドネシア、バリのガナン		花文経緯緋祭礼布(グリーンシン)	20世紀	181.5×23.4	木綿・経緯緋	1枚		
86	インドネシア、バリのガナン		パトラ花文経緯緋祭礼布(グリーンシン)	20世紀	170.0×20.7	木綿・経緯緋	1枚		
87	インドネシア、バリのガナン		多種文経緯緋祭礼布(グリーンシン)	20世紀	325.0×22.4	木綿・経緯緋	1枚		
88	インドネシア、バリのガナン		花文経緯緋祭礼布(グリーンシン)	20世紀	307.0×22.2	木綿・経緯緋	1枚		
89	インドネシア、バリのガナン		花文経緯緋祭礼布(グリーンシン)	20世紀	184.0×23.8	木綿・経緯緋	1枚		
90	インドネシア、バリのガナン		花文経緯緋祭礼布(グリーンシン)	20世紀	182.0×24.6	木綿・経緯緋	1枚		
91	インドネシア、バリのガナン		花市松文経緯緋祭礼布(グリーンシン)	20世紀	198.2×22.1	木綿・経緯緋	1枚		
92	インドネシア		カイン・パンジャン	19-20世紀	212×89	木綿・パティック	1枚		
93	インドネシア		更紗	19-20世紀	223.5×104	木綿・パティック	1枚		
94	ラオス		肩掛け	20世紀	198×41	絹・浮紋織・縫取織	1枚		
95	ラオス		肩掛け	20世紀	175×33	絹・縫取織	1枚		

No.	作者・民族名・地域	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
96	十二代三輪休雪(龍作)	1940-	面会人	1976(昭和51)	高38.0 44.0×30.0	陶	1点		
97	十二代三輪休雪(龍作)		続・卑弥呼の書 No.5	1992(平成4)	高96.0 210.0×69.0	陶	1点		
98	宮永 理吉	1935-	土の歩み	1957(昭和32)	高58.0 150.0×55.7	陶	1組		
99	川上 力三	1935-	背信	1987(昭和62)	高78.0 39.0×45.0	陶	1点		
100	エルサリ族、トルクメン人		頭飾り(シンシレ)	19世紀後半	高29.0	銀	1連		
101	テケ族、トルクメン人		頭飾り(オウルメ)	19世紀前半	幅38.0	銀・鍍金・カーネリアン	1点		
102	エルサリ族、トルクメン人		頭飾り(イルディルジチュ)	19世紀前半	幅39.0	銀・カーネリアン	1点		
103	西ヨムート族、トルクメン人		頭飾り(ジャンナ)	19世紀中期	幅35.0	銀	1対		
104	ヨムート族、トルクメン人		未婚女性用帽子飾り(グッパ)	19世紀初期	径6.0	銀	1点		
105	ヨムート族、トルクメン人		未婚女性用帽子(グッパ)	19-20世紀	高15.5 径18.0	銀・カーネリアン	1点		
106	エルサリ族、トルクメン人		頭飾り(シンシレ)	19-20世紀	高40.0 幅37.0	銀・カーネリアン	1連		
107	テケ族、トルクメン人		護符入れ(トゥマル)	17-18世紀	幅31.0	銀・鍍金・カーネリアン	1点		
108	テケ族、トルクメン人		護符入れ(トゥマル)	1916/17(ヒジュラ暦1335)年	幅39.5	銀・鍍金・カーネリアン	1点		
109	ヨムート族、トルクメン人		護符入れ(トゥマル)	19世紀前半	幅17.0	銀・鍍金・カーネリアン	1点		
110	西ヨムート族、トルクメン人		護符入れ(トゥマル)	19世紀中期	幅12.5	銀	1点		
111	サルイク族、トルクメン人		護符入れ(トゥマル)	19世紀前半	幅25.0	銀・鍍金・カーネリアン	1点		
112	テケ族、トルクメン人		背飾り(アシク)	19世紀中期	高28.0	銀・鍍金・カーネリアン	1面		
113	ヨムート族、トルクメン人		背飾り(アシク)	19世紀前半	高22.0	銀・鍍金・カーネリアン・革	1枚		
114	ジャフアナバイ・ヨムート族、トルクメン人		背飾り(アシク)	19-20世紀	高21.5	銀・鍍金・カーネリアン	1面		
115	サルイク族、トルクメン人		背飾り(アシク)	18世紀	高23.5	銀・カーネリアン	1面		
116	テケ族、トルクメン人		背飾り(ゴシャ・アシク)	20世紀初期	高22.0	銀・鍍金・カーネリアン	1面		
117	北ヨムート族、トルクメン人		背飾り(アシク)	19世紀初期	高11.0	銀・鍍金・カーネリアン	1対		
118	トルクメン人		背飾り(アシク)	19世紀後半	高5.5 幅5.0	銀	1枚		
119	テケ族、トルクメン人		背飾り(アシク)	20世紀初期	高38.5 幅24.5	銀	1枚		
120	熊倉 順吉	1920-1985	笑いの稽古	1974(昭和49)	高52.0 45.0×20.0	陶	1点		
121	熊倉 順吉		自暴自棄	1978(昭和53)	高43.0 30.0×17.0	陶	1点		
122	三代金城一國齋	1829-1915	菊雲鶴文食籠	1902(明治35)	高13.7 径22.3	木・漆・高盛絵	1合		
123	三代金城一國齋		高盛絵四季之花籠	1892(明治25)	高6.3 径5.8	木・漆・高盛絵	1合		
124	三代金城一國齋		蜂に仏手柑高盛絵印籠付根付	不詳	(印籠)高6.3×5.3 (根付)径3.5	木・漆・高盛絵	1組		

## 関連事業

### (1) 対話型ワークショップ「みんなで鑑賞！ 不思議な美術」

#### ①大人(中学生以上)向け

日時：8月10日(土) 13:30～

ナビゲーター：森 万由子、岡地 智子(当館学芸員)

#### ②子ども(小学生以下)向け

日時：8月17日(土) 13:30～

ナビゲーター：森 万由子、岡地 智子(当館学芸員)

### (2) 子ども向けワークシートの配布

秋の所蔵作品展

みんなが選んだ名品セレクション

小特集 小林千古(第2室)

令和元年9月26日(木)～12月24日(火)

前期：9月26日(木)～11月10日(日)

後期：11月12日(火)～12月24日(火)

彫刻展示スペース 彫刻

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
1	平櫛 田中	1872-1979	落葉	1913(大正2)	高74.5	木	1 軀	第7回文展	
2	平櫛 田中		靈龜隨	1936(昭和11) [1972(昭和47)鑄造]	高216×77×60	ブロンズ	1 軀		
3	平櫛 田中		五柳先生	1960(昭和35)	高51.8	木・彩色	1 軀		
4	圓鏝 勝三	1905-2003	途上	1941(昭和16) [1994(平成6)鑄造]	高169×82×51.5	ブロンズ	1 軀		
5	圓鏝 勝三		姫と大蛇	1978(昭和53)	高143.5×50×35	木・彩色	1 軀	第8回日彫展	
6	圓鏝 勝三		月夜の僧	1985(昭和60)	高88×97×90	木・銅板・彩色	1 軀	第17回改組日展	
7	水船 六洲	1912-1980	鳥の椅子(Bird Chair)	1966(昭和41)	41.0×32.5	木版・紙	1 面		
8	水船 六洲		はつ雁抄	1972(昭和47)	高155×57×51.5	木・彩色	1 軀	第4回改組日展	
9	芥川 永	1915-1998	カン外リス(遠くの声3)	1984(昭和59)	高71×30.9×30.9	ブロンズ	1 軀	第48回新制作協会展	
10	芥川 永		カン外リス(遠くの声3) (石膏原型)	1984(昭和59)	高71×29.8×32.5	石膏	1 軀		

第1室 西洋絵画

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
11	パウロ・クレ	1879-1940	ある音楽家のための楽譜	1924	25.7×31.1	インク・水彩・紙	1 面		
12	アレクサンダー・カールト	1881-1939	静物	1925	80.0×101.0	油彩・画布	1 面		
13	パブロ・ピカソ	1881-1973	フランコの夢と嘘(Iの第1刷)	1937	31.7×42.2	エッチング・紙	1 面		
14	パブロ・ピカソ		フランコの夢と嘘(Iの第2刷)	1937	31.7×42.2	エッチング・シュガー・アクアチント・紙	1 面		
15	パブロ・ピカソ		フランコの夢と嘘(IIの第1刷)	1937	31.7×42.2	エッチング・紙	1 面		
16	パブロ・ピカソ		フランコの夢と嘘(IIの第2刷)	1937	31.7×42.2	エッチング・シュガー・アクアチント・紙	1 面		
17	パブロ・ピカソ		フランコの夢と嘘(IIの第3刷)	1937	31.7×42.2	エッチング・シュガー・アクアチント・紙	1 面		
18	パブロ・ピカソ		フランコの夢と嘘(IIの第4刷)	1937	31.7×42.2	エッチング・シュガー・アクアチント・紙	1 面		
19	パブロ・ピカソ		フランコの夢と嘘(IIの第5刷)	1937	31.7×42.2	エッチング・シュガー・アクアチント・紙	1 面		
20	アンリ・ローランス	1885-1954	イヤリングをつけた女の顔	1921	高36.9×12.8×11.6	テラコッタ	1 点		
21	ジャン(ハンス)・アルプ	1886-1966	目覚め	1938/83	高47.5×24×23	ブロンズ	1 点		
22	マン・レイ	1890-1976	アンドレ・ブルトン/ソリゼーション	1930	30.3×24.3	ゼラチン・シルバー・プリント	1 面		
23	マン・レイ		サルバドール・ダリ	1929	28.7×22.6	ゼラチン・シルバー・プリント	1 面		前期
24	マン・レイ		写真機のあるセルフポートレート	1932	29.7×20.3	ゼラチン・シルバー・プリント	1 面		前期
25	マン・レイ		パブロ・ピカソ	1933	29.3×20.5	ゼラチン・シルバー・プリント	1 面		前期
26	マン・レイ		シュルレアリスム展におけるサルバドール・ダリのオブジェ	1936	26.0×21.2	ゼラチン・シルバー・プリント	1 面		後期
27	マン・レイ		解剖台の上でマシンとこもり傘が偶然出会ったように美しい	1933	24.9×37.8	ゼラチン・シルバー・プリント	1 面		後期
28	マン・レイ		エティエンヌ・ド・ボーム伯爵邸での仮装舞踏会 ピカソとオルガ	1924	29.0×22.7	ゼラチン・シルバー・プリント	1 面		後期
29	ベン・ニコルソン	1894-1982	1933(絵画)	1933	73.3×90.8	油彩・ジェッソ・板	1 面		
30	アレクサンダー・コルダ	1898-1976	ヴァーティカル・ホワイト・フレーム	1936	高265.4	金属・ワイヤー・パネ・木	1 点		
31	アレクサンダー・コルダ		無題	1968	115.0×62.0	グワッシュ・紙	1 面		
32	ヘンリー・ムーア	1898-1986	弦のある形	1939	高30.5	ブロンズ・弦	1 点		
33	ヘンリー・ムーア		彫刻のためのアイデア	1933	55.3×38.1	木炭・インク・淡彩・紙	1 面		前期
34	ヘンリー・ムーア		ティルベリー・シェルター	1941	40.0×56.0	板・グワッシュ・クレヨン	1 面		後期
35	ルネ・マグリット	1898-1967	人間嫌いたち	1942	54.0×73.0	油彩・画布	1 面		
36	バーバラ・ハップワース	1903-1975	ネステイング・ストーンズ	1937	高19×30.5×22.8	大理石	1 点		
37	サルバドール・ダリ	1904-1989	ヴィーナスの夢	1939	243.8×487.6	油彩・画布・パネル	1 面	ニューヨーク万国博覧会	
38	イサム・ノグチ	1904-1988	追想	1944/83-84	高125.7×62.2×22.8	ブロンズ	1 点		

第2室

小特集 小林千古

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
39	小林 千古	1870-1911	やし(静物)	1893(明治26)	34.0×44.0	油彩・画布	1 面		
40	小林 千古		婦人像(横)	1893(明治26)	62.5×47.5	鉛筆・コンテ・紙	1 面		前期



No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
41	小林 千古		婦人像(正面)	1893(明治26)	47.5×40.0	鉛筆・コンテ・紙	1面		前期
42	小林 千古		婦人像	1893(明治26)	49.5×38.0	鉛筆・コンテ・紙	1面		後期
43	小林 千古		婦人像	1893(明治26)	50.0×39.5	鉛筆・コンテ・紙	1面		後期
44	小林 千古		男子像(斜)	1894(明治27)	45.5×36.0	鉛筆・コンテ・紙	1面		前期
45	小林 千古		婦人像	1894(明治27)	46.0×36.0	鉛筆・コンテ・紙	1面		後期
46	小林 千古		子供石膏像	1895(明治28)	62.0×48.0	鉛筆・コンテ・紙	1面		後期
47	小林 千古		子供石膏像	1895(明治28)	62.5×47.5	鉛筆・コンテ・紙	1面		前期
48	小林 千古		男子裸立像	1895(明治28)	62.5×47.5	鉛筆・コンテ・紙	1面		前期
49	小林 千古		男子裸立像	1896(明治29)	63.0×48.0	鉛筆・コンテ・紙	1面		後期
50	小林 千古		ミルク・メイド	1897(明治30)	69.0×50.8	油彩・画布	1面	第10回白馬会展	
51	小林 千古		男性裸体座像	1897(明治30)	68.0×48.0	油彩・画布	1面		
52	小林 千古		男性裸体背面立像	1897(明治30)	89.0×64.0	油彩・画布	1面		
53	小林 千古		裸婦正面立像	1897(明治30)	90.0×62.0	油彩・画布	1面		
54	小林 千古		自画像	1903-05(明治36-38)頃	67.5×58.0	油彩・画布	1面		
55	小林 千古		母ワキ肖像	1899(明治32)頃	68.0×51.0	油彩・画布	1面		
56	小林 千古		女子正面	1900-01(明治33-34)頃	90.0×76.0	油彩・画布	1面		
57	小林 千古		静物	1900-01(明治33-34)頃	23.3×32.5	油彩・板	1面		
58	小林 千古		佛・伊風景小スケッチ	1900-01(明治33-34)頃	31.2×24	油彩・画布	1面		
59	小林 千古		佛・伊風景小スケッチ	1900-01(明治33-34)頃	22.4×31.2	油彩・画布	1面		
60	小林 千古		佛・伊風景小スケッチ	1900-01(明治33-34)頃	24.2×31.5	油彩・画布	1面		
61	小林 千古		佛・伊風景小スケッチ	1900-01(明治33-34)頃	17.8×11.9	油彩・画布	1面		
62	小林 千古		佛・伊風景小スケッチ	1900-01(明治33-34)頃	11.9×17.8	油彩・画布	1面		
63	小林 千古		佛・伊風景小スケッチ	1900-01(明治33-34)頃	16.6×12.0	油彩・厚紙	1面		
64	小林 千古		佛・伊風景小スケッチ	1900-01(明治33-34)頃	17.8×11.9	油彩・板	1面		
65	小林 千古		婦人像半身	1901(明治34)	65.0×50.0	鉛筆・パステル・紙	1面		
66	小林 千古		茶器と梅花	1903(明治36)	18.5×65.5	油彩・画布	1面	第10回白馬会展	
67	小林 千古		装飾画下絵	1909(明治42)	48.2×65.0	パステル・紙	1面		
68	小林 千古		広島夏の川	1903(明治36)頃	32.8×50.0	パステル・紙	1面		
69	小林 千古		巖島大谷	1903-1904(明治36-37)頃	29.5×22.5	油彩・画布	1面		
70	小林 千古		習作	不詳	145.5×107.5	油彩・画布	1面		
71	小林 千古		静物画	不詳	37.5×47.0	油彩・画布	1面		

### 日本洋画

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
72	南 薫造	1883-1950	坐せる女	1908(明治41)	112.1×83.3	油彩・画布	1面	第4回文展	
73	小林 和作	1888-1974	春の山	1967(昭和42)	80.0×100.0	油彩・画布	1面		
74	中西 利雄	1900-1948	マドモアゼル嬢	1938(昭和13)	62.5×48.4	水彩・紙	1面		
75	巖 光	1907-1946	帽子をかむる自画像	1943(昭和18)	60.0×50.0	油彩・画布	1面		
76	太田 忠	1908-1971	池のある風景	1956(昭和31)	162.1×130.3	油彩・画布	1面	第2回現代日本美術展	
77	岡部 繁夫	1912-1969	作品NR	1963(昭和38)	181.8×227.5	油彩・画布	1面		
78	菅井 汲	1919-1996	SOLEIL BLEU(青い太陽)	1969(昭和44)	235.5×236.0	アクリル絵具・画布	1面		
79	入野 忠芳	1939-2013	裂鱗(れっか) 75-6	1975(昭和50)	130.3×162.1	油彩・画布	1面	第11回現代日本美術展大賞	

### 第3室 日本画

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
80	奥田 元宋	1912-2003	待月	1949(昭和24)	130.4×204.2	絹本彩色	1面	第5回日展	
81	奥田 元宋		秋巒真如	1977(昭和52)	156.5×197.5	紙本彩色	1面	第9回改組日展	
82	奥田 元宋		溪澗春耀	1994(平成6)	37.7×112.7	紙本彩色	1面		
83	奥田 元宋		溪澗秋耀	1994(平成6)	37.7×112.7	紙本彩色	1面		
84	児玉 希望	1898-1971	暮春	1930(昭和5)	266.0×176.0	絹本彩色	1面	第11回帝展	
85	児玉 希望		浅春	1930(昭和5)	266.0×176.0	絹本彩色	1面		
86	平山 郁夫	1930-2009	天山南路(昼)	1960(昭和35)	164.2×218.8	紙本彩色	1面		
87	平山 郁夫		受胎霊夢	1962(昭和37)	179.5×178.8	紙本彩色	1面	第47回院展	
88	船田 玉樹	1912-1991	日輪	1940(昭和15)	各181.0×181.0	紙本彩色	1面	紀元二千六百年 奉祝日本画展	
89	船田 玉樹		すすきの原の秋	1950(昭和25)	180.0×68.0	絹本彩色	1面	ソ連における現代 日本美術展	
90	船田 玉樹		雪の灯ともし頃	1950(昭和25)	180.0×68.0	絹本彩色	1面	ソ連における現代 日本美術展	

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
91	船田 玉樹		山嶺	1986(昭和61)	46.3×54.3	絹本墨画	1面		
92	船田 玉樹		秋意	1957(昭和32)	207.0×161.0	紙本彩色	1面	第42回院展	
93	森谷南人子	1889-1981	初春閑村	1938(昭和13)	116.0×195.0	紙本彩色	1面	第2回新文展	
94	森谷南人子		伯耆大山暮秋	1966(昭和41)	46.0×61.0	紙本彩色	1面	第17回広島県美術展	
95	和高 節二	1898-1990	お正月(蓬餅)	不詳	41.4×62.0	紙本彩色	1面		
96	和高 節二		柿	1937-38(昭和12-13)頃	53.0×63.0	紙本彩色	1面		
97	和高 節二		村の子供	1933(昭和8)	177.5×184.6	紙本彩色	1面	昭和8年度日本画会展	
98	和高 節二		仔牛誕生	1970(昭和45)	158.3×263.2	紙本彩色	1面		

#### 第4室 日本とアジアの工芸

No.	作者・民族名・地域	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
99			重要文化財 伊万里色絵花卉文輪花鉢(柿右衛門様式)	江戸時代 17世紀後半	高11.5 口径24.4	磁器・色絵	1口		
100			伊万里柿右衛門様式色絵馬	江戸時代 17世紀後半	高44.3	磁器・色絵	1軀		
101			伊万里柿右衛門様式色絵馬	江戸時代 17世紀後半	高45.0	磁器・色絵	1軀		
102			草花蒔絵螺鈿書見台	桃山時代-江戸時代初期	高34.0 幅32.3	木・漆・蒔絵・螺鈿	1基		
103			鮫皮張草花鳥獸蒔絵螺鈿大箆筒	桃山時代-江戸時代初期	高65.0 89.0×52.0	木・漆・鮫皮・蒔絵・螺鈿	1棹		
104	植松 抱民	1845-1899	萩に雁研出蒔絵 文台	不詳	高12.5 35.6×61.2	木・漆・銀・蒔絵	1具		前期
105	植松 抱民		桜に燕研出蒔絵 硯箱	不詳	高4.3 4.0×21.0	木・漆・銀・蒔絵	1合		前期
106	植松 包美	1872-1933	卯の花研出蒔絵文庫	不詳	高14.0 39.5×31.0	木・漆・蒔絵	1合		前期
107	六角 紫水	1867-1950	刀筆天部奏楽方盆	1927(昭和2)	高2.2 19.6×19.6	木・漆・漆絵・彫刻	1枚	第8回帝展	後期
108	六角 紫水		大空と洋海の驚異手箱	1934(昭和9)	高15.3 30.2×23.3	漆・蒔絵・平文	1合	第15回帝展	後期
109	清水 南山	1875-1948	波に龍文水瓶	1937(昭和12)	高33.0 径13.0	銀・鍍金・彫金	1点	第1回新文展	
110	清水 南山		猫金具付 小児用手提	1939(昭和14)	径15.5 全長24.0(猫) 高4.7 径7.8	銀・彫金・布	1点	第3回新文展	
111	清水 南山		飛龍躍浪文硯屏	1942(昭和17)	高27.5 23.5×8.9	銀・彫金	1面		
112	インド、コロマンデル海岸		生命の樹文更紗	1770頃	310.0×219.0	木綿・手描媒染防染	1枚		前期
113	インド西部		茜地花入花菱繋文更紗	17-18世紀	283.0×104.0	木綿・木版媒染	1枚		前期
114	インド、コロマンデル海岸		菱形染分パッチワーク文更紗	17-18世紀	324.8×231.4	木綿・手描媒染防染	1枚		前期
115	インド、デカン		紺地クリシュナ・ゴビ文金更紗	18世紀	172.0×136.8	木綿・描絵金更紗	1枚		後期
116	インド東海岸、マドリハナム		クリシュナ神・ゴビ文金更紗	18世紀	179.0×106.8	木綿・手描染に金箔媒染防染	1枚		後期
117	インド、ラジャスタン		赤地ゴビ聖牛文更紗	19世紀末	247.6×140.4	木綿・銅版捺染	1枚		後期
118	インド東海岸、マドリハナム		聖樹とゴビ文金更紗裂	18世紀	31.7×60.7	木綿・手描媒染防染・金箔置	1枚		後期
119	インド		クリシュナ文更紗	19-20世紀	170×106	木綿・手描き・木版	1枚		後期
120	テケ族、トルクメン人		女性用被衣(チルピ)	19世紀	総丈126.0	絹・絹刺繍・裏に木綿	1領		前期
121	テケ族、トルクメン人		女性用被衣(チルピ)	19世紀	総丈125.0	絹・絹刺繍・裏に木綿	1領		後期
122	テケ族、トルクメン人		女性用被衣(チルピ)	19世紀	総丈124.0	絹・絹刺繍・裏に木綿	1領		前期
123	テケ族、トルクメン人		女性用被衣(チルピ)	1920頃	総丈125.0	絹・刺繍	1領		後期
124	カルシ(現ウズベキスタン)		刺繍布(スザニ)	19世紀後半	210.0×150.0	木綿・絹糸・刺繍	1枚		
125	フェルガナ盆地		刺繍布(スザニ)	19世紀末	206.0×156.0	(表)絹・絹糸・刺繍(裏)木綿・プリント	1枚		
126	スラタ(現ウズベキスタン)		刺繍布(スザニ)	19世紀前半	253.0×172.0	木綿・絹糸・刺繍	1枚		
127	ウズベク人、ラカイ		刺繍靴	19世紀-20世紀初頭	146×10.0 19.8×14.0	刺繍	2枚		
128	ウズベク人、タシケルガン		刺繍靴	20世紀初頭	19.3×14.8	刺繍	1枚		
129	ハザーラ人		刺繍靴	19世紀中期	18.5×20.5	刺繍	1枚		
130	パシウトゥーン人		刺繍靴	19世紀中期	18.5×13.2	刺繍	1枚		
131	シンド、バルチスタン、南部パキスタン		刺繍靴	19世紀中期	23.7×25.9	刺繍	1枚		
132	ヨムート族、トルクメン人		刺繍靴	19世紀-20世紀初頭	55.2×37.0 15.3×9.1	刺繍	2枚1組		
133	ウズベク人、ブハラ		刺繍靴	19世紀	54.2×37.3	絹経緯・毛織物・絹刺繍・金糸刺繍・組紐・裏にプリント木綿	1枚		
134	エルサリ族、トルクメン人		刺繍靴	19世紀中頃-20世紀初頭	16.0-95.0×3.1-42.8	刺繍	4枚		
135	北ヨムート族、トルクメン人		花嫁用頭飾り	1923/24(ヒジュラ暦1342)	高14.7(下げ飾り除く)	銀・鍍金・ガラス	1点		
136	北ヨムート族、トルクメン人		花嫁用頭飾り	19世紀前半	高17.0(下げ飾り除く)	銀・鍍金・カーネリアン	1点		
137	テケ族、トルクメン人		花嫁用頭飾り	19世紀前半	幅33.0	銀・鍍金・カーネリアン	1点		
138	テケ族、トルクメン人		花嫁用頭飾り	19世紀前半	高31.0	銀・鍍金・カーネリアン	1点		
139	ウズベク人、ブハラ		刺繍靴	20世紀初頭	18.7×13.2	金糸刺繍・絹刺繍・絹・ベルベット	1点		

## 関連事業

### (1) リレートーク

日時：11月22日(金) 15:00～

講師：角田 新、森 万由子、藤崎 綾、神内 有理、岡地 智子(当館学芸員)

### (2) 対話型鑑賞

日時：10月5日(土)、11月16日(土) 各日 15:00～

ナビゲーター：森 万由子、岡地 智子(当館学芸員)

## 関連番組

広島ホームテレビ『ひろしま深掘りライブ フロントドア』『課外授業』11月9日・11月16日、RCCラジオ「わくわく美術館」10月26日

## 関連記事

『朝日新聞』10月4日(みんなが「投票」上位作品を展示)

## ミニガイドの発行

『広島県立美術館 所蔵作品ミニガイド⑧ 小林千古 歩み続けた画家』を作成、来館者に無料配布

冬の所蔵作品展

小特集 今井政之・バウハウス・入野忠芳 (彫刻展示スペース・第1室・第2室)  
新収蔵作品介绍 (第3室)

令和2年1月2日(木)～7月19日(日)

前期：1月2日(木)～2月24日(月・祝)

後期：2月26日(水)～7月19日(日)

臨時休館：3月7日(土)～5月11日(月)

彫刻展示スペース 小特集：今井政之

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
1	今井 政之	1930-	躍鳥扁壺	1953(昭和28)	高38.2 奥行22.9	幅38.8 陶器	1口	第9回日展	
2	今井 政之		象嵌りんご文耳付花瓶	1956(昭和31)	高35.5	径24.1 陶器	1口		
3	今井 政之		焼締盤	1959(昭和34)	高23.0	径52.0 陶器	1口	第2回新日展 たけはら美術館蔵	-3月6日
4	今井 政之		「禅鯨」壺	1977(昭和52)	高45.0	胴径39.5 陶器	1口		5月12日-
5	今井 政之		「條」苔泥彩壺	1968(昭和43)	高36.0	径26.5 陶器	1口		
6	今井 政之		釉彩海老飾皿	1973(昭和48)	高9.1	径52.5 陶器	1枚		
7	今井 政之		泥彩魚紋壺	1974(昭和49)	高54.6	陶器	1口		
8	今井 政之		象嵌彩窯変磯蟹大皿	1985(昭和60)	高8.7	径60.5 陶器	1枚		
9	今井 政之		チャンカイ秘話 大皿	1991(平成3)	高15.0	径71.0 陶器	1枚	広島県蔵	
10	今井 政之		象嵌彩窯変阿比花壺	1996(平成8)	高42.0	径28.0 陶器	1口		
11	今井 政之		象嵌赫窯瀬戸の幸大皿	1998(平成10)	高8.0	径73.5 陶器	1枚		
12	今井 政之		象嵌彩窯変ばいも大皿	2005(平成17)	高11.5	径72.7 陶器	1枚		

第1室 小特集：バウハウス

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
13	サルノドール・ダリ	1904-1989	ヴィーナスの夢	1939	243.8×487.6	油彩・画布・パネル	1面	ニューヨーク万国博覧会	-2月2日
14	アレクサンダー・コルダ	1898-1976	ヴァーティカル・ホワット・フレーム	1936	高265.4	金属・ワイヤー・パネ・木	1点		

バウハウスのマイスターたち

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
15	ライオネル・ファイニンガー	1871-1956	バウハウス宣言書表紙	1919	30.5×18.5	木版・紙	1面		
16	ライオネル・ファイニンガー		海辺の夕暮	1927	45.0×77.0	油彩・画布	1面		
17	ワシリー・カンディンスキー	1866-1944	小さな世界Ⅰ	1922	35.6×28.0	リトグラフ・紙	1面		前期
18	ワシリー・カンディンスキー		小さな世界Ⅲ	1922	35.6×28.0	リトグラフ・紙	1面		後期
19	ワシリー・カンディンスキー		小さな世界Ⅴ	1922	35.6×28.0	リトグラフ(木版からなる)・紙	1面		前期
20	ワシリー・カンディンスキー		小さな世界Ⅶ	1922	35.6×28.0	リトグラフ(木版からなる)・紙	1面		後期
21	ワシリー・カンディンスキー		小さな世界Ⅸ	1922	35.6×28.0	ドライポイント・紙	1面		前期
22	ワシリー・カンディンスキー		小さな世界Ⅺ	1922	35.6×28.0	ドライポイント・紙	1面		後期
23	パウル・クレー	1879-1940	お金を数える老人	1929	29.7×23.7	エッチング・紙	1面		前期
24	パウル・クレー		何で走っているのだろう	1932	23.8×29.9	エッチング・紙	1面		後期
25	マン・レイ	1890-1976	アーノルト・シェーンバルク	1926	29.1×22.3	ゼラチン・シルバー・プリント	1面		

バウハウス 新ヨーロッパ版画集 第1集(1921)より

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
26	ライオネル・ファイニンガー	1871-1956	海辺の別荘	1921	32.7×38.2	木版・紙	1面		前期
27	ライオネル・ファイニンガー		散歩をする人	1921	48.3×34.7	木版・紙	1面		後期
28	ヨハネス・イッテン	1888-1967	ことわざ	1921	35.4×24.7	リトグラフ・紙	1面		前期
29	ヨハネス・イッテン		白人の家(建築的スタディ)	1921	35.0×28.1	リトグラフ・紙	1面		後期
30	パウル・クレー	1879-1940	内なる光に照らされた聖人	1921	39.0×26.8	リトグラフ・紙	1面		前期
31	パウル・クレー		ホフマンの舞台	1921	35.5×26.0	リトグラフ・紙	1面		後期
32	ゲルハルト・マルクス	1889-1981	猫	1921	38.0×55.0	木版・紙	1面		後期
33	ゲルハルト・マルクス		ふくろう	1921	38.0×28.1	木版・紙	1面		前期
34	ゲオルグ・ムッヘ	1895-1987	動物の頭	1921	30.0×20.0	エッチング・紙	1面		後期
35	ゲオルグ・ムッヘ		エッチング	1921	30.0×20.0	エッチング・紙	1面		前期
36	オスカー・シュレンマー	1888-1943	人物H2	1921	48.0×34.0	リトグラフ・紙	1面		前期
37	オスカー・シュレンマー		人物集合像K1	1921	48.8×33.8	リトグラフ・紙	1面		後期

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
38	ローター・シュライヤー	1886-1966	舞台劇《子供の死》のカラーパターン6	1921	45.2×30.0	リトグラフ・紙	1面		前期
39	ローター・シュライヤー		舞台劇《子供の死》のカラーパターン2	1921	45.1×30.0	リトグラフ・紙	1面		後期

#### パウハウス新ヨーロッパ版画集 第4集(1924)より

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
40	アレキサンダー・アーネベンコ	1887-1964	二人の裸婦	1922	37.0×28.3	リトグラフ・紙	1面		前期
41	ウンベルト・ボッチョーニ	1882-1916	速度	1921-23	21.5×31.0	リトグラフ・紙	1面		後期
42	ワシリー・カンデンスキー	1866-1944	コンポジション	1922	27.9×24.4	リトグラフ・紙	1面		
43	ジョルジョ・デ・キリコ	1888-1978	オレステスとピュラデス	1921	28.9×20.0	リトグラフ・紙	1面		後期
44	カルロ・カッラ	1881-1966	軽業師	1922	30.0×21.5	リトグラフ・紙	1面		後期
45	エンリコ・プランボリーニ	1894-1956	造形的モチーフ	1923	24.4×12.5	リトグラフ・紙	1面		前期
46	ジーノ・セヴェリーニ	1883-1966	アルルカンの家族	c.1922	30.4×20.6	リトグラフ・紙	1面		前期
47	アレクセイ・ヤヴレンスキー	1865-1941	頭部	c.1922	17.7×12.4	リトグラフ・紙	1面		前期
48	マルク・シャガール	1887-1985	散歩2(夫人のいる自画像)	c.1922	17.4×14.6	エッチング・ドライポイント・紙	1面		前期

#### パウハウスの周縁から

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
49	ジャン(ハンス)・アルプ	1886-1966	目覚め	1938/83	高47.5×24×23	ブロンズ	1点		2月4日-
50	マックス・エルンスト	1891-1976	オイディプス I	1934(1992鑄造)	高62.0	ブロンズ	1点		2月4日-
51	マックス・エルンスト		オイディプス II	1934(1992鑄造)	高66.0	ブロンズ	1点		2月4日-
52	ベン・ニコルソン	1894-1982	1933(絵画)	1933	73.3×90.8	油彩・ジェッツ・板	1面		2月4日-
53	ヘンリー・ムーア	1898-1986	弦のある形	1939	高30.5	ブロンズ・弦	1点		2月4日-
54	バーバラ・ヘップワース	1903-1975	ネステイング・ストーンズ	1937	高19×30.5×22.8	大理石	1点		2月4日-

#### 第2室 小特集：入野忠芳

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
55	小林 千古	1870-1911	女子正面	1900-01(明治33-34)頃	90.0×76.0	油彩・画布	1面		
56	小林 千古		静物	1900-01(明治33-34)頃	23.3×32.5	油彩・板	1面		
57	南 薫造	1883-1950	花	1906(明治39)	45.5×60.6	油彩・画布	1面		
58	南 薫造		冬枯れ	1909(明治42)	31.0×40.7	油彩・板	1面		
59	南 薫造		アトリエからの眺め	不詳	27.0×21.7	油彩・板	1面		
60	南 薫造		犬吠岬	1940(昭和15)	65.4×80.3	油彩・画布	1面		
61	南 薫造		雪の日	1940(昭和15)	45.0×60.4	油彩・キャンバスボード	1面		
62	巖 光	1907-1946	コミサ(洋傘による少女)	1929(昭和4)	80.0×65.0	油彩・画布	1面	第7回槐樹社展	
63	巖 光		帽子をかむる自画像	1943(昭和18)	60.0×50.0	油彩・画布	1面		
64	菅井 汲	1919-1996	SOLEIL ET SOLEIL(太陽と太陽)	1968(昭和43)	114.2×192.6	アクリル・画布	1面		
65	菅井 汲		TAMBOUR(鼓手)	1993(平成5)	200.0×200.0	アクリル・画布	1面		
66	入野 忠芳	1939-2013	広島三菱のクレーン	1955(昭和30)	37.7×45.4	油彩・画布	1面		
67	入野 忠芳		原爆ドームの内壁	1956(昭和31)	42.4×72.3	油彩・画布	1面		
68	入野 忠芳		不確かな行方	1967(昭和42)	91.0×116.5×2面	油彩・画布	2面		
69	入野 忠芳		不確かな行方―待つ―赤	1969(昭和44)	130.3×162.0	油彩・画布	1面		
70	入野 忠芳		浮遊	1970(昭和45)	117.0×90.9	油彩・画布	1面		
71	入野 忠芳		大地	1973(昭和48)	97.0×145.0	油彩・画布	1面		
72	入野 忠芳		裂鱗(れっか) 75-6	1975(昭和50)	130.3×162.1	油彩・画布	1面	第11回現代日本美術展大賞	
73	入野 忠芳		『もえたじゃがいも』原画	1989(平成元)頃		油彩・水彩ほか		個人蔵	
74	入野 忠芳		流形 90-5	1990(平成2)	182.0×227.2	油彩・画布	1面		
75	入野 忠芳		風成 94-5	1994(平成6)	162.1×162.1	油彩・画布	1面	アジアひろしま美術大賞展 大賞	

#### 第3室 新収蔵品紹介

##### 日本画

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
76	山野旭峯斎義嗣		山野峻峯斎像	1854(嘉永7)	41.2×25.8	絹本彩色	1幅		
77	山野旭峯斎義嗣		勿来関図	19世紀	119.8×48.8	絹本彩色	1幅		
78	狩野探信守道	1785-1835	免許状(山野峻峯斎宛)	1826(文政9)	33.2×40.9	紙本墨書	1幅		
79			絵具箱(山野家所用)	19世紀	高34.3 巾20.3	木製	1函		
80	小林 和作	1888-1974	都井岬の海	1956(昭和31)	99.6×51.6	絹本彩色	1幅		



版画・日本洋画

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
81	朝井 清	1901-1968	女性像	1925(大正14)	9.3×12.6	木版・紙	1面		
82	朝井 清		女性像	1925(大正14)	9.7×12.9	木版・紙	1面		
83	朝井 清		木陰	1925(大正14)	7.3×8.3	木版・紙	1面		
84	朝井 清		死	1927(昭和2)	15.7×22.8	木版・紙	1面		
85	朝井 清		人物のいる風景	1927(昭和2)	10.0×13.5	木版・紙	1面		
86	朝井 清		真夏	1928(昭和3)	23.6×32.6	木版・紙	1面		
87	朝井 清		インコ	1930(昭和5)	17.4×24.9	木版・紙	1面		
88	朝井 清		鴨	1930(昭和5)頃	25.0×35.0	木版・紙	1面		
89	朝井 清		帰農	1932(昭和7)	22.8×32.5	木版・紙	1面		
90	朝井 清		二河峡	1936(昭和11)	16.0×23.0	木版・紙	1面		
91	朝井 清		広島の夕焼(サインあり)	1945(昭和20)	30.5×44.8	リノカット・紙	1面		
92	朝井 清		広島の夕焼(サインあり)	1945(昭和20)	30.4×44.8	リノカット・紙	1面		
93	朝井 清		蜥蜴	1946(昭和21)頃	6.0×9.7	木版・紙	1面		
94	朝井 清		沖縄の女性	1946(昭和21)頃	21.6×18.0	墨・紙	1面		
95	朝井 清		瀬戸内海	1946(昭和21)頃	9.7×6.2	木版・紙	1面		
96	朝井 清		祇園祭	1954(昭和29)頃	36.4×26.5	フェルトペン・紙	1面		
97	朝井 清		開墾地	不詳	29.0×30.6	木版・紙	1面		
98	朝井 清		茄	不詳	54.8×35.3	木版・紙	1面		
99	朝井 清		カフェー	不詳	12.8×8.2	木版・紙	1面		
100	朝井 清		水辺の裸婦	不詳	10.7×10.7	木版・紙	1面		
101	若山 為三	1893-1961	裸婦	昭和初年代頃	39.7×30.9	油彩・板	1面		
102	小林 和作	1888-1974	室戸岬	不詳	37.9×45.9	油彩・画布	1面		
103	小林 和作		黒部宇奈月	不詳	36.4×54.5	鉛筆・水彩・紙	1面		

工芸

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
104	奥田小由女	1936-	天翔ける賛歌	1989(平成元)	193.0×1245.0	木・桐粉・胡粉	1面	広島県蔵	
105	木村 芳郎	1946-	碧釉稜壺	1991(平成3)	高37.5 径38.5	半磁器	1口		
106	木村 芳郎		碧釉水稜器	1995(平成7)	高64.0 径25.8	半磁器	1口		
107	栗根昭二郎	1927-	銀箔地七宝蓋物「安芸」	2000(平成12)	高8.5 径23.5	七宝	1合		

第4室 日本画壇における女性の活躍—伊万里磁器と日本画分野の名品とあわせて

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
108			重要文化財 伊万里色絵花卉文輪花鉢(柿右衛門様式)	江戸時代 17世紀後半	高11.5 口径24.4	磁器・色絵	1口		
109			伊万里柿右衛門様式色絵馬	江戸時代 17世紀後半	高44.3	磁器・色絵	1軀		
110			伊万里柿右衛門様式色絵馬	江戸時代 17世紀後半	高45.0	磁器・色絵	1軀		
111	丸木 スマ	1875-1956	蝶	1953(昭和28)	107.0×77.5	紙本彩色	1面	女流画家協会展	
112	丸木 スマ		小鳥の滝	1954(昭和29)	78.0×109.0	紙本彩色	1面		
113	児玉 希望	1898-1971	黎明	1934(昭和9)	191.0×178.0	絹本彩色	1面	第15回帝展	
114	児玉 希望		吾妻橋	1960(昭和35)	121.5×156.4	絹本彩色	1面		
115	益井三重子	1910-2010	大原女踊り	1972(昭和47)	169.3×214.5	紙本彩色	1面	第57回院展	
116	奥田 元宋	1912-2003	嶽	1959(昭和34)	110.0×210.0	紙本彩色	1面	第2回新日展	
117	神田三千枝	1924-1992	タリンの丘	1972(昭和47)	223.0×171.0	画布彩色	1面	第57回院展	
118	水谷 愛子	1924-2005	浜のおばあちゃん	1982(昭和57)	167.0×211.7	紙本彩色	1面	第67回院展	
119	水谷 愛子		母と子	1988(昭和63)	167.8×213.1	紙本彩色	1面	第73回院展	
120	平山 郁夫	1930-2009	浅春	1955(昭和30)	181.0×200.0	紙本彩色	1面	第40回院展	

関連事業

(1) スペシャルトーク

日時：3月7日(土) 13:00～ →新型コロナウイルス感染拡大防止のために中止

講師：今井 政之氏(文化勲章受章者/陶芸家)

場所：地階講堂(先着200名)

- (2) 「小特集 入野忠芳」ギャラリートーク  
日時：2月23日(日) 15:00～  
講師：角田 新、藤崎 綾(当館主任学芸員)
- (3) 美術講座「バウハウス100年の足跡—ワイマールから Dessauへ」  
日時：2月28日(金) 15:00～ →新型コロナウイルス感染拡大防止のために中止  
講師：山下 寿水(当館学芸員)  
場所：地階講堂(先着200名)
- (4) 対話型鑑賞  
日時：1月25日(土) 15:00～  
3月14日(土) 15:00～ →新型コロナウイルス感染拡大防止のために中止  
ナビゲーター：岡地 智子、森 万由子(当館学芸員)

#### 関連記事

『Cue備後 おでかけガイド』1月24日号、NHK出版「まいにちドイツ語」インフォメーションページ(3月18日発行／バウハウス特集を紹介)、NHK出版「旅するドイツ語」インフォメーションページ(3月18日発行／バウハウス特集を紹介)、『くれえばん』3月号、『ホットペッパー』3月号

#### ミニガイドの発行

『広島県立美術館 所蔵作品ミニガイド⑨ 今井政之 瀬戸内を原風景に』、『広島県立美術館 所蔵作品ミニガイド⑩ バウハウス 芸術と技術の統一』、『広島県立美術館 所蔵作品ミニガイド⑪ 入野忠芳 崩壊と生成を見つめて』を作成、来館者に無料配布

### Ⅲ 普及活動

#### 1 第7回新県美展(第71回広島県美術展)

本展は「広く県民から美術作品を公募し、優れた作品を展示することにより、創作活動の振興を図るとともに、鑑賞の機会を提供し、もって芸術文化の向上に資すること」を目的に、昭和24年以来開催している。平成25年度には、より広く県民が参加できる美術展をめざして、新たに映像系部門を加え、また、入館者人気大賞を実施するなどの見直しを行い、「新県美展」としてリニューアルした。

本年度は、応募点数994点のうち487点が入選。うち、受賞作品56点(大賞7点、優秀賞14点、奨励賞35点)。これら入選作品に加え、第7回広島県ジュニア美術展大賞受賞者8名の作品や、県内における制作指導や美術文化の発展に貢献した招待作家9名の作品を展示した。また、期間中の入館者人気投票により入館者人気大賞7点が選定された。

主 催／広島県

共 催／三次市教育委員会、竹原市教育委員会、府中市、福山市、三原市教育委員会、  
世羅町教育委員会、庄原市教育委員会、江田島市教育委員会、中国新聞社

後 援／NHK広島放送局、中国放送、広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島、  
広島エフエム放送、FMちゅーピー76.6MHz、エフエムふくやま、尾道エフエム放送、  
FMはつかいち76.1MHz、リビングひろしま

開催市町名	会 場	会 期	観覧者数
広島県(中央展)	広島県立美術館	6月22日(土)～7月7日(日)	5,905人
三 次 市	美術館あーとあい・きさ	7月17日(水)～7月21日(日)	182人
竹 原 市	たけはら美術館	7月24日(水)～7月28日(日)	148人
府 中 市	府中市生涯学習センター	7月31日(水)～8月4日(日)	450人
福 山 市	ふくやま美術館	8月21日(水)～8月25日(日)	1,269人
三 原 市	三原リージョンプラザ	8月28日(水)～9月1日(日)	588人
世 羅 町	世羅町せら文化センター	9月4日(水)～9月8日(日)	290人
庄 原 市	庄原市田園文化センター	9月11日(水)～9月15日(日)	374人
江 田 島 市	能美市民センター	11月2日(土)～11月4日(月・振)	467人

合計 9,673人

入賞者名簿(※◎は大賞、○は優秀賞、無印は奨励賞)

絵 画 系	◎瀬尾 玲子 ○佐々木 博 前原 専二 岡田 睦生	◎浅田 千明 倉田 英子 高橋千恵美 亀岡早百合	○藤井 妙子 若山 恵子 中林 昭策 山本 健二	○諏澤 雅恵 笹井多恵子 池田登志太	○落合 真澄 中川 公子 山口 幸弘
彫 塑 系	◎野路 孝司	○佐々木一則	品川 知枝	木村 翔太	
工 芸 系	◎沖本 道子 三好幸二郎	○桑原みさ雄 岡本詩穂里	○沖田 要	光保智恵子	唐川 昌己
書 系	◎坂川 典子 枝正 紅蘭	○中村 藍海 加藤 琴月	○井上 壽子 岩田 貴仙	大本 雅美 大田 慧仙	竹田 順子 河上 醉蘭
写 真 系	◎百鳥 健一 小刀 章 市河 宏子	○手島 洋子 内海 幸雄	○原田今朝弘 和泉 鉄美	渥美 和行 埜口 英昭	藤井 律 柳樂 昌宏
デ ザ イ ン 系	◎小川 公久	○倉田 朋佳	反田 龍治		
映 像 系	○郷原 由依	○山戸明佳理	矢澤 利弘		

## 2 第8回広島県ジュニア美術展

この展覧会は「広島県の児童・生徒等の優れた作品を公募し、展示することにより、創作活動を奨励するとともに、鑑賞の機会を提供し、次世代の美術力(感じる力、考える力、みる・かく・つくる力)の向上を図ること」を目的に、平成24年度から開催している。このたびの第8回展では、応募作品2,537点のうち953点が入選。うち、受賞作品148点(大賞8点、優秀賞31点、奨励賞109点)。また、共同作品には11点の出品があった。

主催／広島県

共催／広島県教育委員会、中国新聞社

助成／公益財団法人エネルギー文化・スポーツ財団

後援／NHK広島放送局、中国放送、広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島、  
広島エフエム放送、FMちゅーピー76.6MHz、エフエムふくやま、尾道エフエム放送、  
FMはつかいち76.1MHz、リビングひろしま

協力／公文教育研究会、にしき堂

会場／広島県立美術館 地階県民ギャラリー

会期／令和元(2019)年12月14日(土)～12月22日(日)

入館料／無料

観覧者数／4,578人

入賞者名簿(※◎は大賞、○は優秀賞、無印は奨励賞)

絵画系	◎山内 咲綺	◎猪野菜津子	◎伊藤 勇人	○榎 茜里	○岡下 恵鈴	
	○井林 悠河	○三田 麻尋	○幸松 佑晟	○佐藤 汰樹	○川本 光真	
	○竹田智哉里	○高橋 龍生	○津田 峻輔	○新畑進之介		
	○キャラウェイ・ナディア・七海	○竹井 咲乃	沢田 優乃	直井 優樹		
	榎本 陸斗	中村 寛太	菅 結々愛	篠原 恒太	高橋 舞羽	
	三浦 瑠梨	紙屋 勇輝	植村 智祥	平原 爽	熊本 明華	
	橋本 真依	高塚 葡唯	沖野 空桜	西本 佳生	三原 優衣	
	寺田 愛莉	西村 桜	王 卓	糸原 小雪	下川 涼乃	
	山本 果七	花岡 礼愛	向井 悠	本永 利菜	浦隅 実紀	
	橘高 日鞠	山本 壮留	門田琉生斗	永江 真帆	町里 嘉紀	
	光守 智哉	垣本 夏希	半角穂乃香	野地 真央	筒井 恵香	
	岡田 夢菜	梅田 泰帆	酒井 麻央	菊田 拓真	清滝 友理	
	石原 蒼大	山田 葉太				
	彫刻系	◎菅 瑞雪	○中原 侑大	○桂 一賀	○堂野 修雪	中村 柁陽
		板倉 悠月	土屋 環	小林 恭也	久田 天	山口 寧々
		保手濱聖音	辰己 和	岡田 一輝	佐々木 香	山吹 結人
	工芸(工作)系	◎村上 心優	○菅 夏瑞	○伊藤 佑斗	○耕田 凜那	○吉本 奈都
		浅枝 礼	馬場 直人	山先あい花	山形 星天	伊藤 勇人
		町里 奈袖	岡田 優生	藤川 翼希	岡田 楓	木下 淳
胡井 希心		河野 陽香	吉松 玲華	福島 圭吾		
写真系	◎栗原 青滉	○田邊 乃彩	○孫 和語	坂本 閑	増本 侑紀	
	大亀 智貴	向井 悠	中川 湮			
デザイン系	◎高塚 東儀	◎山本 愛	○吉坂 真紀	○佐藤 時雨	○小河原一慶	
	○渡邊 望	○包 雅叶慧	○木村 聡希	○山口 伶	○丸川 大慈	
	○米光 ゆい	梶間 凜	片岡 陽大	山本 龍生		
	YOKOYAMA FERNANDO KENJI		小寺 綾女	三上日菜子	今川 瑞季	
	足立 朋香	谷本愛莉歌	福原 実夢	杉田 紅桜	坂手 翔	

川口 彩寧	十七里心南	山野 里友	岡田 周	小田 和代
丸山 心晴	渡邊 ゆり	河村 青奈	辰巳琳乃助	三浦 袈琳
豊島 優大	池森 桜花	斎藤美乃里	渡辺 珠里	塚川 榎菜
藤本 佳愛	亀谷 春香	中島 真彩	中迫 由	西迫 佑馬
福間 結蘭	吉迫 希美	石井 永遠		



### 3 博物館実習

大学及び短期大学における博物館学講座の単位習得の一環として、博物館学を履修する学生を一時的に受け入れ、博物館現場における知識及び技能を修得させることにより、人材の育成を図ることを目的として実施している。開設日時とカリキュラム、および受入先は次のとおり。

(実習担当者：藤崎 綾)

#### 開設日時と内容

8月19日(月)	9:30～10:15	開講あいさつ・オリエンテーション
	10:15～11:30	講座①「美術館と学芸活動」
	11:30～12:00	ギャラリートーク実習①(概論)
	13:00～14:30	講座②「美術館の展示環境・展示手法」
	14:30～15:15	展覧会見学①「所蔵作品展」
	15:15～16:00	展覧会見学②「追悼水木しげる ゲゲゲの人生展」
8月20日(火)	9:30～10:00	館長講話
	10:00～12:00	作品取扱い実習・調書作成①(平面作品)
	13:00～15:00	作品取扱い実習・調書作成②(立体作品)
8月21日(水)	15:00～16:00	展覧会取材(館内取材)
	9:30～12:00	展覧会を紹介する(短評作成・相互批評)
	13:00～14:00	ギャラリートーク実習②(企画—立案)
8月22日(木)	14:00～15:00	ギャラリートーク実習③(実地見学)
	15:00～16:00	ギャラリートーク実習④(企画—立案)
	9:30～12:00	ギャラリートーク実習⑤(企画—集約)
8月23日(金)	13:00～16:00	ギャラリートーク実習⑥(企画—制作)
	9:30～12:00	ギャラリートーク実習⑦(企画—発表準備)
	13:00～14:30	ギャラリートーク実習⑧(発表)
	14:30～15:00	受講生ディスカッション
	15:00～16:00	振り返り

#### 受講生所属大学

神戸女子大学、京都女子大学、広島市立大学、安田女子大学、比治山大学、広島大学、広島女学院大学(申込順、計15名)

#### ミニ企画展実習

メインカリキュラムの「ギャラリートーク実習」では、所蔵作品展で展示中の作品の中から対象作品を選定し、模擬的なギャラリートークを実施した。受講生は3班に分かれ、グループワークにより、各班で対象者、作品、対象者に合わせたトーク内容、ギャラリートーク全体のテーマを決定。作品を繰り返しよく見ることで発見した見方や感じ方を振り下げることで、作品への理解を深め、鑑賞の楽しみが広がることを体験するとともに、来館者の目線に立ったトーク内容の検討と発表により、学芸業務を体験することを目的とした。各班のテーマ、対象者、作品は次の通り。

1	感情の動き(対象:高校生) 奥田元宋《寂》、善鳩人《薄明》、名井萬亀《一家団欒》、平山郁夫《波斯黄堂旧址》、和高節二《農婦》
2	生きることのかたち(対象:高校生以上) ジャン(ハンス)・アルプ《目覚め》、マックス・エルンスト《博物誌》、サルバドール・ダリ《ヴィーナスの夢》、菅井汲《SOLEIL(太陽)》、土屋幸夫《果てしなき餐食》、名井萬亀《憩い》《ガラス女工》《フットボール》、古沢岩美《死の誕生》
3	嫌なことがあった日(対象:中学生・高校生) 児玉希望《日午(新水墨画十二題)》《涅槃》《踊》、善鳩人《薄明》、寺田政明《生と死の凝視》、浜崎左髪子《青夜》、行近壯人《月明》

## 4 学校・地域との連携事業

所蔵作品や鑑賞補助教材を活用した授業や講座を出張して行うことにより、学校や地域における美術鑑賞活動を支援し、美術館と学校や地域との相互交流を促進している。

### 出張講座

本講座は、県立美術館の学芸職員が公民館や生涯学習センター、学校などに出向き、スライドなど鑑賞補助教材を用いて行うもので次の2つのコースを設定した。

A コレクション・トーク 当館所蔵作品や地域文化などをテーマに行う講座(15講座)

B 特別展のためのとくべつ講座 当該年度に開催する特別展を紹介する講座(2講座)

平成31・令和元年度における実施状況は次表のとおりで、地域や学校における美術鑑賞活動を支援するとともに、特別展を普及広報し、美術館への関心や親しみを醸成した。

No.	会場	講座名	講師	月日	受講
1	広島市立江波小学校	広島がはぐくんだ伝統工芸「高盛絵」	岡地	9月12日	99人
2	広島市口田公民館	風景画を楽しむ	角田	9月13日	60人
3	リワークセンター大手町	絵画の探検 一楽しみ方のヒントー	藤崎	11月16日	10人
4	広島市総合福祉センター	第66回日本伝統工芸展	岡地	11月23日	70人
5	広島市高陽公民館	話しながら見てみよう —みんなで楽しむ美術鑑賞—	森	2月21日	25人

(全5会場 合計264人)

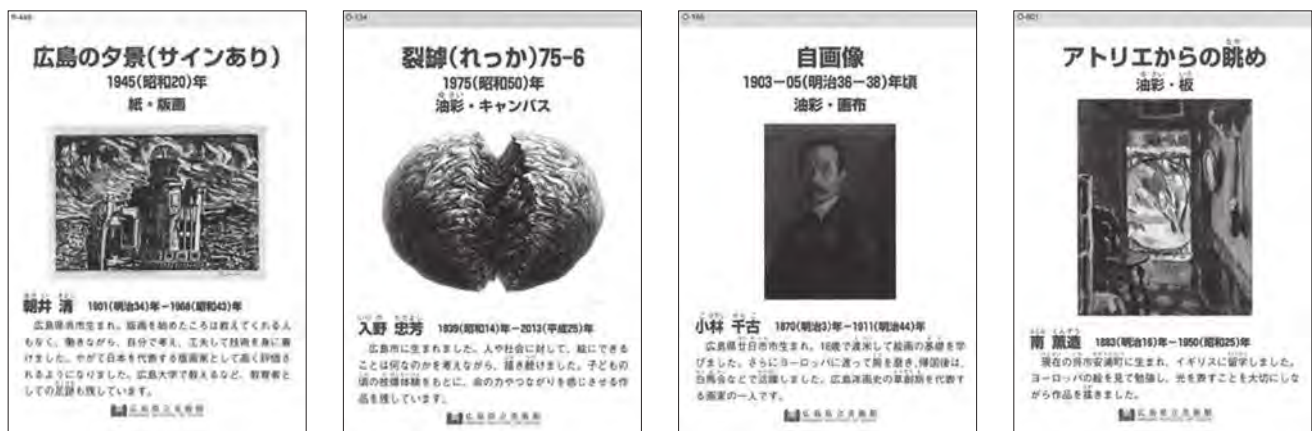
## 5 鑑賞支援制作物

### (1) ワークシート

来館者の鑑賞を支援するため、おおむね小学校高学年以上を対象とした所蔵作品のワークシートを作成している。平成31・令和元年度は新たに4種類を作成し、合わせて333種となった。

No.	作品番号	作者名	作品名	制作年	材質・技法
1	P-449	朝井 清	広島の夕景(サインあり)	1945(昭和20)	紙・版画
2	O-134	入野 忠芳	裂罅(れっか) 75—6	1975(昭和50)	油彩・キャンバス
3	O-168	小林 千古	自画像	1903-05(明治36-38)	油彩・画布
4	O-801	南 薫造	アトリエからの眺め	不詳	油彩・板

### 作例



### (2) ミニガイド

来館者の鑑賞を支援するため、所蔵作品のミニガイドブック(16頁)を作成している。平成31・令和元年度は新たに4種類を作成し、合わせて11種となった。

No.	ミニガイド番号	冊子名
1	8	「小林千古 歩み続けた画家」
2	9	「今井政之 瀬戸内を原風景に」
3	10	「バウハウス 芸術と技術の統一」
4	11	「入野忠芳 崩壊と生成を見つめて」

### 作例



## 6 学校等による利用状況

平成31年4月1日～令和2年3月31日までの利用状況(団体申込による)は、次のとおり。

### 概要

区分(団体・区域)		団体数	人数	引率等	総人数	
1	小学校	(1)市内	7団体	386	26	412
		(2)県内	-	-	-	-
		(3)県外	-	-	-	-
2	中学校	(1)市内	1団体	24	2	26
		(2)県内	3団体	50	6	56
		(3)県外	20団体	525	33	558
3	高校	(1)市内	5団体	137	16	153
		(2)県内	1団体	36	2	38
		(3)県外	1団体	20	1	21
4	その他	(1)市内	6団体	88	6	94
		(2)県内	2団体	53	2	55
		(3)県外	1団体	4	2	6
合計		47団体	1323	96	1419	

### 詳細

団体		区域	年月日	人数	引率	小計	目的	対応
1	広島市立幟町小学校	(1)市内	5月17日	94	5	99	特	
	広島市立幟町小学校	(1)市内	9月27日	14	1	15	特	学芸員
	広島市立大町小学校	(1)市内	10月9日	99	4	103	特	学芸員
	広島市立江波小学校	(1)市内	10月17日	97	4	101	特・所	学芸員
	広島市立口田東小学校	(1)市内	10月29日	11	4	15	所	
	なぎさ公園小学校	(1)市内	12月7日	61	5	66	特	学芸員
	広島市立基町小学校	(1)市内	2月18日	10	3	13	特	学芸員
2	広島市立江波中学校	(1)市内	6月8日	24	2	26	所	
	竹原市立竹原中学校	(2)県内	8月2日	11	1	12	特	
	東広島市立高屋中学校 美術部	(2)県内	8月10日	22	2	24	特・所	
	北広島町立大朝中学校	(2)県内	9月11日	17	3	20	所	
	新見市立哲西中学校(岡山)	(3)県外	5月8日	15	2	17	所・縮	
	下松市立末武中学校(山口)	(3)県外	5月9日	6	0	6	所	
	矢掛町立矢掛中学校(岡山)	(3)県外	5月14日	39	5	44	所	
	笠岡市立笠岡東中学校(岡山)	(3)県外	5月14日	9	1	10	所	
	善通寺市立東中学校(香川)	(3)県外	5月14日	5	0	5	所	
	岩国市立灘中学校(山口)	(3)県外	5月15日	16	0	16	所・縮	
	井原市立井原中学校(岡山)	(3)県外	5月16日	56	1	57	所	
	赤磐市立高陽中学校(岡山)	(3)県外	5月17日	5	1	6	所	班別行動
	岩国市立岩国中学校(山口)	(3)県外	5月21日	40	2	42	所	班別行動
	岩国市立麻理布中学校(山口)	(3)県外	5月22日	87	8	95	特	
	岩国市立由宇中学校(山口)	(3)県外	5月23日	10	0	10	所	班別行動
平生町立平生中学校(山口)	(3)県外	5月23日	59	0	59	所		
周南市立福川中学校(山口)	(3)県外	5月24日	24	1	25	所		

	団体	区域	年月日	人数	引率	小計	目的	対応
2	三輪田学園中学校(東京)	(3)県外	6月6日	46	2	48	所	
	岩国市立麻理布中学校(山口)	(3)県外	7月23日	19	2	21	特・所	
	邑南町立石見中学校(島根)	(3)県外	7月30日	9	2	11	特・所	友の会
	岩国市立岩国中学校(山口)	(3)県外	8月9日	29	4	33	特	
	岩国市立田布施中学校 美術部(山口)	(3)県外	8月19日	34	2	36	特・所・縮	
	岡山市立高松中学校	(3)県外	1月24日	5	0	5	所	
	鶴岡市立鶴岡第二中学校(山形)	(3)県外	2月20日	12	0	12	所	班別行動
3	広島県立広島国泰寺高等学校 定時制	(1)市内	4月20日	13	8	21	特・所	
	安田女子高等学校	(1)市内	11月15日	33	1	34	特	
	ヒューマンキャンパス高等学校	(1)市内	11月26日	38	3	41	特	
	広島総合教育専門学校	(1)市内	12月9日	6	2	8	特・所	
	広島女学院高等学校	(1)市内	1月25日	47	2	49	特・所	
	広島県立宮島工業高等学校	(2)県内	4月26日	36	2	38	所・縮	友の会
	クラーク記念国際高等学校(北海道)	(3)県外	6月24日	20	1	21	特	
4	広島インターナショナルスクール	(1)市内	5月22日	6	1	7	特・所	
	県立広島大学	(1)市内	6月29日	15	3	18	所	
	比治山大学	(1)市内	6月29日	30	0	30	特・所	
	広島インターナショナルスクール	(1)市内	9月18日	12	1	13	特	
	安田女子大学	(1)市内	10月18日	22	0	22	特	
	広島インターナショナルスクール	(1)市内	2月5日	3	1	4	所	
	北広島町教育委員会	(2)県内	10月19日	9	2	11	所	友の会
	尾道市立大学	(2)県内	11月30日	44	0	44	特	
	静岡県立沼津特別支援学校 愛鷹分校	(3)県外	10月24日	4	2	6	所	

※ 利用目的について、「特」は特別展、「所」は所蔵作品展、「縮」は縮景園の利用を表す。



## 7 県民ギャラリー利用状況

平成31年4月1日～令和2年3月31日までの利用状況は、次のとおり。なお、3月7日からの臨時休館に伴う県民ギャラリー利用については、各利用予定者の判断による。(3月7日～新型コロナウイルス感染拡大防止を目的とする利用中止団体は含まない。)

利用団体		延べ開催日数	延べ入場者数
入場有料	8団体	48日	35,941人
入場無料	78団体	468日	68,058人
計	86団体	516日	103,999人

利用団体一覧表

展覧会名	会期	展示室	内 容	出品点数	入場料金	入場者数
第82回 自由美術展	4/1～4/8	1 2 3 4 5	絵画	104点	無料	673人
“公募2019” 第40回記念 関西綜美会展	4/8～4/15	1 2 3 4 5	絵画、彫塑、工芸、書、写真	202点	無料	1,307人
第22回 全陶展 広島支部	4/15～4/22	1	工芸	25点	無料	439人
第51回 黄人展	4/15～4/22	2	絵画、彫塑	34点	無料	807人
第15回 新展国際公募展	4/15～4/22	3	絵画、工芸、写真	74点	無料	716人
書のこころ 太陽社2019年展 変わるもの 変わらないもの	4/15～4/22	4 5	書、他(立体)	66点	無料	1,068人
第29回 グループ宙遊展	4/22～4/29	1	絵画	34点	無料	510人
デンマーク手芸「ダネラ展」	4/22～4/29	2	工芸	41点	無料	320人
2019全日本写真連盟広島県本部展 第79回 国際写真サロン展 第22回 朝日写真サロン中国展 第19回 広島県本部展	4/22～4/29	3 4 5	写真	435点	無料	920人
第6回 麦の会 日本画展	4/29～5/6	1	絵画	35点	無料	810人
第50回 広島県日本画協会展	4/29～5/6	2 3 4 5	絵画	131点	無料	2,081人
第61回 新協展	5/6～5/13	1 2 3 4 5	絵画、工芸	129点	一般 600円 高大生 500円 中学生以下無料	2,422人
第67回 光陽展 広島準本展	5/13～5/20	1 2 3 4 5	絵画	98点	一般 600円 高校生以下無料	1,227人
第58回 大調和会 広島巡回展	5/20～5/27	1 2	絵画	74点	無料	1,295人
第55回 広島形象派展	5/20～5/27	3	絵画	63点	無料	751人
第5回 広島一水会展・第39回 路展	5/20～5/27	4 5	絵画	88点	無料	1,246人
第105回記念 光風会展	5/27～6/3	1 2 3 4 5	絵画、工芸	165点	一般 600円 高大生 500円 中学生以下無料	7,327人
第36回 ARG展	6/3～6/10	1	絵画	46点	無料	462人
第22回 広島県伝統工芸能面展	6/3～6/10	2	工芸	41点	無料	375人
第42回 グループ「集」展	6/3～6/10	3	絵画	41点	無料	902人
守長グループ絵画展	6/3～6/10	4 5	絵画	81点	無料	548人
第48回 MUSABI展	6/10～6/17	1	絵画、工芸	33点	無料	646人
第113回 北翔展	6/10～6/17	2	絵画	45点	無料	672人
児童画連盟展	6/10～6/17	3	絵画、工芸	360点	無料	867人
第54回 広島県写真連盟展	6/10～6/17	4 5	写真	197点	無料	950人
八千代の丘美術館入館作家所蔵作品 展(前期)	7/15～7/22	1 2 3 4 5	絵画、彫塑、工芸、書、写真、 他(刀、現代美術)	118点	無料	1,097人
八千代の丘美術館入館作家所蔵作品 展(後期)	7/22～7/29	1 2 3 4 5	絵画、彫塑、工芸、書、写真、 他(現代美術)	122点	無料	1,311人

展覧会名	会期	展示室	内容	出品点数	入場料金	入場者数
令和元年度 広島県特別支援学校美術・工芸展	7/29～8/5	1 2	絵画、彫塑、工芸、書、写真	606点	無料	718人
第38回 互の会日本画展	7/29～8/5	3	絵画	65点	無料	837人
第8回 新構造広島巡回展	7/29～8/5	4 5	絵画、工芸、写真、他	70点	無料	1,071人
第59回 日本版画会展(広島会場)	8/5～8/12	1 2 3	絵画	107点	無料	1,188人
第35回 一般社団法人 新興美術院 広島支部展	8/5～8/12	4	絵画	22点	無料	543人
第16回 むいち会展	8/5～8/12	5	絵画	39点	無料	511人
心書倶楽部展	8/12～8/19	1 2	書	126点	無料	479人
第31回 クロッキー同好会 人物素描展	8/12～8/19	3	絵画	70点	無料	465人
第54回 グループいしがき展	8/12～8/19	4 5	絵画	85点	無料	636人
第71回 毎日書道展 中国展	8/19～8/26	1 2 3 4 5	書	870点	一般 600円 高校生以下無料	5,951人
第33回 日洋展広島会場	8/26～9/2	1 2 3 4 5	絵画	127点	一般 600円 前売 500円	2,587人
第85回 東光展	9/2～9/9	1 2 3 4 5	絵画	161点	一般 600円 高大生 500円 中学生以下無料	3,517人
第2回 書画公募展 広島筆文化研究会	9/9～9/16	1 2 3 4 5	絵画、書	142点	無料	700人
第31回 アートグループ「滴展」	9/16～9/23	1	絵画	26点	無料	651人
第65回 職美展	9/16～9/23	2 3 4	絵画、彫塑、工芸、書、写真、 他(木版画、織物、インスタレーション)	228点	無料	1,187人
第18回 凜の会展	9/16～9/23	5	絵画	30点	無料	484人
第36回 産経国際書展瀬戸内展	9/23～9/30	1 2 3 4 5	書	368点	無料	839人
第8回 「木絆会」版画展	9/30～10/7	1	絵画	40点	無料	643人
第31回 広島日展会展	9/30～10/7	2 3 4 5	絵画、彫塑、工芸、書	111点	無料	2,039人
第47回 広島彫刻会展	10/7～10/14	1	彫塑	21点	無料	367人
第2回 彩遊会展	10/7～10/14	2	絵画	27点	無料	749人
第26回 ROSE野ばら会作品展	10/7～10/14	3 4	絵画	93点	無料	760人
比治山大学短期大学部美術専攻科展	10/7～10/14	5	絵画、彫塑、工芸、他(イラスト、 漫画、映像、雑貨)	77点	無料	432人
第32回 NOA写真展	10/14～10/21	1	写真	56点	無料	593人
全日本写真連盟広島県本部 フォトプラス支部 第5回写真展	10/14～10/21	2	写真、挨拶	64点	無料	575人
藤岡博司写真展「記憶のなかに」	10/14～10/21	3	写真、挨拶	89点	無料	616人
広島YMCA学園 2019生徒作品展 「芸大美大受験科」「美術教室」	10/14～10/21	4 5	絵画、他(立体)	628点	無料	618人
日本風景写真協会広島第2支部 第1回展	10/21～10/28	1	写真	32点	無料	1,200人
二科会写真部 広島支部 第41回公募展	10/21～10/28	2 3 4 5	写真	385点	無料	2,083人
あいサポート アート展	10/28～11/4	1 2 3 4 5	絵画、工芸、書、他(立体造形、 陶芸、版画)	385点	無料	1,445人
第43回 広島県高等学校総合文化祭 第51回 広島県高等学校総合文化祭 書道展	11/4～11/11	1 2 3 4 5	書	275点	無料	842人
第43回 広島県高等学校総合文化祭 第51回 広島県高等学校美術・工芸 展(中央展)	11/11～11/18	1 2 3 4 5	絵画、彫塑、工芸、他(デザイン、 デザイン立体)	520点	無料	901人
第28回(2019年) ぐるーぶNAN作品展	11/18～11/25	1	絵画	49点	無料	559人
第50回記念 元陽展 広島会場	11/18～11/25	2 3 4	絵画	31点	無料	2,943人
第49回 渦展	11/18～11/25	5	絵画	31点	無料	564人
キャノンフォトクラブ広島 第8回写真展	11/25～12/2	1	写真、挨拶	52点	無料	516人

展 覧 会 名	会 期	展 示 室	内 容	出品点数	入場料金	入場者数
京都造形芸術大学 第15回歩展	11/25~12/2	2	絵画、彫塑	24点	無料	476人
第63回 三師会展	11/25~12/2	3	絵画	50点	無料	406人
越川道江 個展	11/25~12/2	4	絵画	28点	無料	445人
第16回 フォルマーレ展	11/25~12/2	5	絵画	31点	無料	499人
第72回広島県児童生徒書道展	12/2~12/9	1 2 3 4 5	書	2,968点	無料	4,142人
比治山大学短期大学部美術科 第52回卒業制作展 第18回修了制作展	1/6~1/13	1 2 3 4 5	絵画、工芸、他(映像、マンガ、グラフィック)	132点	無料	604人
第104回 二科展(第64回 広島巡回展)	1/13~1/20	1 2 3 4 5	絵画、彫塑、写真、他(デザイン)	584点	一般 600円 前売 400円 高校生以下無料	7,259人
第28回 広島県シルバー作品展	1/20~1/27	1 2 3 4 5	絵画、彫塑、工芸、書、写真	275点	無料	2,038人
第73回 二紀展	1/27~2/3	1 2 3 4 5	絵画、彫塑	136点	一般 600円 大学生以下無料 手帳・介助者無料	5,651人
第51回 安田女子大学書道学科卒業 制作展(併催)安田女子大学書道学科 展1・2・3年/安田学園小・中・ 高等学校書道展	2/3~2/10	1 2 3 4 5	書	476点	無料	1,080人
平成31/令和元年度 広島県立熊野 高等学校 芸術類型 美術コース・書道コース 卒業作品展	2/10~2/17	1 2	絵画、工芸、書、他(パネル)	79点	無料	1,528人
YYS 3人展	2/10~2/17	3	絵画	45点	無料	792人
新協美術会 広島グループ展	2/10~2/17	5	絵画、工芸	26点	無料	839人
第43回 広島県工芸美術作家協会展	2/17~2/24	1	工芸	34点	無料	482人
第58回 広島大学大学院教育学研究 科造形芸術教育学専修・教育学部造 形芸術系コース 修了・卒業制作展 /論文発表会	2/17~2/24	2 3	絵画、彫塑、工芸、他(デザイン、 映像、卒業論文等)	40点	無料	733人
ニッコールクラブ広島支部 第3回 写真展	2/17~2/24	4	写真	45点	無料	604人
酒井一彦 個展 「記憶 2020」	2/17~2/24	5	絵画	18点	無料	529人
第68回 書の友全国書道展覧会	2/24~3/2	1 2 3 4 5	書	2,832点	無料	1,327人
むねの正俊 写真作品展	3/2~3/9	1	写真	36点	無料	133人
宮本佳子 絵画展	3/2~3/9	2	絵画	33点	無料	864人
第48回 合同美術展	3/2~3/9	3 4	絵画、工芸、書、写真、他(つ まみ絵)	102点	無料	464人
2019 Petals 美術展	3/2~3/9	5	絵画	75点	無料	357人
西尾 裕展	3/16~3/23	2	絵画	33点	無料	189人

## 8 友の会事業報告

「すぐれた美術作品に接し、それを鑑賞する楽しさを分かち合いながら、自分自身を高めてゆく」ことを目的に昭和47年1月21日に発足した。平成3年から平成8年までの新館工事中は会自体が休止状態にあったが、リニューアルオープンを機に友の会もボランティアで運営する新しい組織となり、会員相互の親睦と美術館の事業にも協力・支援することを目的として、平成9年4月1日付けで再出発した。

会員数 738人(個人523人 家族196人 学生7人 賛助11人 特別賛助1人)

### (1) 会報の発行

- ・発行 87号、88号、89号、90号
- ・配布先 会員、美術館他



『色絵馬』No.87



『色絵馬』No.88



『色絵馬』No.89



『色絵馬』No.90

### (2) 美術情報及び友の会ニュースの発行

- ・美術情報 116号、117号、118号、119号
- ・友の会ニュース 163号～169号

### (3) 所蔵作品展のボランティアによるギャラリーガイド

- ・定時 火曜日～金曜日は毎日 14時から実施  
土曜日、日曜日、祝日 11時及び14時から実施  
特別展開催中の月曜日開館時は、14時から実施
  - ・臨時 団体申し込み及び美術館の要請により随時実施
  - ・ギャラリーガイド実績(平成31年4月1日～令和2年2月27日)
    - 定時 726名(ガイド延べ人員395名)  
(親子ギャラリートーク 11名(ガイド延べ人員4名)を含む)
    - 団体 4件(鑑賞者62名、ガイド人員5名)
    - 職場体験 1件(広島県立広島中学校3名、ガイド人員1名)
- ※令和2年2月28日～3月31日は、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて中止した。

### (4) ボランティア・ギャラリーガイド研修

#### ◆所蔵作品展研修(美術館共催)

令和元年6月8日(土) 22名、8月3日(土) 21名、12月7日(土) 22名  
(令和2年3月7日(土)新型コロナウイルスの感染拡大を受け中止・資料配布)

#### ◆研修

◇「藤本能道の色絵磁器・釉描加彩」、「磯井正美のわざ・蒔醬の美」

日 時：令和元年6月8日(土)

参加者：22名

実施方法：DVD鑑賞(ポーラ伝統文化振興財団から借用)

◇有田・柿右衛門窯等研修

日 時：令和元年9月21日(土)

参加者：6名

研修施設：泉山磁石場、陶山神社、今右衛門古陶磁美術館、有田ポーセリンパークツヴィンガー宮  
殿アートギャラリー、柿右衛門古陶磁参考館、井上萬二陶磁美術館、佐賀県立陶磁文化館

(5) 第66回日本伝統工芸展広島展こども鑑賞コース「木工出張授業」の支援

日 時：令和2年1月23日(木)

講 師：小林 松斎(木工作家)

支援ボランティア：4名

受講者：80名(広島市立幟町小学校5年生)

(6) 特別展関連講演会(美術館共催)

◆平成31年4月20日(土)「挑む浮世絵 国芳から芳年へ」展

演 題：「国芳と芳年の『快感』」

講 師：神谷 浩(元名古屋市博物館副館長)

参加者：109名

◆令和元年7月20日(土)「追悼水木しげる ゲゲゲの人生展」

演 題：「水木先生の贈りもの」

講 師：庄司 行男(水木しげる記念館館長)

参加者：65名

◆令和元年9月22日(日)「入城400年記念 広島浅野家の至宝—よみがえる大名文化—」展

演 題：「浅野家伝来の宋元絵画」

講 師：板倉 聖哲(東京大学東洋文化研究所教授)

参加者：123名

◆令和2年1月12日(日)「印象派への旅 海運王の夢 バレル・コレクション」展

演 題： 記念シンポジウム「印象派をめぐる都市の夢 グラスゴー、パリ、ハーグ」

パネリスト：古谷 可由(ひろしま美術館学芸部長)

川口 佳子(長崎県美術館学芸員)

山下 寿水(広島県立美術館学芸員)

参加者：102名

◆令和2年2月16日(日)「第66回日本伝統工芸展」

演 題：「伝統工芸とは何か—作家の誕生と最前線」

講 師：外館 和子(多摩美術大学教授)

参加者：92名

(7) 「もっと知ろうシリーズ」(美術館共催)

◆第51回 令和元年5月21日(火)

演 題：「挑む浮世絵 国芳から芳年へ」展ギャラリートーク

講 師：角田 新(広島県立美術館主任学芸員)

参加者：38名

◆第52回 令和元年6月29日(土)

演 題：「版画の技法 イロイロ」



講師：釣谷 幸輝(広島市立大学芸術学部准教授)

参加者：40名

(8) 美術鑑賞の旅

◆お散歩美術鑑賞会

◇泉美術館「画家の愛した動物たち」

令和元年6月1日(土)

ギャラリートーク：鶴田 茜(泉美術館学芸員)

参加者：37名

◇呉市立美術館「クレパス画名作展」

令和元年7月28日(日)

ギャラリートーク：豊田 芳春(呉市立美術館学芸員)

参加者：13名

◆日帰り美術鑑賞旅行

◇岡山県立美術館「国立トレチャコフ美術館所蔵 ロマンティック・ロシア」

大原美術館、有隣荘

・1班 令和元年6月7日(金) 参加者：32名

・2班 令和元年6月9日(日) 参加者：29名

◇島根県立美術館「黄昏の絵画たち 近代絵画に描かれた夕日・夕景」

日本妖怪博物館「華麗妖美なる妖怪絵巻の世界」

令和元年9月30日(月) 参加者：31名

◆宿泊美術鑑賞旅行

◇「名古屋城本丸御殿と名画をめぐる旅」 1泊2日

令和元年5月22日(水)～23日(木)

参加者：29名

訪問美術館等：名古屋城本丸御殿、徳川美術館、名古屋市美術館、愛知県美術館、桑山美術館

◇「珠玉の美術企画展とクラシックライブコンサート 横浜・東京」 2泊3日

令和元年11月6日(水)～11月8日(金)

参加者：30名

訪問美術館等：横浜美術館、国立西洋美術館、上野の森美術館、パナソニック汐留ミュージアム、氷川丸、音楽ピアプラザライオン

(9) 広島県立美術館創立50周年記念事業

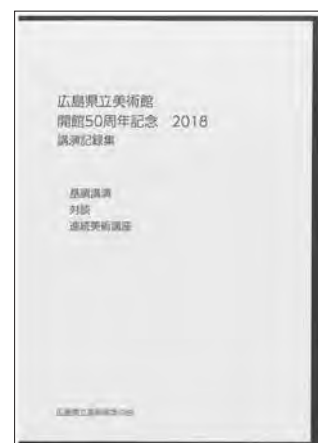
・『広島県立美術館 開館50周年記念 2018 講演記録集』発行(A5版、100ページ)

・会員に発送(令和元年7月)

(10) ボランティアグループ活動記録

グループ名	登録人数	活動日数	活動延べ人数
総務グループ	21人	112日	528人
企画グループ	16人	9日	104人
編集グループ	12人	171日	231人
サポートグループ	54人	6日	191人
資料整理グループ	6人	46日	91人

\*ギャラリーガイドグループについては、項目(3)に記載



# IV 事業実施状況

平成31年4月1日～令和2年3月31日まで(2月28日～新型コロナウイルス感染拡大防止を目的とする実施中止事業を含む。)

事業名	事業内容	実施期間
展覧会 155,873名		
特別展 102,822名	県民に多様な美術作品の鑑賞機会を提供し本県の芸術文化の向上に資するため、特別展を開催した。	
(15,626名)	「挑む浮世絵 国芳から芳年へ」	4月13日～5月26日
(5,905名)	【広島県主催事業】「第7回新県美展(第71回広島県美術展)」	6月22日～7月7日
(28,947名)	「追悼水木しげる ゲゲゲの人生展」	7月13日～8月25日
(16,751名)	「入城400年記念 広島浅野家の至宝 よみがえる大名文化」	9月10日～10月20日
(21,822名)	「印象派への旅 海運王の夢 バレレ・コレクション」	11月2日～1月26日
(4,578名)	【広島県主催事業】「第8回広島県ジュニア美術展」	12月14日～12月22日
(9,193名)	「第66回日本伝統工芸展」	2月13日～3月1日
所蔵作品展 53,051名	広島県ゆかりの美術、日本とアジアの工芸、1920～30年代の美術を主要テーマとする所蔵作品を中心に、県民の鑑賞に供した。	常時 3月7日～臨時休館
教育普及	特別展、所蔵作品展等に応じた学習機会を提供することにより、県民の美術作品に対する関心を高め、理解を深めた。	
一般		
美術講演会 609名		
(109名)	「国芳と芳年の快感」 講師：神谷 浩(元名古屋市博物館副館長)	4月20日
(65名)	「水木先生の贈りもの」 講師：庄司 行男(水木しげる記念館館長)	7月20日
(123名)	「浅野家伝来の宋元絵画」 講師：板倉 聖哲(東京大学東洋文化研究所教授)	9月22日
(112名)	「バレレ・コレクションにおけるレアリズムと印象派—フランス近代美術のコレクターをめぐる—」 講師代理：山下 寿水(当館学芸員)	11月10日
(102名)	(シンポジウム) 「印象派をめぐる都市の夢 グラスゴー、パリ、ハーグ」 パネリスト：古谷 可由(ひろしま美術館学芸部長)、川口 佳子(長崎県美術館学芸員)、山下 寿水(当館学芸員)	1月12日
(92名)	「伝統工芸とは何か—作家の誕生と最前線—」 講師：外館 和子(多摩美術大学教授)	2月16日
ギャラリートーク	特別展等について、展覧会場で作品に接しながら、分かりやすく作品解説をした。	
216名	国芳から芳年へ展	
(20名)	担当：角田 新(当館主任学芸員)	4月19日(11:00～)
(8名)		(18:00～)
(35名)		4月26日(11:00～)
(8名)		(18:00～)
(35名)		5月10日(11:00～)
(20名)		(18:00～)
(50名)		5月24日(11:00～)
(40名)		(18:00～)
152名	浅野家の至宝展	
(21名)	担当：隅川 明宏(当館学芸員)	9月13日(18:00～)
(42名)		9月20日(11:00～)
(14名)		9月27日(18:00～)
(42名)		10月4日(11:00～)
(33名)		10月11日(18:00～)

事業名	事業内容	実施期間
279名 (29名) (9名) (30名) (9名) (20名) (9名) (17名) (8名) (17名) (22名) (19名) (25名) (23名) (42名)	バレルコレクション展 担当：山下 寿水、森 万由子(当館学芸員)	11月15日(11:00～) (18:00～) 11月29日(11:00～) (18:00～) 12月6日(11:00～) (18:00～) 12月20日(11:00～) (18:00～) 1月10日(11:00～) (18:00～) 1月24日(11:00～) (18:00～) 1月25日(11:00～) 1月26日(11:00～)
422名 (60名) (15名) (46名) (70名) (35名) (46名) (80名) (70名) (中止) (中止) (中止)	日本伝統工芸展 担当：隠崎 隆一(陶芸作家) 担当：岡地 智子(当館学芸員) 担当：粟根 仁志(七宝作家) 担当：平 恵子(染織作家) 担当：岡地 智子(当館学芸員) 担当：小林 松斎(木工作家) 担当：木村 芳郎(陶芸作家) 担当：新谷 ひとみ(漆芸作家) 担当：岡地 智子(当館学芸員) 担当：今田 拓志(陶芸作家) 担当：金城 一国斎(漆芸作家)	2月13日(11:00～) 2月14日(11:00～) 2月15日(11:00～) 2月16日(11:00～) 2月21日(11:00～) 2月22日(11:00～) (13:30～) 2月23日(11:00～) 2月28日(11:00～) 2月29日(11:00～) 3月1日(11:00～)
99名	新県美展 書系：増田 知之(安田女子大学准教授) 映像系：時川 英之(Time River Pictures株式会社代表取締役) 絵画系：吉井 章(広島市立大学名誉教授) 絵画系：古谷 可由(ひろしま美術館学芸部長) 彫塑系：前川 義春(広島市立大学教授)	6月22日(12:00～)
140名 (45名) (35名) (60名) (中止)	所蔵作品展 担当：藤崎 綾、神内 有理(当館主任学芸員)、岡地 智子、森 万由子(当館学芸員) 担当：藤崎 綾、神内 有理(当館主任学芸員)、岡地 智子、森 万由子(当館学芸員) 担当：角田 新、藤崎 綾(当館主任学芸員) 担当：今井 政之(文化勲章受章者/陶芸作家)	4月26日(15:00～) 11月22日(15:00～) 2月23日(15:00～) 3月7日(13:00～)
美術講座 171名	所蔵作品展及び開催中の特別展等に関連したテーマのもと、学芸員を講師として開催した。	
(70名)	「広島浅野家の至宝—よみがえる大名文化—」 講師：隅川 明宏(当館学芸員)	10月6日(13:30～)
(48名)	「夢のコレクション—オランダ、スコットランドの画家たち」 講師：山下 寿水(当館学芸員)	12月21日(13:30～)
(53名)	「フランス近代絵画の旅—コローからセザンヌへ」 講師：森 万由子(当館学芸員)	1月11日(13:30～)
(中止)	「バウハウス100年の足跡—ワイマールから Dessau へ」 講師：山下 寿水(当館学芸員)	2月28日(15:00～)

事業名	事業内容	実施期間
ワークショップ	所蔵作品展及び開催中の特別展に関連したワークショップを開催した。	
97名		
36名 (18名) (18名)	国芳から芳年へ展 「紙で版画をつくってみよう」 講師：角田 新(当館主任学芸員)	4月29日(13:30～) 5月3日(13:30～)
7名 (7名)	日本伝統工芸展 「学芸員の仕事に挑戦しよう！」 講師：福田 浩子(当館学芸課長)、岡地 智子(当館学芸員)	1月13日(13:00～) 2月24日(13:00～)
54名	所蔵作品展 「広島大学教育学部・研究科連携 お化け祭りによろこそ！」 講師：大学生・大学院生(広島大学) 講師：大学生・大学院生(広島大学) 「対話型鑑賞会」	8月4日 (10:00～) (13:00～)
(3名)	担当：岡地 智子、森 万由子(当館学芸員)	8月10日(13:30～)
(13名)	担当：岡地 智子、森 万由子(当館学芸員)	8月17日(13:30～)
(11名)	担当：岡地 智子、森 万由子(当館学芸員)	11月16日(15:00～)
(15名)	担当：岡地 智子、森 万由子(当館学芸員)	1月25日(15:00～)
(中止)	担当：岡地 智子、森 万由子(当館学芸員)	3月14日(15:00～)
各種イベント	開催中の特別展にちなんだイベントを開催した。	
180名 (180名)	国芳から芳年へ展 「広テレ落語会 怪談厳選」 出演：森 拓磨(広島テレビアナウンサー)、澤村 優輝(広島テレビアナウンサー)、塚原 美緒(広島テレビ気象予報士)	5月11日(13:30～)
644名 274名 (75名) (66名) (77名) (56名)	ゲゲゲの人生展 「水木しげる絵本の読み語りと紙芝居」 出演：広島ホームテレビアナウンサー	7月27日(11:30～) (14:30～) 8月3日(11:30～) (14:30～)
370名 (90名) (72名) (56名) (68名) (54名) (30名)	「鬼太郎・ねこ娘・ねずみ男との記念撮影会」	8月8日(11:00～) (13:30～) (15:00～) 8月9日(11:00～) (13:30～) (15:00～)
42名 (42名) (中止)	日本伝統工芸展 「出品作家による制作実演」 講師：栗根 仁志(七宝作家) 講師：今田 拓志(陶芸作家)	2月15日(13:30～) 2月29日(13:30～)
コンサート	開催中の特別展に関連したコンサートや木管楽器や弦楽器などの演奏会を1階メインロビー等で開催することにより、来館者に美術鑑賞と一体となった憩いのひとときを提供した。	
1,960名		
110名 (110名)	国芳から芳年へ展 「挑む音色、三味線とピアノで奏でる浮世絵の世界」 演奏：川東 陽華(長唄三味線)、山下 雅靖(ピアノ)	4月28日(12:00～)
400名 (190名)	ゲゲゲの人生展 「にほんのうた ロビーコンサート」 出演：東京オペラシンガーズ	7月14日(12:00～)

事業名	事業内容	実施期間
(130名)	「ひゅ〜どろどろオカリナロビーコンサート」 演奏(オカリナ奏者): デューオ(野口 美紀& Terako)	7月28日(12:00~)
(80名)	「ロビーコンサート」 演奏: 広島文化学園大学(ピアノ、サクソフォン)	8月25日(12:00~)
200名	広島浅野家の至宝展	
(200名)	「寿ぎの能楽-祝いの話と舞のひとつとき」 出演: 大島 衣恵(喜多流能楽師)	10月13日(13:30~)
240名	バレル・コレクション展	
(90名)	「ロビーコンサート」 演奏: 広島文化学園大学(オーボエ、ピアノ)	11月16日(12:00~)
(150名)	「音で巡る印象派」 演奏: 木村 紗綾(ヴァイオリン)、大崎 由貴(ピアノ伴奏)	12月22日(12:00~)
300名	もみじロビーコンサート	11月23日(16:00~)
(300名)	演奏: 姜 暁艶(二胡)、倉田 香織(ピアノ伴奏)	
430名	大植英次プロデュース「威風堂々クラシックin Hiroshima」	
(430名)	演奏: 保屋野 美和、尾崎 有飛、大植 英次(ピアノ) 木村 紗綾(ヴァイオリン)	12月1日(12:15~)
280名	日本伝統工芸展	
(280名)	「ロビーコンサート」 演奏: 森本 ケンタ(ギタリスト)	2月23日(12:00~)
ハイビジョンブース	当館制作のハイビジョン番組(22番組)の視聴	機器調整対応(中止)
デジタルミュージアム	当館の案内や所蔵作品の検索、世界の美術館の情報などを検索	常時
美術館ホームページ運用	当館のホームページで、当館の情報を自由に検索 <a href="http://www.hpam.jp/">http://www.hpam.jp/</a>	常時
児童・生徒		
親子ギャラリートーク	子どもたちが保護者と共に美術作品に親しめるよう、小学5、6年生相当を主な対象とし、友の会ギャラリーガイドが所蔵作品展示をわかりやすく解説した。	毎月第4土曜日 (11:00~)
ワークシートの作成	所蔵作品を鑑賞する児童・生徒に対し、学習補助教材として主要作品のワークシートを提供した。(現在333種)	
日本伝統工芸展出張授業	希望校に日本工芸会正会員等が出向いて授業を行うことで、児童の制作の現場に接する機会を提供し、伝統工芸への理解を促進した。	
(29名)	府中市立粟生小学校 講師: 平 恵子(染織)	11月8日
(38名)	広島市立基町小学校 講師: 金城 一国斎(漆芸)	1月10日
(80名)	広島市立職町小学校 講師: 小林 松斎(木工)	1月23日
(38名)	東広島市立河内小学校 講師: 田代 昭夫(漆芸)	1月27日
手で見る展覧会	縮景園の「梅実収穫行事」に併せ、特別支援学校(視覚障害)の児童・生徒が作品に直接触れて美術を鑑賞する機会を提供した。	5月23日
各種リーフレット作成	施設案内、年間スケジュール等の美術館の活動について、広く県民へ告知した。	
友の会ギャラリーガイド	県立美術館友の会のボランティアのギャラリーガイドにより所蔵作品展の解説をした。	
726名	一般向け	火~金曜日(14:00~) 土・日・祝日(11:00~)
62名	団体向け	
展示施設等貸出	展示施設等(県民ギャラリー・講堂)を貸出することにより、生涯学習の発表の場及び機会を提供し、県民の創作活動を支援した。	
103,999名	県民ギャラリー 利用団体数 86団体、利用日数 516延日 講堂(県民ギャラリー全室利用に併せ、展示室として利用)	常時
10,714名	講堂 利用団体数 122団体、利用日数 136延日	常時



## V 業務一覧

広島県立美術館学芸員が平成31・令和元年度に行なった業務を報告する。内容は、1 美術館内での業務等(館主体事業)、2 美術館外での業務等(他からの招聘等)、3 調査研究活動、4 社会貢献活動等、に分類・配列し、記載している。学芸課職員の構成及び担当分野は次のとおり。

福田 浩子(学芸課長、工芸)	角田 新(主任学芸員、日本洋画)
藤崎 綾(主任学芸員、日本洋画)	神内 有理(主任学芸員、日本画)
山下 寿水(学芸員、西洋美術)	隅川 明宏(学芸員、日本画)
岡地 智子(学芸員、工芸)	森 万由子(学芸員、西洋美術)

### ■ 福田 浩子

#### 1 美術館内での業務等

##### 【展覧会】

- ・特別展「挑む浮世絵 国芳から芳年へ」「追悼水木しげる ゲゲゲの人生展」「入城400年記念 広島浅野家の至宝 一よみがえる大名文化」「印象派への旅 海運王の夢 バレル・コレクション」(事務局長)、「第66回日本伝統工芸展」(事務局員)
- ・所蔵作品展「1期」(彫刻展示スペース、4室)、「2期」(4室)、「3期」(4室)、「4期」(彫刻展示スペース)

##### 【教育支援(教育普及)】

- ・特別展「日本伝統工芸展」子ども鑑賞コース出張授業補助(11/8府中市立栗生小学校)
- ・「子どもワークショップ「学芸員の仕事に挑戦しよう！」(1/13、2/24)
- ・博物館実習「美術館と学芸活動」(8/19)
- ・職場体験対応(10/7広島県立広島中学校)
- ・美術館概要説明(10/11都道府県立美術館副館長等会議)
- ・「臨時休館中の広島県立美術館プレゼンツ エア美術館」SNS発信用動画20本、撮影・編集(3/12~3/31(~5/11)分)

##### 【研修・自己啓発】

- ・広島県 課内資料取扱研修(7/25)
- ・「イクボス研修(8/26)
- ・広島県美術館ネットワーク 研修会(7/25)

#### 2 美術館外での業務等

##### 【館外での発表など】

- ・「広島県立美術館のアジア染織コレクション~インド、インドネシア、中央アジアを中心に」発表、民族藝術学会、広島県立美術館講堂(7/13)
- ・「広島・京都文化フォーラム第1部 芸術 今井家3代」進行役、中国新聞・京都新聞主催、中国新聞ホール(10/12)
- ・研究報告発表「広島県立美術館蔵中央アジアコレクションの全容~長い旅の末にたどり着いた染織とジュエリー」『シルクロードにおけるウズベキスタンと日本 国際学会』、ウズベキスタン政府・ウズベキスタン共和国芸術アカデミー、帝国ホテル東京(12/16)

#### 3 調査研究活動

##### 【館内外での調査・研究】

- ・作品調査(染織5/20、10/16、11/15、12/2)、(陶磁8/29、9/17、9/18)、(漆工5/16)

- ・作家調査（4／18、5／17-19、6／22、6／28、9／23）
- ・中央アジア工芸自費調査（11／17-28、12／29-1／5）
- ・2019年度三島海雲記念財団第57回学術研究奨励金（研究助成）

#### 【館内における執筆・発表等】

- ・「中央アジアのカード織りについて（1）—広島県立美術館所蔵トルクメンの刺繍袋およびウズベキスタン現地調査による—」『広島県立美術館研究紀要』第22号、平成31年3月（平成30年度年報に掲載漏れ）
- ・『広島県立美術館 所蔵作品ミニガイド⑨ 今井政之 瀬戸内を原風景に』、令和2年1月
- ・「個性ある美術館コレクション—日本とアジアの工芸—」『広島県立美術館開館50周年記念 2018講演記録集』、広島県立美術館友の会、平成31年4月
- ・『入城400年記念 広島浅野家の至宝 —よみがえる大名文化—』（編集補助）

#### 【館外における執筆・発表等】

- ・Monden Yuichi、Tai Modern、Santa Fe、USA、2019年8月
- ・『文化勲章受章記念 陶芸の巨匠 今井政之展図録』、令和元年9月
- ・「藍地葉文更紗をめぐって」『広島県立美術館友の会会報』第89号、令和元年10月
- ・「心ときめく異国の色・文様 浅野箱とインド更紗」『中国新聞』10月11日
- ・ХИРОСИМА ПРЕФЕКТУРАЛ САНЪАТ МУЗЕЙИ ТЎПЛАМИДАГИ ЎЗБЕКИСТОНГА ОИД ЭТНОГРАФИК АШЁЛАР、ETHNOGRAPHIC MATERIAL FROM UZBEKISTAN IN THE COLLECTION OF THE HIROSHIMA PREFECTURAL ART MUSEUM、ЭТНОГРАФИЧЕСКИЙ МАТЕРИАЛ ИЗ УЗБЕКИСТАНА В КОЛЛЕКЦИИ ХИРОСИМСКОГО ПРЕФЕКТУРАЛЬНОГО МУЗЕЯ ИСКУССТВ、Ф.Ф. Абдухолиқов、Э.В. Ртвеладзе、Сергей Лаптев、Киносита Ватару、Ёнэда Юсукэ、Сасаки Тацуо、Инагаки Хадзимэ、Такэда Тамако、Иваи Сямпэй、Ёсинобу Тацуми、Сикаку Рюдзи、Фукуда-Сиддики Хироко、《Марказий Осиё маданий мероси Япония музейларида（日本の博物館が所蔵する中央アジア文化遺産）》 китоб-альбоми、《East Star Media》МЧЖ、《Darakchi inform servis》МЧЖ буюртмасига кўра、Тошкент、2019. – 544р.+DVD
- ・「所蔵作品紹介 木村芳郎」『広島県立美術館友の会会報』第90号、令和2年1月
- ・「第66回日本伝統工芸展 県内入選作品解説記事③ 金城一国斎」『朝日新聞』2月16日
- ・「第66回日本伝統工芸展 県内入選作品解説記事⑤ 平恵子」『朝日新聞』2月18日
- ・「学芸員の仕事と美術館」『広島県立美術館 学校のための美術館活用マニュアル』広島大学大学院教育学研究科・広島県立美術館、令和2年3月

#### 4 社会貢献活動・所属学会等

- ・ケンシン地域振興財団 令和元年度県民文化奨励賞（推薦）
- ・広島県環境保健協会 令和元年度環境啓発ポスター・標語コンクール（審査委員）
- ・（一社）広島県建築士事務所協会 第10回ひろしま建築文化賞（審査委員）
- ・日本中央アジア学会、漆工史学会、全国美術館会議情報・資料研究部会（以上、会員）

## ■ 角田 新

### 1 美術館内での業務等

#### 【担当展覧会】

- ・特別展「挑む浮世絵 国芳から芳年へ」（主担当）
- ・特別展「第66回日本伝統工芸展」（副担当）
- ・特別展「藤子不二雄④展」（次年度・主担当）
- ・特別展「日本伝統工芸展」（次年度・副担当）
- ・所蔵作品展「2期」（2室）、「3期」（彫刻展示スペース・2室）、「4期」（3室）

#### 【教育支援(教育普及)】

- ・特別展「日本伝統工芸展」子ども鑑賞コース出張授業補助（11／8府中市立栗生小学校）



島『EASTじゃけん』、8/2RCCラジオ『おひる一な』)

- ・所蔵作品展（『広島県立美術館友の会会報』第87号、『ふれあい（中国化薬株式会社）』秋号、『広島県立美術館友の会会報』第90号）

#### 【研修・自己啓発】

- ・全国美術館会議地域美術研究部会（5/23第10回部会、12/11・12/12第11回部会出席、12/20幹事会出席。報告文執筆：部会報告『ZENBI』17号）

## 2 美術館外での業務等

- ・出張講座「絵画の探検—楽しみ方のヒント—」（11/16リワークセンター大手町）
- ・講座「広島県立美術館の教育普及活動」『広島大学教育学研究科・学習方法開発特講』（2/5）
- ・第34回中国五県造形教育研究大会・第58回広島県造形教育研究大会 公開授業・協議会ゲストティーチャー（11/2広島市立春日野小学校）

## 3 調査研究活動

#### 【館内外での調査・研究】

- ・地域美術研究・作品調査：鬘光（5/18・6/3・11/30・1/29）、南薫造（9/20・11/8・12/10・12/17・1/6・1/7）、入野忠芳（10/18・10/27・12/18）、岡部繁夫（11/29）、田中万吉・野村守夫ほか（2/5）

#### 【館内における執筆・発表等】

- ・「広島市域の近代洋画史概観」『広島県立美術館開館50周年記念 2018講演記録集』、広島県立美術館友の会、平成31年4月
- ・『広島県立美術館 所蔵作品ミニガイド① 入野忠芳 崩壊と生成を見つめて』、令和2年1月
- ・（作家・作品解説）『広島県立美術館 学校のための美術館活用マニュアル』、広島大学大学院教育学研究科・広島県立美術館、令和2年3月

## 4 社会貢献活動・所属学会等

- ・公益社団法人青少年育成広島県民会議（図画審査員）
- ・全国美術館会議地域美術研究部会（会員）

## ■ 神内 有理

### 1 美術館内での業務等

#### 【担当展覧会】

- ・特別展「挑む浮世絵！国芳から芳年へ」（副担当）
- ・ ♪ 「入城400年記念 広島浅野家の至宝—よみがえる大名文化」（副担当）
- ・ ♪ 「第7回ジュニア美術展」（主担当）
- ・ ♪ 「生誕135年記念 川端龍子展」（次年度・主担当）
- ・所蔵作品展「1期」（3室）、「2期」（3室）、「3期」（3室）

#### 【教育支援(教育普及)】

- ・所蔵作品展「1期」リレートーク（4/26）
- ・ ♪ 友の会ギャラリーガイドレクチャー（6/8、8/3）

#### 【広報活動】

- ・所蔵作品展テレビ・ラジオ対応（5/24広島テレビ『知っとる』、11/9・16広島ホームテレビ「課外授業」『ひろしま深掘りライブ フロントドア』、10/26RCCラジオ「わくわく美術館」）

#### 【研修・自己啓発】

- ・日本博物館協会中国支部総会・視察（5/30）

## 2 美術館外での業務等

- ・新居浜市美術館「平山郁夫 シルクロードコレクション展」への平山郁夫《広島生変図》展示立会（4/23、6/19-20）

## 3 調査研究活動

### 【館内外での調査・研究】

- ・「川端龍子展」（次年度）に関する調査：6/15、9/13、11/29（大田区立龍子記念館）
- ・その他の調査：9/14（画廊・大学）

### 【館内出版物への執筆】

- ・「広島県立美術館の50年」『広島県立美術館開館50周年記念 2018講演記録集』、広島県立美術館友の会、平成31年4月
- ・「浅野家の私設美術館―「観古館」について」（『入城400年記念 広島浅野家の至宝』、令和元年9月）
- ・「所蔵作品紹介 奥田元宋」『広島県立美術館友の会会報』第89号、令和元年10月

## 4 社会貢献活動等

- ・京都国立近代美術館美術作品購入等評価委員会（委員）
- ・京都造形芸術大学通信教育部非常勤講師（博物館生涯学習概論担当）
- ・京都国立近代美術館紺綬褒章資格評価

## ■ 山下 寿水

---

### 1 美術館内での業務

#### 【担当展覧会】

- ・特別展「第7回新県美展（第71回広島県美術展）」（副担当）
- ・ 〃 「追悼水木しげる ゲゲゲの人生展」（副担当）
- ・ 〃 「印象派への旅 海運王の夢 バレル・コレクション」（主担当）
- ・ 〃 「建国300年 ヨーロッパの宝石箱 リヒテンシュタイン侯爵家の至宝展」（次年度・主担当）
- ・所蔵作品展「2期」（1室）、「4期」（1室）

#### 【教育支援(教育普及)】

- ・特別展「バレル展」ギャラリートーク（11/15、12/6、1/10、24、26）
- ・ 〃 団体解説（11/12、12/7、1/8）
- ・ 〃 記念講演会（代理）（11/10）
- ・ 〃 美術講座（12/21）
- ・ 〃 シンポジウム基調講演「海運王ウィリアム・バレルと画商アレクサンダー・リード」（1/12）
- ・所蔵作品展「1期」リレートーク（4/26）
- ・ 〃 友の会ギャラリーガイドレクチャー（6/9、12/7）

#### 【広報活動】

- ・特別展「バレル展」テレビ・ラジオ出演（10/17、10/28、11/2、11/14、11/15、11/26、12/9）
- ・ 〃 新聞・雑誌寄稿（『中国新聞』11/23付、『毎日新聞』11/29付、12/6付、12/14付、『月刊 経済春秋』11月号、『広島県立美術館友の会会報』第89号、『広島交響楽団第394回プレミアム定期演奏会プログラム』）

### 2 美術館外での業務等

#### 【講座・講演・シンポジウム等】

- ・特別展「バレル展」関連講座（11/21中国新聞文化センター 基町クレド、1/8中国新聞レディースクラブ 広島県立美術館、1/13エディオン葛屋家電）
- ・「バウハウス100年映画祭アフタートーク」（3/15横川シネマ）





#### 【館内における執筆・発表等】

- ・「広島絵画と京・江戸」『広島県立美術館開館50周年記念 2018講演記録集』、広島県立美術館友の会、平成31年4月
- ・『入城400年記念 広島浅野家の至宝－よみがえる大名文化－』、令和元年9月

#### 【館外における執筆・発表等】

- ・「広島に息づく近世の名品 第24回 住吉広定《江戸霞ヶ関上屋敷障壁画下絵》－將軍姫君の権勢を謳う「松」と「金」－」『Grandeひろしま』VOL.27、令和元年12月

#### 4 社会貢献活動・所属学会等

- ・広島芸術学会（会員）

### ■ 岡地 智子

#### 1 美術館内での業務等

##### 【担当展覧会】

- ・特別展「第66回日本伝統工芸展」（主担当）
- ・ 〃 「入城400年記念 広島浅野家の至宝－よみがえる大名文化」（副担当）
- ・ 〃 「建国300年 ヨーロッパの宝石箱 リヒテンシュタイン侯爵家の至宝展」（次年度・副担当）
- ・所蔵作品展「1期」（彫刻展示スペース、4室）、「2期」（4室）、「3期」（4室）、「4期」（彫刻展示スペース）

##### 【教育支援(教育普及)】

- ・特別展「日本伝統工芸展」ギャラリートーク（2/14、21）
- ・ 〃 団体解説（2/18、2/26）
- ・ 〃 こどもワークショップ「学芸員の仕事に挑戦しよう！」（1/13、2/24）
- ・ 〃 こども鑑賞コース出張授業補助（11/8府中市立栗生小学校、1/10広島市立基町小学校、1/23広島市立幟町小学校、1/27東広島市立河内小学校）
- ・所蔵作品展「1期」リレートーク（4/26）
- ・ 〃 「2期」ワークショップ「みんなで鑑賞！不思議な美術」（8/10、17）
- ・ 〃 「3期」対話型鑑賞（10/5、11/16）、リレートーク（11/22）
- ・ 〃 「4期」対話型鑑賞（1/25）
- ・ 〃 友の会ギャラリーガイドレクチャー（6/8、8/3、12/7）
- ・博物館実習「作品取扱実習」（8/20）

##### 【広報活動】

- ・特別展「日本伝統工芸展」テレビ・ラジオ対応（2/13NHKラジオ第1『ひろしまコイらじ』、2/19広島ホームテレビ『みみよりライブ5up』）
- ・ 〃 新聞・雑誌寄稿（『朝日新聞』2/14付、2/20付、2/21付、2/22付、『月刊経済春秋』1月号、『広島県立美術館友の会会報』第90号、『広島交響楽団第397回定期演奏会 プログラム』）
- ・所蔵作品展「4期」新聞・雑誌寄稿（『月刊 経済春秋』3月号）

##### 【研修・自己啓発】

- ・広島県美術館ネットワーク 研修会（7/25）
- ・文化財保存修復学会 第41回大会（6/22-23帝京大学八王子キャンパス）
- ・全国美術館会議保存研究部会 第53回会合（10/18-19東京都現代美術館）、第54回会合（2/27島根県立石見美術館）
- ・せとうち美術館サミット（11/24ガーデンパレス広島）
- ・第9回文化財IPMコーディネータ資格取得講習会・試験（12/4-6東京文化財研究所、東京国立博物館黒田記念館）
- ・広島県 若手研修（12/9-12自治総合研修センター）

## 2 美術館外での業務等

- ・広島市中区小学校教職員研修「高盛絵を学ぶ会」（7/26）
- ・広島市立江波小学校4年生図画工作科「すごいな 高盛絵」校外学習（10/17）
- ・出張講座「広島がはぐくんだ伝統工芸「高盛絵」」（9/12広島市立江波小学校）
- ・特別展「第66回日本伝統工芸展」関連講座（11/23広島市心身障害者福祉センター）

## 3 調査研究活動

### 【館内外での調査・研究】

- ・作品調査（染織5/20、10/16、12/2）
- ・作家調査（5/6、5/10、5/17-19、6/28、11/20、1/15）

### 【館内における執筆・発表等】

- ・「表紙作品紹介 熊倉順吉」『広島県立美術館友の会会報』第88号、令和元年7月
- ・『入城400年記念 広島浅野家の至宝-よみがえる大名文化-』、令和元年9月
- ・『広島県立美術館 所蔵作品ミニガイド⑨ 今井政之 瀬戸内を原風景に』、令和2年1月
- ・『第66回日本伝統工芸展こどもガイド 工芸技法キャラクター図鑑2』、令和2年2月

### 【館外における執筆・発表等】

- ・『文化勲章受章記念 陶芸の巨匠 今井政之展図録』、令和元年9月

## 4 社会貢献活動・所属学会等

- ・全国美術館会議保存研究部会、文化財保存修復学会、東洋陶磁学会（以上、会員）

## ■ 森 万由子

### 1 美術館内での業務等

#### 【担当展覧会】

- ・特別展「第7回新県美展（第71回広島県美術展）」（主担当）
- ・「印象派への旅 海運王の夢 バレル・コレクション」（副担当）
- ・所蔵作品展「1期」（1室）、「3期」（1室）

#### 【教育支援(教育普及)】

- ・特別展「バレル展」ギャラリートーク（11/29、12/20、1/25）
- ・「」 団体解説（11/15）
- ・「」 美術講座（1/11）
- ・所蔵作品展「1期」リレートーク（4/26）
- ・「」 「2期」ワークショップ「みんなで鑑賞！不思議な美術」（8/10、17）
- ・「」 「3期」対話型鑑賞会（10/5、11/16）、リレートーク（11/22）
- ・「」 「4期」対話型鑑賞会（1/25）
- ・「」 友の会ギャラリーガイドレクチャー（8/3）
- ・博物館実習「作品取扱実習」（8/20）

#### 【広報活動】

- ・特別展「バレル展」寄稿（『毎日新聞』12/5付、12/10付）
- ・教育普及活動「対話型鑑賞会」ラジオ対応（11/9RCCラジオ「一文字弥太郎の週末ナチュラルリスト朝ナマ！」）

#### 【研修・自己啓発】

- ・令和元年度広島県美術館ネットワーク 研修会（7/25広島県立美術館）
- ・独立行政法人国立美術館 美術館を活用した鑑賞教育の充実のための指導者研修（7/29-30国立国際美術館）
- ・文化庁 著作権セミナー（11/21山口県健康づくりセンター）
- ・せとうち美術館サミット（11/24ガーデンパレス広島）
- ・広島県 若手研修（12/9-12自治総合研修センター）

## 2 美術館外での業務等

- ・出張講座「話しながら見てみよう—みんなで楽しむ美術鑑賞」（2/21高陽公民館）

## 3 調査研究活動

### 【館内外での調査・研究】

- ・西洋版画作品に関する調査研究（4/10広島市立大学）
- ・第二次世界大戦期のフランス美術に関する調査研究（9/28京都大学）
- ・19世紀末～20世紀フランス美術に関する調査研究（6/30日仏会館、12/16一橋大学、12/17東京大学）

### 【館内における執筆・発表等】

- ・『広島県立美術館 所蔵作品ミニガイド<sup>⑩</sup> バウハウス 芸術と技術の統一』、令和2年1月
- ・「学芸員の現場から」『広島県立美術館友の会会報』第90号、令和2年1月

## 4 社会貢献活動・所属学会等

- ・日仏美術学会、美学会、早稲田大学美術史学会（以上、会員）

## Ⅵ 入館者数一覧

展覧会名	所蔵作品展	特 別 展					
		挑む浮世絵 国芳から芳年へ	第7回新県美展 (第71回広島県美術展)	追悼水木しげる ゲゲゲの人生展	入城400年記念 広島浅野家の至宝 よみがえる大名文化	印象派への旅 海運王の夢 パレル・コレクション	
開催期日	H31. 4. 1 ～ R2. 3. 31	H31. 4. 13 ～ R1. 5. 26	R1. 6. 22 ～ R1. 7. 7	R1. 7. 13 ～ R1. 8. 25	R1. 9. 10 ～ R1. 10. 20	R1. 11. 2 ～ R2. 1. 26	
開催日数	306 日	44 日	16 日	44 日	36 日	78 日	
個人	一 般	1,739	5,612	2,982	6,640	4,286	6,463
	高・大学生	193	233	86	396	86	343
	小・中学生	—	218	55	2,318	—	194
	小 計	1,932	6,063	3,123	9,354	4,372	7,000
団体	一 般	4,876	6,099	559	10,768	7,794	10,160
	高・大学生	710	122	53	391	28	328
	小・中学生	—	391	3	2,610	—	242
	小 計	5,586	6,612	615	13,769	7,822	10,730
有料入館者数	7,518	12,675	3,738	23,123	12,194	17,730	
招待者等	45,533	2,951	2,167	5,824	4,557	4,092	
合計 (観覧者総数)	53,051	15,626	5,905	28,947	16,751	21,822	
一日あたり 観覧者数	173	355	369	658	465	280	

(注) 「1日あたり観覧者数」は、小数点以下第1位を四捨五入。

所蔵作品展の団体人数には、所蔵作品展と縮景園の共通入館者を含む。

所蔵作品展の「高・大学生」欄は、平成14年度の条例改正の無料化により、高校生を含まない。

所蔵作品展の招待者等には、減免及び無料入館者を含む。(平成14年度の条例改正により無料化した小・中・高校生で内数。)

「第7回新県美展(第71回広島県美術展)」、「第8回広島県ジュニア美術展」以外は実行委員会主催。

団体人数には、前売り及び割引入館者を含む。

「広島浅野家の至宝」は高校生以下、「第66回日本伝統工芸展」は中学生以下を無料とした。



展 覧 会 名		特 別 展			合 計	総 計
		第8回広島県 ジュニア美術展	第66回日本伝統 工芸展			
開 催 期 日		R1. 12. 14 ～ R1. 12. 22	R2. 2. 13 ～ R2. 3. 1			
開 催 日 数		9 日	18 日	245 日	551 日	
個 人	一 般	—	3,646	29,629	31,368	
	高・大学生	—	140	1,284	1,477	
	小・中学生	—	—	2,785	2,785	
	小 計	—	3,786	33,698	35,630	
団 体	一 般	—	3,494	38,874	43,750	
	高・大学生	—	36	958	1,668	
	小・中学生	—	—	3,246	3,246	
	小 計	—	3,530	43,078	48,664	
有料入館者数		—	7,316	76,776	84,294	
招 待 者 等		4,578	1,877	26,046	71,579	
合 計 (観 覧 者 総 数)		4,578	9,193	102,822	155,873	
一 日 あ た り 観 覧 者 数		509	511	420	283	

## Ⅶ 美術品等収集状況

### 1 分野別収集美術品数一覧

(令和2年3月31日現在)

種 目		一般購入	基金購入 (H2年度以降)	購入総数	寄 附	所 管 換	合 計	受 託
絵 画	日 本 画	46	60	106	241 (3)	3	350 (3)	13 (1-0)
	油 彩 画	230	62	292	543 (15)	4	839 (15)	211 (1-1)
	水 彩 画	89	4	93	217	0	310	1
	素 描	44	20	64	297	0	361	20
	パステル画 アクリル画	1	0	1	6	0	7	0
	版 画	53	180	233	349	0	582	0
	拓 本	26	0	26	51	0	77	0
	平面造形ほか	3	56	59	2	0	61	0
彫 塑	8	23	31	71 (1)	0	102 (1)	6	
工 芸	112	1,184	1,296	312 (2)	4	1,612 (2)	6	
書	5	0	5	93	1	99	0	
美 術 資 料	2	2	4	674 (2)	0	678 (2)	2	
合 計	619	1,591	2,210	2,856 (23)	12	5,078 (23)	259 (1-0)	

※( )内は平成31・令和元年度の収集点数。受託欄は、左側が受託数、右側が返還数、合計欄は差引数。

## 2 収集美術品一覧

No.	分類	作者	作品名	制作年	寸法(cm)	材質・技法	取得区分
1	油彩画	菅井 汲	黄と黒(JAUNE ET NOIR)	1968(昭和43)	229.0×155.0	油彩・画布	寄附
2	油彩画	菅井 汲	フェスティバル'70(FESTIVAL'70)	1970(昭和45)	248.3×199.7	油彩・画布	寄附
3	油彩画	菅井 汲	大きな太陽(GRAND SOLEIL)	不詳	198.5×198.5	油彩・画布	寄附
4	油彩画	菅井 汲	円(CERCLE)	不詳	199.0×196.0	油彩・画布	寄附
5	油彩画	名井萬亀	風景	1943(昭和18)	33.0×45.0	油彩・画布	寄附
6	油彩画	名井萬亀	いのち	1946(昭和21)	60.8×46.2	油彩・画布	寄附
7	油彩画	岡部繁夫	静物	不詳	40.4×32.0	油彩・画布	寄附
8	油彩画	岡部繁夫	楽園	1941(昭和16)	53.1×45.1	油彩・画布	寄附
9	油彩画	岡部繁夫	森	1945(昭和20)頃	112.4×145.4	油彩・画布	寄附
10	油彩画	岡部繁夫	カンナとけいとう	1948(昭和23)頃	97.4×146.0	油彩・画布	寄附
11	油彩画	岡部繁夫	春の饗宴	1950(昭和25)	96.9×145.5	油彩・画布	寄附
12	油彩画	岡部繁夫	作品KRX	1967(昭和42)頃	181.4×192.2	油彩・画布	寄附
13	美術資料	岡部繁夫	パレット	不詳	35.5×51.0	木・鉛	寄附
14	油彩画	太田 忠	備後の風景	1951(昭和26)頃	31.8×41.0	油彩・画布	寄附
15	油彩画	佐々田憲一郎	鞆港	1949(昭和24)	37.8×45.7	油彩・画布	寄附
16	油彩画	佐々田憲一郎	駅前風景	1950年代頃	60.7×72.7	油彩・画布	寄附
17	美術資料	佐々田憲一郎	スケッチブック	1950年代頃	24.7×33.0	鉛筆・彩色・紙	寄附
18	日本画	児玉希望	富士	昭和30年代後半 ～40年代	50.5×57.5	絹本彩色	寄附
19	日本画	平田周子	金魚鉢	不詳	54.0×76.0	紙本彩色	寄附
20	日本画	和高節二	牡牛	1940(昭和15)	160.0×263.2	紙本彩色・四曲屏 風一隻	寄附
21	陶磁	今井政之	蝦蛄 花壺	1963(昭和38)	径25.0 高51.0	陶器	寄附
22	陶磁	今井政之	苔泥彩「中東想」	1969(昭和44)	径25.0 高59.0	陶器	寄附
23	塑像	水船六洲	月の暈	1958(昭和33)	高約200	石膏着色	寄附
24	油彩画	菅井 汲	マッス・グレー(MASSE GRIS)	1989(平成元)	200.0×150.0	油彩・画布	受託
25	日本画	福田恵一	使命	1989(平成元)	222.0×362.0	絹本彩色・額装	受託

### 3 新規収集美術品より

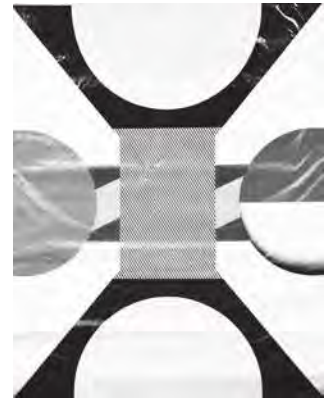
菅井 汲 《黄と黒 (JAUNE ET NOIR)》《フェスティバル' 70 (FESTIVAL' 70)》《大きな太陽 (GRAND SOLEIL)》《円 (CERCLE)》

菅井汲(すがい くみ 大正8年-平成8年 1919-1996)は兵庫県生まれ。本名は菅井貞三。渡仏以前からデザイナーとして活躍していたが、1952年、画家としての飛躍を目指し渡仏。日本の書を思わせる表現や壁を連想させるデリケートなマチエールによって人気を獲得し、渡仏後わずか2年目の1954年にはクラヴェン画廊と契約。1959年、サンパウロ・ビエンナーレに日本代表として出品したのをはじめ、1961年には日本国際美術展で優秀賞、翌年にはヴェネチア・ビエンナーレ展でデイヴィッド・ブライト基金賞を、さらに1965年にはサンパウロ・ビエンナーレ展で外国作家最優秀賞を受賞するなど国際的に活躍した。1950年代の終盤から、詩的なイメージを繊細なマチエールで描き出す独特の作風で人気を獲得したが、1960年代に入ると表現の単純化を進めていく。1960年代末からは海坊主型と呼ばれる形をはじめとして、彼が「強い形」と呼ぶ形象を単独で、あるいは組み合わせて画面を構成するようになる。さらに70年代には色彩あふれるリズムカルな作品へと展開する。

今回収集した作品のうち制作年代がはっきりしている2点は、まさにこの時期の作品で、菅井の作風変遷を追ううえで重要な作品である。また残る2点も、晩年に取り組んだカドミウム・レッドのシリーズへと変遷していく過程を示すもので、作者の表現を追う上で重要な作品と考える。



No.01 菅井 汲  
《黄と黒 (JAUNE ET NOIR)》



No.02 菅井 汲  
《フェスティバル' 70 (FESTIVAL' 70)》

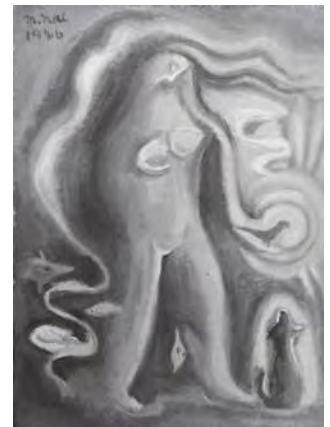
### 名井萬亀 《風景》《いのち》

名井萬亀(ない まき 明治29年-昭和51年 1896-1976)は、広島に生まれ、独学で絵を学び昭和初期に渡仏。従来の画風を捨て個性のある画風の創作に努力した。帰国後の1936 (昭和11)年、東京・上野にあった日本美術協会陳列館で開催した、独創的な作品約300点による展覧会は「日本美術界に新風を吹き込んだ」と報じられ、後々まで語り継がれる伝説となった。戦後、原爆と向きあう中で転機を迎え、読売アンデパンダン展等を舞台に活躍。ビキニでの水爆実験など人類の存続に対する危機感に根ざす作品を多数制作し、旺盛な発表活動を行った。晩年は作品の発表が少なくなり美術界から忘れ去られた存在となったが、止まることなく変化し続けた名井独自の表現活動は多くの作家に影響を与えており、高く評価できるものである。

昭和11年、竹之台の陳列館で開催した帰朝展覧会によって、日本における前衛絵画の代表的な作家と位置付けられた名井萬亀だが、



No.05 名井萬亀《風景》



No.06 名井萬亀《いのち》

戦前作品は原爆による焼失などでほとんど残っていない。この《風景》は、戦時下という時代の雰囲気を感じさせた暗い色調の作品で、帰朝展覧会で見せたルソー風の明るさは影を潜めている。一方、《いのち》は再び明るさを取り戻しているが、帰朝展で示した朗らかな画風とは異なる雰囲気を示しており、ともに名井の画風の変遷を知る上で重要な作品といえる。

### 岡部繁夫の油彩作品並びに美術資料

岡部繁夫(おかべ しげお 明治45年－昭和44年 1912－1969)は、広島県呉市出身。昭和初期に上京し、1938年の初入選以来、一貫して独立展に出品をつづけた。戦後は、同展のほか日本国際展や現代日本美術展にも出品。個展も多数開催するほか、日本芸術祭には第1回から死去する第4回展まで連続出品している。戦前から中央画壇で活躍した広島洋画壇を代表する作家のひとりであり、没後数年後の1973年には、当館で第3回郷土物故作家展を開催し、岡部作品を紹介している。《森》《カンナとけいとう》《作品KRX》は同展出品作である。

戦前作と考えられる《静物》は、作者が愛蔵シアトリエに長く掛けていたと伝わる作品。《楽園》は、色彩やモチーフなどに独立展で活躍した川口軌外の影響も感じられる。《森》《カンナとけいとう》《春の饗宴》の3点は、おそらく戦後数年の間に制作したと考えられる。《春の饗宴》では独立賞を受賞するなど評価を得たものの、作家自身は具象時代の作品を物語性の多い弱い絵であるとして、1950年代半ばから抽象的な作風へ移行。1960年代には、油絵具の粘性を生かした力強い作品を生み出した。《作品KRX》は晩年の作風をよく示すもので、作者が気に入り親族に譲っていた作品である。



No.07 岡部繁夫《静物》



No.11 岡部繁夫《春の饗宴》

### 太田 忠《備後の風景》

太田 忠(おおた ちゅう 明治41年－昭和46年 1908－1971)は広島市出身で、国鉄勤務の傍ら制作活動を行った。広島で開催された講習会で知遇を得た小磯良平に学び、1938年の第3回新制作展に初入選。また、同年、広島市内から北部地域に転勤となり、以後、三次に定住。自然豊かな山間の風景を好んで描き、機関士画家として親しまれた。戦後も新制作展に出品を続けるほか、日本国際美術展、現代日本美術展などで活躍。赤を中心とした鮮やかな色彩と、絵具を塗り重ねた力強い画面による、素朴で温かみのある作風に特色がある。

《備後の風景》は、戦前作に通じる落ち着いた色彩を用いつつ、山河の表現に一種の様式化が見られ、伸びやかさや装飾性が加味されている。1951年の第15回新制作展に出品し、協会賞を受賞した《備後の風景B》と基本的構図が共通しており、関連作の可能性が高い。



No.14 太田忠《備後の風景》



### 佐々田憲一郎《鞆港》《駅前風景》及びスケッチブック

佐々田憲一郎(ささだ けんいちろう 明治32年-平成7年 1899-1995)は、広島県福山市出身。早くから創作活動を展開し、多くの作家を輩出した「福山美術協会」の前身にあたる「ぶらんだるじゃん」の創設に関わり、福山洋画史の草創期についての記述も残すなど、福山洋画史の生き字引的な存在として知られる。小林和作や吉田卓ら、当館の収蔵作家を含む多くの画家と交友しつつ、備後地方を代表する作家として活躍した。

《鞆港》は、穏和な風景画を得意とした作者の画風の特徴がうかがわれる作品。画題となった鞆の浦は、瀬戸内海に面した風光明媚な土地として知られ、多くの風景画家に愛された。本作では、景観の特色をなす白壁の土蔵や映り込む建物などを海側から描いている。《駅前風景》は、福山駅前を描いた作と考えられる。関連作と見られるスケッチが含まれるスケッチブックもあわせて収蔵した。



No.15 佐々田憲一郎《鞆港》

### 児玉希望《富士》

児玉希望(こだま きぼう 明治31年-昭和46年 1898-1971)は、広島県安芸高田市生まれ。川合玉堂の門下に入って、官設の美術展を舞台に活躍。師ゆずりの確かな筆法と自然観察の眼、鋭い色彩感覚を併せ持ち、山水・人物・花鳥など、いずれの主題にも洗練された大作を数多く発表。戦後には西洋絵画も積極的に学び、作風の転換を試みた。奥田元宋・佐藤太清らはその弟子。

本作品は、伊豆半島の大瀬崎から駿河湾の海を隔てて見える富士が、穏やかな色彩で描かれる。ぼつりとした没骨描法で表現された松林や海と対比するように、富士と空は透明感ある薄塗りで表現されている。希望は、1939(昭和14)年に「富嶽十題展」を開催し、戦後は昭和30年代後半から40年代にかけて本作のような富士を描いた小品を多く手掛けた。



No.18 児玉希望《富士》

### 平田周子《金魚鉢》

平田周子(ひらた かねこ 明治45年-平成16年 1912-2004)は、愛知県豊橋市生まれ。昭和7(1932)年女子美術専門学校日本画科卒業。昭和11(1936)年より広島県立高校・市立中学校の教員を務めるかわら、女流美術協会展・日春展・日展に出品。同35(1960)年県美展無鑑査となる。また女流美術協会展でバラ賞、会員賞受賞、同45(1970)年会員となった。長年、広島県美術展で審査員を務め、後進の育成にも力をそそいだ。

本作品は、3匹の黒いデメキンが泳ぐ金魚鉢が真横から見た構図で描かれる。しかし、実物に即して描かれた金魚とは対照的に、鉢や水草は平面的に抽象化されている。さらに、金魚の動きによって生じたらしき円形の渦が図像的に描かれているため、全体として奇妙な印象を与える。制作年は不明だが、昭和初期に描かれた可能性がある。



No.19 平田周子《金魚鉢》

## 和高節二《牡牛》

和高節二(わだか せつじ 明治31年－平成2年 1898－1990)は、広島県に生まれ、川端画学校や日本美術学院に短期間学んだほかは、一貫して郷里で創作を続けた。特定のグループに属することなく、昭和初期から日展や院展など、さまざまな展覧会に佳作を次々と発表。紀元二千六百年奉祝展覧会での最高賞受賞で一躍脚光を浴びた。牛の絵を多く手掛けたことから、「牛の画家」とも呼ばれる。戦後も郷里で創作活動を続け、広島美術界にも大きく貢献した。

本作品は、一頭の牡牛を手綱で引く若い農婦が描かれる。背景の白とモチーフの黒、たくましい牡牛とたおやかな女性の姿の対比が、簡潔ながらも力強い画面を構成している。昭和15年に開催された紀元二千六百年奉祝日本画大覧覧会(大阪毎日新聞・東京日日新聞)で最高賞となる文部大臣奨励賞を受賞した画家の代表作である。



No.20 和高節二《牡牛》

## 今井政之《蝦蛄 花壺》《苔泥彩「中東想」》

今井政之(いまい まさゆき 昭和5年 1930－ )は、1930(昭和5)年に大阪市に生まれ、1943(昭和18)年に父の故郷である広島県竹原市竹原町に疎開した。広島県立竹原工業学校金属工業科を卒業後、岡山県備前市での修行を経て京都へ出る。1952年に京都青陶会の創立同人となり、主宰の楠部彌式に師事した。1953(昭和28)年に第9回日展に初入選を果たし、以降、入選・入賞を重ね、1998(平成10)年に理事に就任。日展重鎮作家としての地位を築く。苔泥彩と呼ぶ独自の釉薬や、広い面積に色土を象嵌する面象嵌を編み出すなど独自の境地を見せ、2018(平成30)年に陶芸家として広島県から初めてとなる文化勲章を受章し、広島県より名誉県民の称号を受ける。

《蝦蛄 花壺》は、竹原の沖合で獲ったシャコの姿をレリーフ状に表現した花壺。粘りのある備前の土を用い、モチーフの部分に作者考案の釉薬・苔泥彩を施す。類作に第7回新日展出品作(京都国立近代美術館蔵)がある。《苔泥彩「中東想」》は、器体全面に苔泥彩を施した作品。1966(昭和41)年にイスラエル国際シンポジウムに日本代表として参加し、そこで見た当地の様々な造形美に触発され、帰国後に作成された。鋭い刻線によるT字の装飾はフリーハンドによるもので、作品に心地よい緊張感を与えている。



No.21 今井政之《蝦蛄 花壺》



No.22 今井政之《苔泥彩「中東想」》

## 水船六洲《月の暈》

水船六洲(みずふね ろくしゅう 明治45年－昭和55年 1912－1980)は広島県呉市生まれ。本名は田中六洲。東京美術学校彫刻科を卒業。在学中から版画を制作し、版画を東京芸術大学の正科に加えるよう嘆願したというエピソードも残されている。戦後は日展に所属し彫刻作品を発表。昭和46年に前年の日展出品作「紡ぎ唄」で日本芸術院賞を受賞。版画家としても活動し、版画と彫刻という異なる表現を行き来する中で生まれた独特の造形感覚を活かし、さまざまな表現に挑んだ。

本作品は昭和33年の第1回新日展に出品されたもの。水船は毎年、実験的な作品を日展で発表しており、材質も木や粘土をはじめ、時には針金による表現まで試みるなど、その幅広さで知られている。本作も荒い調子に仕立てられた表面や削り貫いたような目の表現などにほかの作品に見られない工夫が感じられるが、仰ぎ見るような大きさや、全体を真っ黒に塗る手法からは水船らしさが見て取れる。本作は日展出品後も、作家が亡くなるまでアトリエに残されていたものである。



No.23 水船六洲《月の暈》

## Ⅷ 美術品等の貸出し

種別	作者等	作品名	貸出先	目的(展覧会名)	会期・場所
版画	サルバドール・ダリ	マルドロールの歌	諸橋近代美術館	開館20周年記念展 シュルレアリスムとダリ ～幻想と驚異の超現実～	31. 4. 20～元. 6. 23(諸橋近代美術館)
油彩画	ルネ・マグリット	人間嫌いだち			
油彩画	フランシス・ピカビア	アンピトリテ			
日本画	平山 郁夫	広島生変図	新居浜市美術館	没後10年 平山郁夫 シルクロードコレクション展	31. 4. 27～元. 6. 16(新居浜市美術館)
立体造形	ジョゼフ・コーネル	オブジェ(ポーリン・クック)	DIC川村記念美術館	ジョゼフ・コーネル コラージュ&モンタージュ	31. 3. 23～元. 6. 16(DIC川村記念美術館)
写真パネル	菅井 汲	-	海の見える杜美術館	生誕100年記念 菅井汲 - あくなき挑戦者-	元. 5. 25～7. 21(海の見える杜美術館)
油彩画	ライオネル・ファイニンガー	海辺の夕暮	山梨県立美術館 島根県立美術館 神戸市立小磯記念美術館	黄昏の絵画たち—近代絵画に描かれた夕日・夕景	元. 6. 22～8. 25(山梨県立美術館) 元. 9. 4～11. 4(島根県立美術館) 元. 11. 16～2. 1. 26(神戸市立小磯記念美術館)
油彩画	高橋 秀	かにのある静物	世田谷美術館 倉敷市立美術館 伊丹市立美術館 北九州市立美術館	高橋秀+藤田桜 素敵なふたり	元. 7. 6～9. 1(世田谷美術館) 元. 9. 14～10. 22(倉敷市立美術館) 元. 11. 2～12. 22(伊丹市立美術館) 2. 1. 4～2. 24(北九州市立美術館本館)
日本画	佐藤 太清 児玉 希望 児玉 希望 児玉 希望 児玉 希望	東大寺暮雪 春のバンガロー 浦町の雑園 奥多摩の家 亭午	蘭島閣美術館	日展日本画の華 佐藤太清と児玉希望、奥田元宋	元. 9. 14～11. 11(蘭島閣美術館)
素描	カジミール・マレーヴィチ	シュプレマティズムの素描(二つの正方形) シュプレマティズムの素描(空からの展望)	広島市現代美術館 国立国際美術館	インボッシブル・アーキテクチャー	元. 9. 18～12. 8(広島市現代美術館) 2. 1. 7～2. 28(国立国際美術館)
陶磁	今井 政之 今井 政之 今井 政之	躍鳥扁壺 釉彩海老飾皿 「禅鯨」壺	福屋八丁堀本店	文化勲章受章記念 陶芸の巨匠 今井政之展	元. 9. 19～9. 24(福屋八丁堀本店)
日本画	児玉 希望 甲斐庄楠音	忠貞双絶 横櫛	奈良県立美術館	生誕125年・没後40年 吉川観方—日本文化へのまなざし	元. 9. 28～11. 17(奈良県立美術館)
日本画	金島 桂華	牡丹	華鶴大塚美術館	花王・牡丹画譜	元. 10. 12～12. 1(華鶴大塚美術館)
油彩画	フランシス・ピカビア	アンピトリテ	美術館「えき」 KYOTO 群馬県立近代美術館 岡崎市美術博物館 高知県立美術館	西洋近代美術にみる 神話の世界	元. 10. 18～11. 17(美術館「えき」KYOTO) 2. 2. 8～3. 22(群馬県立近代美術館) 2. 4. 4～4. 11(岡崎市美術博物館) 2. 5. 30～7. 12(高知県立美術館)

種別	作者等	作品名	貸出先	目的(展覧会名)	会期・場所
版 画	パブロ・ピカソ	フランコの夢と嘘Ⅰ	静岡市美術館 東京ステーション ギャラリー	奇跡の芸術都市バルセロナ	元. 11. 15～2. 1. 19(静岡市美術館) 2. 2. 8～2. 28(東京ステーションギャラリー)
	パブロ・ピカソ	フランコの夢と嘘Ⅱ			
	ジョアン・ミロ	スペインを救え			
日本画	児玉 希望	梵唄(新水墨画十二題)	富山県水墨美術館	墨画×革命 戦後日本画の新たな地平	元. 11. 15～2. 1. 13(富山県水墨美術館)
	児玉 希望	海禾(新水墨画十二題)			
	児玉 希望	白崖(新水墨画十二題)			
	児玉 希望	滴律(新水墨画十二題)			
	児玉 希望	山			
版 画	マックス・エルンスト	流行に栄あれ、芸術よ墜ちろ	ポーラ美術館	シュルレアリスムと絵画ーダリ、エルンストと日本の「シュール」	元. 12. 15～2. 4. 3(ポーラ美術館)
	サルバドール・ダリ	マルドロールの歌			
油彩画	小林 千古	ミルクメイド	はつかいち美術ギャラリー	生誕150年 小林千古と白馬会展	2. 2. 14～3. 22(はつかいち美術ギャラリー)
	小林 千古	巖島大元公園			
	小林 千古	婦人座像			
	小林 千古	裸婦正面立像			
	小林 千古	巖島大谷			
	小林 千古	佛・伊風景小スケッチ			
	小林 千古	佛・伊風景小スケッチ			
	小林 千古	佛・伊風景小スケッチ			
	小林 千古	佛・伊風景小スケッチ			
	小林 千古	佛・伊風景小スケッチ			
	小林 千古	佛・伊風景小スケッチ			
	小林 千古	梅花と茶器			
	小林 千古	やし(静物)			
	小林 千古	華巖の滝			
	素 描	小林 千古			
小林 千古		婦人像			
小林 千古		男子裸立像			
パステル画	小林 千古	広島夏の川			
	小林 千古	装飾画下画			
油彩画	サルバドール・ダリ	ヴィーナスの夢	Arp Museum Bahnhof Rolandseck	Salvador Dalí. The Birth of Memory	2. 2. 16～8. 16(Arp museum Bahnhof Rolandseck)



# Ⅸ 関係法規

## 広島県立美術館条例

(昭和43年3月26日)  
広島県条例第20号

全部改正 平成8年条例第16号

最終改正 平成31年3月8日

### (設置)

第1条 美術に関する県民の知識及び教養の向上に資するため、博物館法(昭和26年法律第285号)第18条の規定に基づき、広島県立美術館(以下「美術館」という。)を設置する。

### (位置)

第2条 美術館の位置は、広島市中区上鞆町とする。

### (業務)

第3条 美術館は、次の業務を行う。

- (1) 美術品等を収集し、保管し、又は展示して、県民の利用に供すること。
- (2) 美術品等の展示施設(以下「展示施設」という。)その他の美術館の施設を美術品等の展示等のための利用に供すること。
- (3) 美術品等に関する専門的及び技術的な調査研究を行うこと。
- (4) その他県民の美術に関する知識、教養、調査研究等に資するために必要な事業を行うこと。

### (職員)

第4条 美術館に、館長その他必要な職員を置く。

2 館長は、前条第1号及び第3号に掲げる業務並びに同条第2号及び第4号に掲げる業務のうち次条第2項第1号に掲げる業務を除いたものを掌理し、所属職員を指揮監督する。

### (指定管理者による管理)

第5条 美術館の管理は、広島県公の施設における指定管理者の指定手続等に関する条例(平成16年広島県条例第28号)の定めるところにより、教育委員会が指定した法人その他の団体(以下「指定管理者」という。)に行わせるものとする。

2 指定管理者が行う業務の範囲は、次のとおりとする。

- (1) 第3条第2号及び第4号に掲げる業務のうち教育委員会規則で定めるものを行うこと。
- (2) 美術館の展示施設及び講堂(以下「展示施設等」という。)並びに駐車場の利用の許可に関すること。
- (3) 展示施設等及び駐車場その他の美術館の施設並びに附属設備の維持及び修繕に関すること。
- (4) 展示施設等及び駐車場の利用に係る料金(以下「利用料金」という。)の収受に関すること。
- (5) 美術館の入館料の徴収に関すること。
- (6) その他教育委員会が別に定める業務を行うこと。

### (開館時間等)

第6条 美術館の開館時間は、午前9時から午後5時までとする。ただし、金曜日は、午後7時まで開館時間を延長する。

2 講堂及び駐車場の利用時間は、次のとおりとする。

- (1) 講堂 午前9時から午後9時まで
- (2) 駐車場 午前9時から午後9時15分まで

3 前2項の規定にかかわらず、教育委員会又は指定管理者は、特に必要があると認めるときは、第1項の開館時間又は前項の利用時間を変更することができる。この場合においては、指定管理者は、あらかじめ教育委員会の承認を得なければならない。

### (休館日等)

第7条 美術館の休館日は、次のとおりとする。

- (1) 月曜日(その日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号。以下「祝日法」という。)に規定する休日に当たる場合を除く。)
- (2) 12月25日から翌年の1月1日までの日

2 前項の規定にかかわらず、教育委員会又は指定管理者は、特に必要があると認めるときは、前項の休館日以外の日において臨時に休館し、又は同項の休館日において臨時に開館することができる。この場合においては、指定管理者は、あらかじめ教育委員会の承認を得なければならない。

### (利用の許可)

第8条 展示施設等及び駐車場を利用しようとする者は、教育委員会規則及び指定管理者の定めるところにより、指定管理者の許可を受けなければならない。

2 指定管理者は、前項の許可(以下「利用許可」という。)をする場合においては、美術館の管理上必要な限度において条件を付

することができる。

#### (利用許可の制限)

第9条 指定管理者は、展示施設等及び駐車場の利用の目的又は方法が、次の各号のいずれかに該当するときは、利用許可をしてはならない。

- (1) 公益を害し、又は風俗を乱すおそれがあると認められるとき、その他住民の福祉を増進する目的に照らし適当でないと認められるとき。
- (2) 展示施設等及び駐車場並びに附属設備を損傷するおそれがあると認められるとき。
- (3) 集团的に又は常習的に暴力的不法行為を行うおそれがある組織の利益になると認められるとき。
- (4) その他美術館の管理及び運営上支障があると認められるとき。

#### (展示施設等の利用期間)

第10条 展示施設等の利用期間は、引き続き7日を超えることはできない。ただし、指定管理者が必要と認めるときは、この限りでない。

#### (入館料の納付等)

第11条 美術館の展示する美術品等を観覧する者は、別表第1に定める入館料を納付しなければならない。

- 2 入館料は、知事が別に定める場合を除き、前納とする。
- 3 既納の入館料は、返還しない。

#### (利用料金の納付等)

第12条 展示施設等及び駐車場を利用する者は、指定管理者が別表第2及び別表第3に定める金額の範囲内で教育委員会の承認を受けて定める利用料金を納付しなければならない。

- 2 所蔵作品展に係る利用料金は、教育委員会が別に定める場合を除き、前納とする。
- 3 展示施設等及び駐車場に係る利用料金は、教育委員会が別に定める場合を除き、利用許可を受ける際に納付しなければならない。
- 4 既納の利用料金は、返還しない。ただし、利用許可を受けた者がその責めに帰することができない理由により利用できない場合その他教育委員会が別に定める場合には、指定管理者は、利用料金の全部又は一部を返還することができる。

#### (入館料の減免)

第13条 知事は、次の各号のいずれかに該当する者が特別展を観覧するときは、入館料を減免することができる。

- (1) 身体障害者手帳の交付を受けている者
  - (2) 戦傷病者手帳の交付を受けている者
  - (3) 療育手帳の交付を受けている者
  - (4) 精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者
  - (5) 65歳以上の者
  - (6) 県内の大学又はこれに準ずる学校に在学する外国人留学生
  - (7) 小学校、中学校、高等学校又はこれらに準ずる学校の校長が学校教育活動であることを証明した場合の小学校の児童、中学校若しくは高等学校の生徒又はこれらに準ずる者の引率者
  - (8) 祝日法第2条に規定するみどりの日又は文化の日に入館する者
  - (9) 教育委員会が単独で開催する所蔵作品展以外の展示(以下「特別展」という。)と併せて観覧する者
  - (10) その他知事が別に定める者
- 2 知事は、次の各号のいずれかに該当する者が特別展を観覧するときは、特別展に係る入館料を減免することができる。
- (1) 祝日法第2条に規定するこどもの日に入館する小学校の児童、中学校の生徒又はこれらに準ずる者
  - (2) 祝日法第2条に規定する文化の日に入館する者
  - (3) ひろしま教育の日を定める条例(平成13年広島県条例第40号)第3条に規定するひろしま教育ウィークに入館する小学校の児童、中学校若しくは高等学校の生徒又はこれらに準ずる者
  - (4) その他知事が別に定める者

#### (利用料金の減免)

第14条 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当するときは、展示施設等の利用料金を減免することができる。

- (1) 教育委員会が、主催する事業のために展示施設等を利用するとき。
- (2) 前条第1項第1号から第4号までに掲げる者(以下「身体障害者等」という。)又は身体障害者等が主体となって構成する団体が、美術活動として展示施設等を利用するとき。
- (3) 国又は地方公共団体が、身体障害者等の美術の振興を図る行事のために展示施設等を利用するとき。
- (4) 社会福祉事業を推進する団体が当該団体の設立の目的のために利用するとき。
- (5) 幼保連携型認定こども園又は幼稚園、小学校、中学校若しくはこれらに準ずる学校の校長(幼保連携型認定こども園及び幼稚園にあっては、園長)が学校教育活動であることを証明した場合において、当該幼保連携型認定こども園の幼児又は当該幼

稚園の幼児、当該小学校の児童、当該中学校の生徒若しくはこれらに準ずる者が利用するとき。

(6) その他教育委員会が別に定める場合

2 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当するときは、駐車場の利用料金を減免することができる。

(1) 教育委員会が、主催する事業のために駐車場を利用するとき。

(2) 身体障害者等が、自ら車両を運転し、又は介護者の運転する車両に同乗して駐車場を利用するとき。

#### (利用料金の収入)

第15条 第12条第1項の規定により展示施設等及び駐車場を利用する者が納付する利用料金は、指定管理者の収入とする。

#### (利用許可の取消し等)

第16条 指定管理者は、利用許可を受けた者が次の各号のいずれかに該当するときは、利用許可の全部若しくは一部を取り消し、利用の方法を制限し、又は利用の停止を命じることができる。

(1) 許可された利用目的以外に展示施設等を利用したとき。

(2) 第9条各号のいずれかに該当するに至ったとき。

(3) 偽りその他不正な手段により利用許可を受けたとき。

(4) この条例若しくはこの条例に基づく教育委員会規則の規定又は第8条第2項の規定により付された条件に違反したとき。

(5) 利用許可に基づく権利を譲渡し、又は他人に利用させたとき。

2 前項の規定により利用許可を取り消し、利用の方法を制限し、又は利用の停止を命じたことによって、利用許可を受けた者に損失が生じることがあっても、県又は指定管理者は、これに対して補償する義務を負わない。

#### (遵守事項)

第17条 美術館においては、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

(1) 展示施設等及び駐車場その他の美術館の施設並びに附属設備をき損し、又は汚損しないこと。

(2) 展示資料、展示設備等に触れないこと。

(3) 許可を受けずに、展示資料の模写又は撮影をしないこと。

(4) 館内においては、静粛にし、他人に迷惑を掛ける行為又は他人に嫌悪の情を催させる行為をしないこと。

(5) 所定の場所以外の場所で喫煙し、又は飲食しないこと。

(6) 指定管理者の指示に従うこと。

(7) その他教育委員会が定める事項

#### (禁止行為)

第18条 美術館においては、次に掲げる行為をしてはならない。ただし、教育委員会の許可を受けた場合は、この限りでない。

(1) 寄附の募集

(2) 爆発物その他危険物等の持込み

(3) 行商その他これに類する行為

(4) 宣伝その他これに類する行為

(5) 広告物等の掲示若しくは配布又は看板、立札類の設置

#### (入館の制限等)

第19条 教育委員会又は指定管理者は、前2条の規定に違反するおそれのある者又はこれらの規定に違反した者に対して、美術館への入館を拒否し、又は美術館からの退去を命じることができる。

#### (原状回復義務)

第20条 展示施設等の利用者は、その利用を終了したとき(利用許可を受けた者が第16条第1項の規定により利用許可を取り消されたときを含む。)は、直ちに利用場所を原状に復し、指定管理者の検査を受けなければならない。

#### (損害賠償義務)

第21条 展示施設等及び駐車場その他の美術館の施設、附属設備又は展示資料等をき損し、汚損し、又は滅失した者は、これによって生じた損害を賠償しなければならない。

#### (委任規定)

第22条 この条例に定めるもののほか、美術館の管理及び運営に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

#### 附 則

1 この条例は、昭和43年4月1日から施行する。

2 第5条第1項の規定にかかわらず、別表の通常の展示の場合に係る入館料は、この条例の施行の日後において知事その徴収を開始すべき日を定めて公示するまでの間は、これを徴収しないものとする。

附 則(平成19年3月15日条例第21号抄)

#### (施行期日)

1 この条例は、規則で定める日から施行する。(平成20年1月規則第2号で、平成20年4月1日から施行)

(経過措置)

- 3 この条例の施行前にこの条例による改正前のそれぞれの条例(これに基づく規則その他の規程を含む。)の規定によってした処分、手続その他の行為であって、この条例による改正後のそれぞれの条例(これに基づく規則その他の規程を含む。)中相当する規定があるものは、それぞれこれらの相当する規定によってした処分、手続その他の行為とみなす。
- 4 この条例の施行前にこの条例による改正前のそれぞれの条例(これに基づく規則その他の規程を含む。)の規定により利用の許可を受けている者に係る使用料については、なお従前の例による。

附 則(平成19年12月25日条例第56号)

この条例は、学校教育法等の一部を改正する法律(平成19年法律第96号)附則第1条本文に規定する政令で定める日から施行する。(定める日=平成19年12月26日)

附 則(平成22年6月28日条例第31号)

この条例は、公布の日から施行する。

附 則(平成23年7月11日条例第31号)

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

附 則(平成26年3月26日条例第23号)

この条例は、平成26年4月1日から施行する。

附 則(平成27年3月16日条例第3号)

この条例は、平成27年4月1日から施行する。

附 則(平成28年3月22日条例第7号)

この条例は、平成28年4月1日から施行する。

附 則(平成28年10月12日条例第47号)

この条例は、平成29年4月1日から施行する。

附 則(平成31年3月8日条例第5号抄)

(施行期日)

- 1 この条例は、次の各号に掲げる区分に応じ、それぞれ当該各号に定める日から施行する。

- (1)~(3) 略
- (4) 前3号に掲げる規定以外の規定 平成31年10月1日

別表第1(第12条関係)

1 所蔵作品展の利用料金の範囲

区 分	個 人	団体(20人以上の場合とする。)	広島県縮景園との 共通券による場合
大学生及びこれに準ずる者	1人1回310円	1人1回250円	1人1回250円
その他15歳以上の者 (中学校又は高等学校の生徒 及びこれに準ずる者を除く。)	1人1回510円	1人1回410円	1人1回410円

2 特別展の場合

1人1回 2,100円以内で知事が定める額

別表第2(第12条関係)

展示施設等の利用料金の範囲

利用区分	施設区分	第1展示室	第2展示室	第3展示室	第4展示室	第5展示室	講堂
		1時間につき	1,790円以内	3,050円以内	3,050円以内	3,050円以内	3,250円以内
入場料有料の場合	1日につき	13,630円以内	24,320円以内	24,320円以内	24,320円以内	25,780円以内	
	1時間につき	950円以内	1,580円以内	1,580円以内	1,580円以内	1,680円以内	2,520円以内
入場料無料の場合	1日につき	6,820円以内	12,170円以内	12,170円以内	12,170円以内	12,900円以内	
	電気設備を利用する場合	実費を基準として教育委員会が定める範囲とする。					

備考

- 1 この表において「1日」とは、美術館の開館時間とする。
- 2 日曜日、土曜日及び祝日法に規定する休日における入場料有料の場合の利用料金の額は、指定管理者が定める額の2割を加算する。
- 3 展示物の搬入及び撤去に係る利用料金の額は、指定管理者が定める額に2分の1を乗じて得た額とする。
- 4 利用料金の額に10円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てるものとする。

### 別表第3(第12条関係)

#### 駐車場の利用料金の範囲

駐車することができる自動車の範囲	単 位	利用料金の範囲
道路運送車両法(昭和26年法律第185号)第3条に規定する自動車のうち、普通自動車並びに2輪自動車以外の小型自動車及び軽自動車	1台につき 1時間まで 1時間を超える時間30分までごとに	420円以内 220円以内

## 広島県博物館協議会条例

(平成13年3月26日)  
広島県条例第3号

### (設 置)

第1条 広島県教育委員会(以下「教育委員会」という。)に、広島県博物館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

2 協議会は、広島県立美術館、広島県立歴史民俗資料館、広島県立歴史博物館の運営に関し教育委員会の諮問に応じるとともに、教育委員会に対して意見を述べる機関とする。

### (組 織)

第2条 協議会は、委員15人以内で組織する。

2 委員は、教育委員会が任命する。

### (委員の任期)

第3条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

### (会長及び副会長)

第4条 協議会に会長及び副会長各1人を置き、委員の互選によってこれを定める。

2 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

### (会 議)

第5条 協議会の会議(以下「会議」という。)は、会長が召集し、会長がその議長となる。

2 協議会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。

3 会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

### (庶 務)

第6条 協議会の庶務は、教育委員会事務局において処理する。

### (雑 則)

第7条 この条例に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

### 附 則

#### (施行期日)

1 この条例は、平成13年4月1日から施行する。

#### (広島県立美術館協議会条例の廃止)

2 広島県立美術館協議会条例(昭和43年広島県条例第38号)は、廃止する。

## 広島県立美術館管理運営規則

(昭和43年4月1日)  
教育委員会規則第1号

最終改正 平成29年3月23日教育委員会規則第1号

### (趣 旨)

第1条 この教育委員会規則は、広島県立美術館(以下「美術館」という。)の管理及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

### (指定管理者が行う業務)

第2条 広島県立美術館条例(昭和43年広島県条例第20号。以下「条例」という。)第5条第2項第1号の教育委員会規則で定める業務は、次に掲げる業務とする。

- (1) 美術館の利用促進に関すること。
- (2) 美術館の利用案内に関すること。
- (3) 県民の美術に関する学習活動の支援に関すること。



#### (開館時間等の周知)

第3条 条例第6条第3項又は第7条第2項の規定により、美術館の開館時間若しくは講堂若しくは駐車場の利用時間を変更し、又は美術館の全部若しくは一部を臨時に休館し、若しくは休館日に開館する場合は、あらかじめ、その旨を美術館に掲示する等周知のために必要な措置を講じなければならない。

#### (展示施設等の利用の申込み等)

第4条 美術館の展示施設及び講堂(以下「展示施設等」という。)を利用しようとする者は、展示施設等利用申込書を指定管理者に提出し、条例第8条第1項の許可(以下「利用許可」という。)を受けなければならない。

2 前項の規定による利用の申込みは、次に掲げる期間内にしなければならない。ただし、特別の事情があると指定管理者が認める場合は、この限りでない。

- (1) 展示施設 利用開始日の1年前から1月前まで
- (2) 講堂 利用開始日の4月前から7日前まで

#### (展示施設等利用許可書の交付)

第5条 指定管理者は、利用許可をしたときは、展示施設等利用許可書を申込者に交付するものとする。

2 展示施設等利用許可書は、展示施設等を利用する際必ず携帯し、係員の請求があるときは、これを提示しなければならない。

#### (駐車場の利用手続)

第6条 駐車場を利用しようとする者(以下「駐車場利用者」という。)は、自動車を入庫させる際、駐車券の発給を受けるものとする。この場合においては、当該発給を受けたときに利用許可を受けたものとみなす。

2 駐車場利用者が自動車を出庫させようとする際は、駐車時間に応じた利用料金を納付しなければならない。

#### (利用料金の周知)

第7条 指定管理者は、条例第12条第1項の規定により教育委員会の承認を受けて利用料金を定めたときは、美術館に掲示する等周知のために必要な措置を講じなければならない。

#### (利用料金の返還)

第8条 条例第12条第4項ただし書の規定により、指定管理者は、利用許可を受けた者がその責めに帰することができない理由により利用することができない場合は、当該利用料金の全額を返還する。

2 前項の規定により利用料金の返還を受けようとする者は、利用料金返還申請書に第5条第1項の展示施設等利用許可書を添えて、指定管理者に提出しなければならない。

#### (利用料金の減免)

第9条 条例第14条第1項第1号又は同条第2項第1号若しくは第2号に該当する場合は、利用料金(条例別表第2に規定する電気設備を利用する場合の利用料金を除く。以下本条において同じ。)を免除する。

2 条例第14条第1項第2号又は第3号に該当する場合は、利用料金の額の2分の1に相当する額を減額する。

3 条例第14条第1項第4号又は第5号に該当する場合は、利用料金の額の5分の1に相当する額を減額する。

4 前2項の規定により算定した減額後の利用料金の額に10円未満の端数が生じたときは、その端数を切り捨てるものとする。

#### (利用料金の減免の申請)

第10条 前条第1項の規定により利用料金の免除を受けようとする者のうち条例第14条第2項第2号に該当するものは、該当することを証する書類を指定管理者に提示しなければならない。

2 前条第2項又は第3項の規定により利用料金の減額を受けようとする者は、第4条第1項の展示施設等利用申込書の提出時に併せて利用料金減額申請書を指定管理者に提出し、その承認を受けなければならない。

#### (補 則)

第11条 この教育委員会規則に定めるもののほか、美術館の管理及び運営に関し必要な事項は、別に定める。

附 則(平成29年3月23日教育委員会規則第1号)抄

#### (施行期日)

1 この教育委員会規則は、平成29年4月1日から施行する。

#### (広島県美術展開催運営規則の廃止)

2 広島県美術展開催運営規則(昭和52年広島県教育委員会規則第2号)は、廃止する。

## 広島県立美術館美術品等収集基本方針

(昭和63年12月9日)

広島県立美術館の美術品等収集に関する基本方針を次のとおり定める。

1 本県ゆかりの作家の美術品等については、次項に準拠しつつ、各作家ごとの体系的なコレクションの形成につとめる。

2 次に掲げる美術品等の収集に主眼を置き、日本美術の特質を味わうことのできる体系的なコレクションの形成につとめる。

- (1) 近・現代作家の特色ある美術作品

近代から現代にいたる絵画等の平面・立体造形作品のうち、時代の特徴と制作意図の明確な作品。

- (2) 近代の工芸作品  
わが国工芸の特色を示す陶芸、染色、漆芸、金工等のうち、主として近代以降に制作された作品。
  - (3) 近代の彫塑作品  
近代以降のわが国の彫塑界で特に重要と認められる作家の作品。その他の美術作品上記(1)～(3)に掲げる美術作品のほか、美術館において収蔵するにふさわしいと認められる美術工芸作品。
  - (4) 美術資料  
収蔵する美術品等に関する作家並びに美術作品を理解するうえで必要な日記、書簡、下絵等の美術資料等。
  - (5) 補助的関連資料  
収集する美術品等に関する調査研究及び教育普及事業に必要な視聴覚教材、図書、複製品等の補助的関連資料。
- 3 その他、美術館において所蔵するにふさわしい東洋・西洋の美術品等を収集する。

## 広島県立美術館美術品等特別収集基本方針

(平成3年3月8日 館長決裁)

- 1 本県ゆかりの作家の作品並びに本県にゆかりのある美術品等
  - (1) 本県ゆかりの作家の作品及び美術資料
  - (2) 本県ゆかりの作家に関連する系譜的作品
  - (3) 本県ゆかりの美術品等
- 2 近世から現代までの造形的に優れたわが国の美術作品及びこれらの作品を理解するために必要な外国作品
  - (1) 絵画作品
    - 1) 近世絵画の流れが理解できる作品のうち、主として花鳥画を主題とする作品及び近代日本画確立期の作品
    - 2) 油彩画等の受容と展開を示す明治・大正・昭和三代の代表的作家の作品
    - 3) 戦後における国際的評価の高い作家の作品
  - (2) 工芸作品
    - 1) わが国と関係の深いアジア各国の工芸作品
    - 2) 近代工芸確立期（1920年代）及び戦後昂揚期（1960年代）の作品
    - 3) 収蔵作品を理解するために必要な外国作品及び特に注目される現代の工芸作品
- 3 国際的視野から特色をもった作品  
1920-1930年代の両大戦間を中心とする世界美術の多様性が理解できる作品
  - 1) 欧米作家等の作品
  - 2) 日本人作家の作品
- 4 近代以降の彫刻(立体)作品
  - (1) 主として戦後期に活躍した作家の作品
  - (2) “手で見る彫刻”作品
  - (3) 新館及び街区等、周囲の環境に即した作品

## 県立美術館特別収集重点方針

- 1 本県ゆかりの作家の作品など  
近代以降の美術界に大きな足跡をのこした作家の作品を中心に収集し、その系譜的作品も併せて収集する。
- 2 日本及びアジアの工芸作品など  
わが国とアジア各国の優れた工芸作品（陶磁、染色、漆芸など）を収集する。
- 3 1920-1930年代(両大戦間)の美術作品など  
現代美術に先行する両大戦間美術の多様性を示す作品を世界と日本との関連で収集する。

## 広島県立美術館美術品等取扱要綱

(趣旨)

第1条 広島県立美術館(以下「美術館」という。)で取り扱う美術品及び美術資料の管理、寄託、寄附及び貸付けについては、広島県物品管理規則(昭和39年規則第33号。)に定めるもののほか、この要綱の定めるところによる。

## (定 義)

第2条 この要綱において「美術品等」とは、美術作品及び美術に関する資料をいう。

## (管 理)

第3条 美術館で管理する美術品等については、別表の美術品等分類表により区分するとともに、別記様式第1号による備品出納簿を備え付け、その出納及び保管の状況を記録管理しなければならない。

## (寄 託)

第4条 美術品等を、美術館に保管又は展示するために寄託しようとする者は、広島県立美術館長(以下「館長」という。)に別記様式第2号による美術品等寄託申請書を提出し、寄託の承認を受けなければならない。

2 館長は、前項の規定により寄託を承認した場合は、美術品等を寄託する者(以下「寄託者」という。)に対して別記様式第3号による受託証書を交付するものとする。

3 前項の規定により寄託を承認した美術品等(以下「寄託品」という。)の記録管理は、別記様式第4号による受託カードにより行うものとする。

## (寄託期間)

第5条 寄託期間は3年とする。ただし、館長が特別の理由があると認めた場合は、寄託者の承諾を得て寄託期間を変更することができる。

## (一時返還)

第6条 寄託者は、寄託品の一時返還を受けるときは、館長に別記様式第5号による寄託品一時返還願を提出しなければならない。

## (返還の手続)

第7条 館長は、寄託者に寄託品を返還するとき、受託証書と引換えに返還するものとする。

2 寄託者の代理人が、寄託品の返還を受けようとするときは、館長に委任状その他これを証する書類を受託証書に添付して提出しなければならない。

## (受託証書の記載事項変更)

第8条 寄託者は、受託証書の記載事項について、譲渡、相続その他の事情により変更があったときは、館長に記載事項の変更を証する書類を受託証書に添付して提出し、記載事項の書換えを受けなければならない。

## (受託証書の再交付)

第9条 寄託者は、受託証書を破り、汚し、又は失ったときは、館長に別記様式第6号による受託証書再交付申請書を提出して、受託証書の再交付を受けなければならない。

## (寄託品の保管)

第10条 館長は、寄託品を常に良好な状態で保管しなければならない。

## (寄託品の修繕)

第11条 館長は、寄託品に修繕をする必要を認めたときは、寄託者に対して適正な指示を行うことができる。

## (寄 附)

第12条 美術品等を、美術館に保管又は展示するために寄附しようとする者は、館長に別記様式第7号による寄附申込書を提出しなければならない。

2 館長は、前項の規定により寄附申込書の提出があったときは、寄附を受けることについて適否を決定し、美術品等を寄附しようとする者に対して適否を通知するものとする。

## (貸付け)

第13条 館長は、美術館の事業に支障を及ぼさないと認めるときは、美術品等を他の美術館又はこれに準ずる施設に無償で貸し付けることができる。

2 美術品等を、前項の規定により貸付けを受けようとする者は、館長に別記様式第8号による美術品等借受願願又は別記様式第8号に準じた書面を提出しなければならない。ただし、貸付けを受けようとする美術品等が寄託品である場合は、寄託者の承諾書を美術品等借受願に添付するものとする。

3 館長は、第1項の規定により美術品等の貸し付けを決定したときは、貸付けを受けようとする者に対して貸し付けの通知をするものとする。

## (借用書の提出)

第14条 前条第3項の規定により通知を受けた者は、館長に別記様式第9号による借用書又は別記様式第9号に準じた書面を提出しなければならない。

## (貸付け期間)

第15条 貸付け期間は60日以内とする。ただし、館長が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

## (貸付けの条件)

第16条 第13条第1項の規定により美術品等を貸し付ける場合の条件は、次の各号に定めるとおりとする。

(1) 貸付けを受けた者(以下「借用者」という。)は、貸し付けを受けた美術品等(以下「借用美術品等」という。)を転貸し、又は

貸し付けにより生じた権利を担保に供し、若しくは譲渡してはならない。

- (2) 借用者は、借用美術品等を常に良好な状態で保管しなければならない。
- (3) 借用者は、借用美術品等を失い、又は傷付けたときは、直ちにその損害を賠償しなければならない。
- (4) 美術品等の貸付けに必要な経費は、借用者が負担するものとする。
- (5) 館長は、前各号に定めるもののほか、美術品等の貸し付けに必要な条件を付することができる。

#### (報告義務)

第17条 館長は、第12条第2項の規定により美術品等の寄附受納を決定した場合及び第13条第3項の規定により美術品等の貸付けを決定した場合は、速やかに広島県環境県民局長(以下「局長」という。)に報告しなければならない。

#### (補 則)

第18条 館長は、前各条に規定する事務のうち、重要及び異例若しくは疑義のある事項については、あらかじめ局長に報告し、局長は広島県教育委員会に協議をして、その承認を受けなければならない。

#### 附 則

この要綱は、昭和58年7月1日から施行する。

この要綱は、平成21年4月1日から施行する。

## 広島県立美術館展示施設等運営要領

(平成8年7月24日 館長決裁)

この要領は、広島県立美術館管理運営規則(昭和43年4月1日教育委員会規則第1号)に基づき美術館の展示施設及び講堂の適正かつ効果的な運営を図るため、利用の形態及び許可の基準その他の必要な事項を定めるものとする。

### 1 利用形態

#### ① 常設展示室(2階)

第1から第4展示室及び彫刻展示スペースは、所蔵作品による常設展示を行う。

#### ② 企画展示室(3階)

北、東、西及び展示前室は、美術館が企画・主催し又は共催する展覧会事業に使用する。ただし、美術館が共催する展覧会は、国若しくは地方公共団体(その機関を含む。)又は公共性の高い機関が企画・主催する事業で、美術館が共催するにふさわしい、開催意義の高い事業に限る。

なお、これらの展覧会を実施しても、なお、空室が生じる場合は、「広島県教育委員会の共催・後援・協賛に関する基準について(昭和54年3月29日)」に基づき共催・後援に該当する展覧会に限り使用することができる。

#### ③ 県民ギャラリー(地階)

条例第1条により、団体又は個人が美術に関する事業を目的として利用する場合に、これを許可する。

#### ④ 講堂兼ハイビジョンギャラリー(地階)

通常はハイビジョンギャラリーとして入館者が自由に鑑賞できるように毎日一定時間使用する。また、団体又は個人が芸術に関する県民の知識及び教養の向上に資する目的で講演会などの催しのために利用する場合には、美術館が企画・主催する事業に支障のない範囲内でこれを許可する。

#### ⑤ 図書館(1階)

美術に関する図書及び参考図書を公開し、利用者に提供する。また、室内にハイビジョン・データ・ブースを設置し、美術館の所蔵品に関するデータベースを提供して利用者の学習の便を図る。

#### ⑥ 情報ギャラリー(1階)

ポスター、パンフレットなど、さまざまな広報媒体を掲示して、利用者に情報を提供するとともに、時機に応じて比較的小規模の企画展示を行う。また、一部にハイビジョン・ブースを設置し、美術館の所蔵品に関するオリジナル番組を提供して、利用者の作品理解の一助とする。

### 2 利用の申込み

県民ギャラリーの利用の申込みは、原則として年度を前・後期に分け、前期については、前年度の9月1日から9月30日まで、後期については、前年度の3月1日から3月31日までの間に受け付けるものとする。

講堂の利用の申込みは、利用日の4ヶ月前から随時行うものとする。

### 3 利用の期間及び回数

県民ギャラリーの利用期間は原則2週間をこえないこととし、利用回数は同一の団体又は個人につき原則年1回とする。

# X 名 簿

## 美術品等収集評価委員会

委員長	山梨俊夫	国立国際美術館長
委員	井関和代	大阪芸術大学芸術学部名誉教授
〃	唐澤昌宏	独立行政法人国立美術館東京国立近代美術館工芸課長
〃	島田康寛	前神戸市立小磯記念美術館長
〃	菅村亨	広島大学大学院教育学研究科教授
〃	中林和雄	独立行政法人国立美術館東京国立近代美術館副館長
〃	速水豊	三重県立美術館長

## 広島県立美術館評価委員会委員

委員長	蓑豊	兵庫県立美術館長
委員	河野高信	己斐商事(株)代表取締役
〃	柴川敏之	美術家・就実短期大学教授
〃	佐伯正道	広島県立美術館友の会会長
〃	永野正雄	(株)テレビ新広島代表取締役相談役
〃	船場誠吾	(一社)日本旅行業協会中四国支部長
〃	水沢勉	神奈川県立近代美術館長
〃	山下治子	雑誌ミュゼ編集長

## 職員

館長	千足伸行
加ゼ外マネージャー	前田恭正
副館長	山本泰之
総括企画監	横手克尚
総務課長	片山泰英
主幹	高浦雅史
事業調整員	三浦緑
事業調整員	藤井美也子
学芸課長	福田浩子
主任学芸員	角田新
〃	藤崎綾
〃	神内有理
学芸員	山下寿水
〃	隅川明宏
〃	岡地智子
〃	森万由子

---

平成31・令和元年度

## 広島県立美術館年報

令和2年9月30日発行

発行者 **広島県立美術館**

〒730-0014 広島市中区上幟町2-22  
電話(082)221-6246

印刷所 **株式会社 タクトープリントメディア**

〒730-0052 広島市中区千田町3丁目2-30  
電話(082)244-1110

---

(人名については、敬称略)